

中国・四国地区産業界のニーズに対応した 協働型人材育成事業

キャリア形成支援 学生向けアンケート調査報告書

目次

▼目次	2
▼調査概要	4
▼総括	5
【山口県立大学の調査結果】	
▼調査概要・結果サマリー	12
▼回答者プロフィール	16
▼キャリアプランニング	18
- キャリアプランを考え始めた時期	19
- キャリアプランを考え始めたきっかけ	20
- キャリアプランを考える上で難しかったこと	21
▼仕事・職業についての考え方	22
- 卒業後に進みたい業種	23
- 将来就きたい仕事（配属先）	24
- 職業を選ぶときに重要視すること	25
- 希望の職業に就くために必要だと思うこと	26
- 将来の仕事のキャリアプラン	27
- 将来就きたい役職	28
▼評価	29
- キャリアプランを考える上で役立った正課科目	30
- キャリアプランを考える上で役立った正課外の科目・課外活動	30
- キャリアプランを考える中での気づき・役立ったこと	31
- 身についたこと	32
▼今後のキャリア形成プログラムについての意見	33
- 後輩に受けて欲しい科目・課外活動	34
- 大学時代に重要な行動・活動	35
- 要望・意見	36

【全体の調査結果】	
▼結果サマリー	37
▼回答者プロフィール	40
▼キャリアプランニング	42
- キャリアプランを考え始めた時期	43
- キャリアプランを考え始めたきっかけ	46
- キャリアプランを考える上で難しかったこと	49
▼仕事・職業についての考え方	54
- 卒業後に進みたい業種	55
- 将来就きたい仕事（配属先）	60
- 職業を選ぶときに重要視すること	64
- 希望の職業に就くために必要だと思うこと	69
- 将来の仕事のキャリアプラン	74
- 将来就きたい役職	77
▼評価	80
- キャリアプランを考える上で役立った正課科目	81
- キャリアプランを考える上で役立った正課外の科目・課外活動	82
- キャリアプランを考える中での気づき・役立ったこと	85
- 身についたこと	88
▼今後のキャリア形成プログラムについての意見	93
- 後輩に受けて欲しい科目・課外活動	94
- 大学時代に重要な行動・活動	95
- 要望・意見	100

調査概要

▼調査目的

- 学生のキャリア意識と現状のキャリア形成支援に関する講座・授業の評価や今後のニーズを把握し、事業で行うキャリア形成支援共通プログラムの作成や第三者評価の参考とする

【アンケート調査】

▼調査対象

- 全学年
四大：高知大学、高知県立大学、高知工科大学、松山大学、松山東雲女子大学、山口大学、山口県立大学、梅光学院大学、徳山大学、鳥取大学、鳥取環境大学 計11校
短大：高知学園短期大学、松山東雲短期大学、鳥取短期大学 計3校

▼調査方法

- 紙アンケートとWebアンケート（紙アンケート：12校、Webアンケート：2校、併用：1校）

▼回収数

- 2,468件（有効回答数：2,459件）

▼調査実施時期

- 平成25年12月3日～平成26年2月8日

▼調査項目

- **プロフィール**
 - ・大学名／学年／学部／学科／性別／出身地
- **キャリアプランについて**
 - ・卒業後進みたい業種／将来就きたい仕事（配属先）／役職
 - ・職業を選ぶときに重要視すること／希望の職業に就くために必要だと思うこと／将来の仕事のキャリアプラン
 - ・キャリアプランを考え始めた時期／きっかけ／役立った正課科目
 - ・役立った正課外の科目・課外活動／気づき・役立ったこと
 - ・キャリアプランを考える中で身についたこと／難しかったこと
- **今後のキャリア形成プログラムについて**
 - ・後輩に受けて欲しい科目や活動
 - ・大学時代に重要な行動・活動
 - ・キャリア形成支援に関する要望・意見

【ヒアリング取材】

▼調査対象

- キャリア形成の講座・プログラムを受講した学生

▼調査方法

- 各校に訪問し、現地にてヒアリングを実施

▼実施数

- 14校合計41名

▼調査実施時期

- 平成25年12月6日～平成26年1月23日

▼調査項目

- これまでに参加したキャリア形成支援の取り組み、その感想や要望／参加しての効果や行動の変化
学校に望むキャリア形成支援のありかた／自分のキャリアについての考え／社会に出る上での期待や不安

総括

総括（アンケート調査・ヒアリング取材より）

▶ キャリア形成支援の基本的な流れをつかみ、連続的に行われるプログラムの中で、学生に自らのキャリアを考えて構築する機会を提供することが大事。

▶ 学生のインタビューから、多くの学生が様々な活動や学習の中から段階的に自信を深め、積極的になる様子がうかがえた。そのような段階を理解して連続的なプログラムを企画していくことと、それを促進するポイントを押さえることが、キャリア形成支援において重要と思われる。

①キャリア形成の基本的な流れ

- 1) 気付き・きっかけ（入口） →
- 2) キャリア理解 →
- 3) 視野拡大・理解の深まり →
- 4) 実体験・フィールドワーク →
- 5) 方向性・絞り込み →
- 6) 具体性・プランニング →
- 7) 行動促進・・・就職・社会人へ

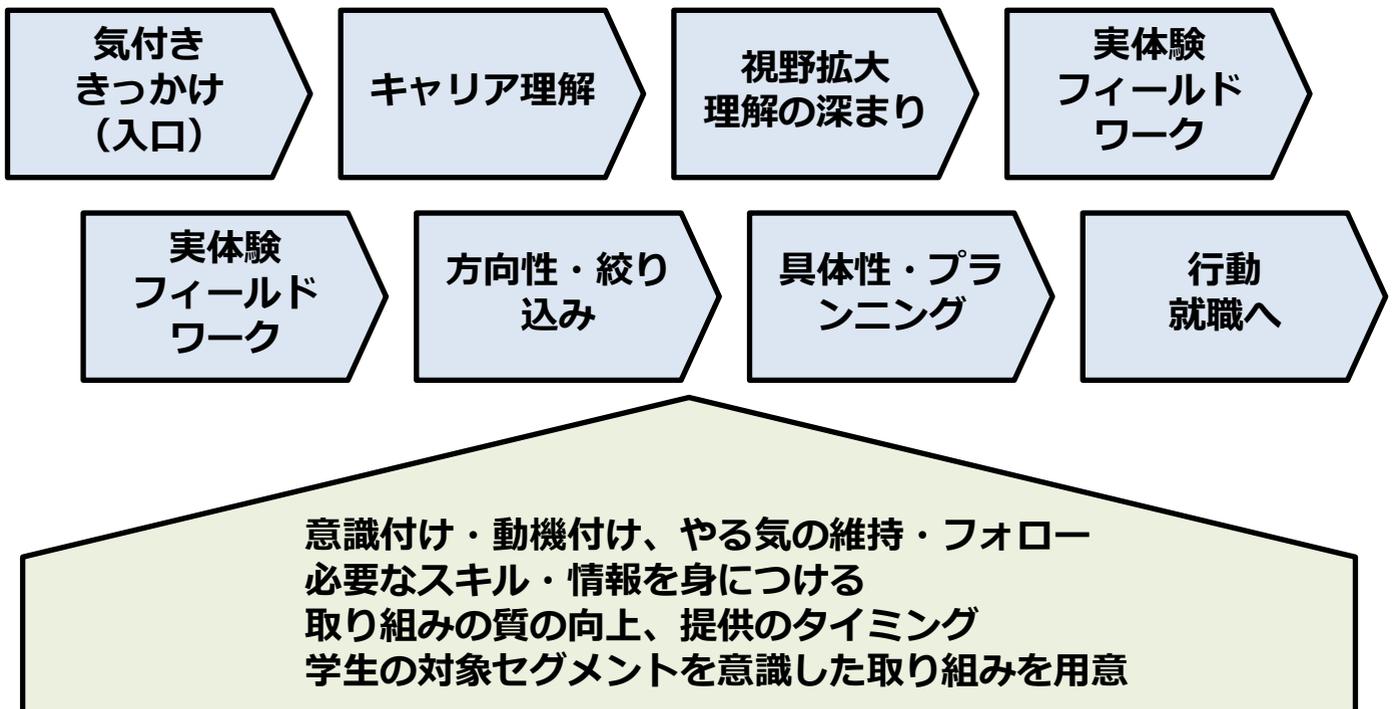
②その中での重要なポイント

- 意識付け・動機付け、やる気の維持・フォロー
- 必要なスキル・情報を身につける
- 取り組みの質の向上、提供のタイミング
- 学生の対象セグメントを意識した取り組みを用意する

▶ キャリアプランを考え始めた時期が遅くなるほど、「方向性・絞り込み」が難しかった学生が多く、「キャリア理解」～「実体験・フィールドワーク」の経験が少なく、「気付き・きっかけ（入口）」からダイレクトに「方向性・絞り込み」に向う傾向がみられる。

▶ キャリア形成支援の上では、避けるべきNGポイントもある。内容が浅すぎる、単純すぎるといったことには、学生たちが拒否感を感じている。キャリア形成支援も内容の質が問われるようになってきている。

●キャリア形成の流れとポイント



総括（アンケート調査・ヒアリング取材より）

キャリア形成の流れ

気付き・きっかけ（興味の対象、入口）

- ▶ キャリア形成の講義・授業、就職活動の時期、将来の夢や目的が決まったこと、家族・先輩・友人・社会人との話や交流がきっかけの場合が多い。
- ▶ いかにか火をつけるか、主体的に取り組ませるか。そのために必須科目にする、実体験を組み合わせることなどの工夫が必要となる。意識付け（学習）とそれに基づく行動、さらにそこからの気付きとさらなる学習へと、スパイラルを回転させていくこと。
- ▶ インターンシップやプロジェクト型学習（PBL）での社会人との出会いが、いいきっかけになる。キャリアを考えるきっかけとして多いのが、就職への意識と社会人との出会い。
- ▶ 社会人としては、成功者、経営者、管理職といった遠い目標となる人からのアドバイスや体験談、先輩の学生や若手社会人など身近な目標となる人の思考や行動などが参考になっている。現場の話や生の体験の話などが印象に残る様子。
- ▶ アルバイトはいいきっかけや学びにもなるが、逆に反面教師ともなる。人間関係の悪さやブラック的な職場、単なるマニュアルをひたすらやらされるなど。両刃の剣といえる。
- ▶ 大学入学以前の取り組みも参考にする。高校時代のボランティアなど社会貢献の取り組みやインターンシップなどで、キャリア形成に大きな影響を与えられているケースがあった。ボランティアはいいきっかけになる。
- ▶ 大学進学に際して、自分の将来像を考えて選ぶような学生については、高校時点で行った取り組みも考慮して、キャリア形成支援行っていくことが効果的。
- ▶ 通常の授業においても実践的な内容を増やす。授業の中心にキャリア形成支援を組み込むことが効果的。そのような授業を増加させていくことが、効果的なキャリア形成支援となる。
- ▶ キャリアの授業を受ける学生に授業内で実践的な講座を案内したり、メールでその時期必要な講座・イベントを案内したりしており、授業をきっかけに関連した講座・イベントへの参加の誘導を行っている工夫がみられた。
- ▶ 3年向けのキャリア合宿に参加し、その後キャリアの個別相談を活用している学生もみられた。そのような活動は手間はかかるが、個人に与える影響は大きい。

キャリア理解

- ▶ キャリアについての学生の意識の問題では、まずはキャリアというものの理解をしてもらうこと。就職の時期に初めて考えるという傾向が散見された。キャリアへの意識の高い人は低学年から着実に活動・成長している。
- ▶ キャリアへの意識が低い学生はのんびりしている（まだ先のことだ）というだけでなく、どう考えていいかわからないという発言もあった。学生生活もキャリア形成の一環ということを理解させること。
- ▶ キャリア＝就職狭い考え。就職に対する意識は強い（不安も強い）が、行動は弱い。不安を感じた時に、逃避したり行動をストップしたりする。しかし不安を行動につなげている学生もいる。キャリアという言葉の意味をしっかりと伝えることが必要。不安の正体を明確にしていくこと、行動の意味も伝えること。また、キャリア＝将来の職業（仕事）と認識している学生も多い。それは間違いではないが、狭い考え方であり、キャリアの意味をもっとよく知るべき。
- ▶ 就職が決まらない学生の特徴としては、キャリアに対して意識するのが遅い（もしくは意識しない）傾向がある。それゆえ周囲の状況に振り回されるか、動機が弱く行動のエネルギーがわからず、行動量（企業へのアプローチ）が少なくなっている。
- ▶ 考えに一貫性がないので、活動がふらついてしまう。キャリアについての理解促進、とにかく自分のことを考える機会を早期に設けること。
- ▶ 学部間での差がある。積極的な学部の学生はいいが、他の学部の学生が参加したがっているケースもあると思われる。学部間でキャリア理解の差が出ているので、より全学的にチャンスを広げることが求められる。

総括（アンケート調査・ヒアリング取材より）

視野拡大・理解の深まり

- ▶ 学生は優れたプログラムには反応している。PBL、インターンシップ、社会人講話などで内容が優れている場合は、素直に受け止めて行動変化につなげている。学内・学外問わずキャリア形成支援プログラムの内容の質が問われる。中には役に立たない企画もあるという評価もあった。（内容が浅い、単純すぎる、わかっていることなど）
- ▶ PBLなど地域を超えた取り組みでの効果も見られた。短大と四大の交流なども同様。意欲・モチベーションを高める仕掛けが大事。人との出会いや資格など具体的な目標が効果的。
- ▶ 具体的な話を聞くこと。ニュースについて勉強することで、社会の出来事に対する興味が増して、家族や大人との会話がスムーズにいくというメリットがある。
- ▶ 社会人の話も、できるだけその人の実体験に基づいた具体的な話の方が、興味関心を引くことができる。情報を入手してから処理するというサイクルを経験するのが効果的。
- ▶ 成功談だけでなく失敗談も必要。すごい人の話や普通の人の話、少し上の社会人やかなり上の人の話などのバリエーションがあると多くの学生に影響を与えることができる。多様な人、多様な業界などのオムニバス形式での話など。
- ▶ 視野を広げることが効果的なのは、狭い情報や考えで全てを決めてしまう傾向があり、行動に結びつかない学生の場合。いろいろな先入観があるので、視野を拡大することが大事。
- ▶ 就職活動に入る前の、働くことや、会社・業界理解についての要望も多かった。「もっといろいろな業界・職種の人の話が聞きたかった」「社会人との交流をもっと持ちたい」など、より多くの、そして多様な社会人との交流や、どんな仕事があるかを知りたいと希望する声が多く聞かれた。
- ▶ キャリアプランを考える時期が遅い学生は、やりたいことを見つけること、職業を選択すること、社会・企業を理解することが難しかったとする割合が高く、大学在学中にキャリアプランを考える学生にとって、早い時期の会社・業界理解は将来のことを考える上で重要と考えられる。

実体験・フィールドワーク

- ▶ インターンシップやPBLなどは自己理解の後が効果的。そのような負担の大きい企画への参加を促したり、参加した効果を高めるためには、やはりしっかりした自己理解のプログラムに参加した後が効果的と思われる。
- ▶ 自分なりの課題を発見して目的を持って参加できた方が、学生にとってのみならず受入企業にとっても充実したプログラムになる。
- ▶ インターンシップやPBLなどの社会人との交流プログラムでは、リアルに緊張感を感じられると成長につながりやすい。
- ▶ インターンシップの期間も多様化する傾向がある。例えば長期インターンでも、1社のパターンと複数社のパターンがある。学生の志向に合わせて選択の余地があるとよい。
- ▶ 同地域・他地域の大学生との交流が有効。多くの地方大学の学生は、他の大学の学生との交流を望んでいる。それにより情報や刺激などいろいろと得るものが多い様子。特に地方大学生にとって都会の大学との交流については、とても興味深く感じているようであり、他校との交流による刺激や、見知らぬ人との人間関係づくりなどにつながっている。
- ▶ 少し難しいことへの挑戦と、そこでの小さな成功で変化感を味わうこと。アクティブラーニングの中で小さな挑戦と成功、その後の変化を味わうようなプログラムが効果的。何か形のあるものを創る（メディア、企画書、商品など）と、成功がみえやすい。
- ▶ 評価すること、されること。それこそが社会人の現実ということを知らせる。
- ▶ 課外活動では、ボランティア活動、サークル活動、アルバイトがキャリアプランを考える上で役立ったとの学生が多い。

総括（アンケート調査・ヒアリング取材より）

方向性・絞り込み

- ▶ 地域を知る・地域企業を知ること。地域を知ることや地域企業を知るといふ、身近なところから仕事や社会への理解を深めていくのが、学生にとっては取り組みやすい。その上で視野を広げるような取り組みもあるとよい。都会と地方との対比なども行ったうえで、それぞれのキャリアを考えることなど。
- ▶ 産業研究をしっかりと行う。一度視野を広げることで、後の選択の可能性がぐっと膨らむ。サプライチェーンをしっかりと理解して、それぞれの産業や企業の役割・ポジションを知るといった、産業の実態に即した理解をしておく、社会に出てからも役に立つ。
- ▶ 一部の学生にはやりたいこと探しの傾向がある。社会人になってからでも、やりたいことが分からないことも多いという現実を知らせる。それでも前に進むことで解ってくる、ということを理解させる。
- ▶ キャリアプランを考え始めた時期が遅いほど、職業選択する際に、仕事にやりがいがある、自分が成長できること、専門知識・能力を活かせることを重要視する割合が低くなり、勤務地や福利厚生が充実していることを重要視する学生が増える傾向がある（四大）。企業・業界への理解を深め、職業選択の幅を広げることが必要と考えられる。

具体性・プランニング

- ▶ とにかく考えさせること。考える筋道を教え、材料を与えることで、あとは自ら考えることを促進する。一つのテーマについて半年くらいじっくり取り組むことも効果的で、思考力も鍛えられる。
- ▶ グループで取り組むメリットは大きい。キャリアの講義の中では、グループで取り組む活動に、多くの付加価値がある様子。お互いに刺激を与えあったり、相互のアドバイスや人の行動からの気づきがあったり、共に語り合うことで活気が出たり。このようなグループダイナミズムはキャリア形成にとって大いに利用価値があると考えられる。
- ▶ キャリアの授業や講義＝就職支援の授業と考えており、就職支援への取り組みについてはどの大学でも学生の満足度は概ね高い傾向がみられた。特に、具体的な就職活動の流れの理解や実践（自己分析、ES対策、面接対策など）の評価・役立ち度は高い。
- ▶ プログラムの中に意識して楽しく取り組める部分を入れる。楽しい要素を入れた方が学生が参加しやすく、印象にも残り、その後の効果に結びついている。

行動・・・就職へ

- ▶ 一歩踏み出せるような支援を行うこと。頭では分かっているけど行動に移せない学生は多い。行動や体験に自ら踏み出せるような、背中を押すような仕組みがあるとよい。
- ▶ 就職すること、社会に出ることに関しては、多くの学生が、期待より不安を強く感じている傾向がある。しかし、その内容は未知ゆえのネガティブ感であり、前向き、挑戦的に考える学生は期待を強く持っている。
- ▶ 就職活動の支援に対しては、学生の期待が大きい。できるだけきめ細かく、小集団や個別支援を行うことが求められている。アドバイスの影響力は大きいので注意が必要。就活準備につながるキャリア形成支援のプログラムや、入りやすいファシリティの工夫なども大事。できるだけ相談相手になること。情報を把握して、提供する仕組みを作ること。
- ▶ 多くの学生がキャリアセンターを利用しており、特に個別相談への評価は高い。利用度の高い学生では、応募のたびに（あるいは面接を受けるたびに）利用し、個別にアドバイスを受けたことが役立っている様子。

総括（アンケート調査・ヒアリング取材より）

キャリア形成支援のポイント

学生本人の意識付け・動機付け、やる気の維持・フォロー

- ▶ 学生同士の相互支援（ピアサポート）が効果的。身近な友人や先輩からの話は説得力がある。学生間での情報伝達の仕掛け、口コミ促進をすることで影響が広がる。学生団体の活用や、外部パワーの活用をプログラムに取り入れることで効果が高まる。
- ▶ 現状の社会人との接点では、社会人を招いての講座、交流会、産学プロジェクト型授業などが多かった。特に社会人とざっくばらんに話せる場への要望が複数の学生から聞かれた。
- ▶ 自分の将来のことなのだから、受動的に受けるのではなく、能動的に自分から行動する必要があるのではと、他の学生の消極性を指摘する意見も少数ではあるがみられた。他の学生の動きも気になる様子。
- ▶ ヒアリングした学生の多くは、全般的にとても素直な印象があった。例えば、教員や職員からのアドバイスや指摘を、あまりに真面目に、ストレートに受け止めている。自己分析からの結果を就職先の選択で、そのまま活用している学生もみられた。
- ▶ 「自己分析で強みが●●だったので、△△の職種を選んだ」「内定先の企業で交流会があり、うまく話せなかった。自己分析でもコミュニケーションが苦手とでていて、やはり自分は苦手と感じた」など。あまりにも素直に受けとめすぎており、もう少し客観的に考える部分も必要と思われる。

必要なスキル・情報を身につける

- ▶ 新聞やニュースを使うと、社会への興味、仕事や企業への理解、具体的に考えるヒントなどのメリットがあり、終わってからも興味を持って社会をみるようになるという効果がある。
- ▶ 時間にこだわることは、社会人としてとても大事。それはプロジェクトマネジメントの基本的なスキルでもあり、PBLのベースとなる。
- ▶ コミュニケーションが苦手と考えている学生が多くみられた。ヒアリングでしっかり受け答えができる学生でもそのような意見があった。「コミュニケーションが苦手なので事務職」との声も複数あった。
- ▶ コミュニケーションが苦手というよりは、（社会人との）コミュニケーションの経験が少ないために、そのように思い込んでいる印象であり、社会人との交流や自分の意見を伝える機会、質問する機会など経験を積んでいくことで苦手意識が少なくなる学生もいると思われる。

取り組みの質の向上、提供のタイミング

- ▶ いい循環に入れていくようにする。成長感がある学生は、特定の取り組みに参加したのみではなく、その後いくつかのプログラムに参加する好循環にはまっていく。
- ▶ キャリア形成支援の好パターンとしては、低学年次のキャリア教育の授業がキャリアについての興味を持つきっかけとなり、さらにグループワークやアクティブラーニングなどの参加型の講座でより理解を深め、他者との話で視野が広がり、インターンシップやPBLなどの実践的なプログラムで自分の将来をイメージしたり、そのための活力を得たりするという流れがあげられる。
- ▶ 教職員やキャリアセンターとの距離感・ギャップが感じられるケースがある。モラトリアムな世界に浸っており、厳しい現実には目を向けないので、楽な方へ流れる傾向。ゼミの先生などとの接点が重要で、関わり一つで学生の人生が変わる。ゼミなどでのいい影響や後押しも散見される。教員のキャリア形成支援の意識を高めて、一定レベルで均質化することが大事。
- ▶ キャリア形成支援として、授業、講座、個別相談などのキャリアセンターの業務と多面的な支援を行っており、学生がそれを活用しながらキャリア形成につなげている様子がうかがえた。

総括（アンケート調査・ヒアリング取材より）

学生の対象セグメンテーション

セグメント①：自己のキャリア形成や就職に対する意識の高低による分類

【①意識の高い学生】

- ▶ 大学選びにも目的意識を持っている。大学入学直後から学生生活充実へ向けて意識付けを行い、積極的に学生生活を送れるように、交流関係を広く持ち、多様な経験をすることを奨励して、将来を意識させる。
- ▶ 基礎力を向上させるような学生生活を送るように、キャリアデザインについて明確な目標を設定して、社会に出てからも活躍するための準備を早めに行う（インターンシップなど）。
- ▶ 就職活動をしっかりと行わせるような支援をする、個別サポートを中心として、できるだけ高い目標をもたせる。大学のイメージアップにつながる層なので、戦略的に支援することも考慮すべき。

【②中間の学生（意識が高くも低くもない）】

- ▶ これまで通りの支援で対応できる層であり、多くの学生を効率的に支援するという考えが必要。
- ▶ 大人数向けのセミナー・講義や、学外のイベントの紹介などが効率的かつ効果的。
- ▶ このゾーンは支援の優先度は低いとして、自主性に任せておくという考えもありうる。

【③意識の低い学生】

- ▶ 不本意入学やなんとなく入学しているケースなどで、リアルな生活の充実を考えさせることが必要。同じような先輩の話や、自分の振り返りを行わせていくこと。
- ▶ 授業への遅刻や不参加、最悪中退などもみられるので、まずは学生生活をしっかりと楽しみ充実させることを考える。基礎力を高めるようなアルバイトやサークル活動、体験型学習の機会を増やす。
- ▶ 就職活動を早めからのサポートする。そのためには教員の協力が必要。個別のサポート、企業研究促進、就活スキルアップなどが効果的。

セグメント②：キャリアの授業・キャリアセンターの活用度による分類

【①自立型：自ら目的意識や課題意識を持ち、自ら行動する学生】

- ▶ 大きな興味と関心から自ら積極的に行動するなかで、自然とキャリアについて考えている層。特にキャリア形成プログラムを受講しなくても、自然とキャリア形成されると考えられるが、接点のある社会人の志向に影響される傾向があるので、多様な人との接点の場の提供は必要。

【②活用型：与えられた機会をうまく活用し、自分なりに消化し能動的に活動する学生】

- ▶ キャリア形成プログラムの受講をきっかけに、自分のキャリア形成について、そのために必要なことについて自ら考えていける層。そのため、この層には多くの機会を提供することがポイントになる。

【③受動型：与えられた機会を受容し、言われたことを真面目に行う学生】

- ▶ 与えられたプログラムをしっかりとこなすことでキャリアが形成されるので、総合的・体系的なキャリア形成プログラムを検討し提供する必要がある。

【④非参加型：上記の分類以外で授業や講座、個別相談に積極的に参加しない学生】

- ▶ 複数の学校から、この層に対する支援への課題の声もあがっていた。一部学生から授業への参加が受動的な学生には、もっと真剣に取り組んで欲しいとの意見もあった。

▼ 山口県立大学の調査結果

調査概要・結果サマリー

調査概要

▼調査目的

- 学生のキャリア意識と現状のキャリア形成支援に関する講座・授業の評価や今後のニーズを把握し、事業で行うキャリア形成支援共通プログラムの作成や第三者評価の参考とする

【アンケート調査】

▼調査対象

- 全学年

▼調査方法

- 紙アンケート

▼回収数

- 240件（有効回答数：240件）

▼調査実施時期

- 平成25年12月3日～平成26年2月8日

▼調査項目

- **プロフィール**
 - ・大学名／学年／学部／学科／性別／出身地
- **キャリアプランについて**
 - ・卒業後進みたい業種
 - ・将来就きたい仕事（配属先）／役職
 - ・職業を選ぶときに重要視すること
 - ・希望の職業に就くために必要だと思うこと
 - ・将来の仕事のキャリアプラン
 - ・キャリアプランを考え始めた時期／きっかけ／役立った正課科目
 - ・役立った正課外の科目・課外活動／気づき・役立ったこと
 - ・キャリアプランを考える中で身についたこと／難しかったこと
- **今後のキャリア形成プログラムについて**
 - ・後輩に受けて欲しい科目や活動
 - ・大学時代に重要な行動・活動
 - ・キャリア形成支援に関する要望・意見

【ヒアリング取材】

▼調査対象

- キャリア形成の講座・プログラムを受講した学生

▼調査方法

- 山口県立大学に訪問し、現地にてヒアリングを実施

▼実施数

- 2名

▼調査実施時期

- 平成26年1月15日

▼調査項目

- これまでに参加したキャリア形成支援の取り組み、その感想や要望／参加しての効果や行動の変化
学校に望むキャリア形成支援のありかた／自分のキャリアについての考え／社会に出る上での期待や不安

結果サマリー

【キャリアプランニング】

- ▶ **キャリアプランを考え始めた時期は「大学入学前」「3年前期」が多い**
- ▶ **「まだ考えていない」学生は4人にひとり**
 - 「大学入学前」20.0%、「3年前期」17.9%、「まだ考えていない」26.7%。
 - 高学年（3年、4年、修士）の学生は3年次に考え始めた割合が5割を超える。
 - 『県内』学生は「まだ考えていない」割合が3割を超える。
- ▶ **キャリアプランを考え始めたきっかけは「就職ガイダンスやキャリアの授業の参加」「社会人との接点」「家族や友人との話や周りの影響」「実習やインターンシップ」「留学」など**
- ▶ **キャリアプランを考える上で難しかったことは「自分について知ること（自己分析）」**
 - 「自分について知ること」60.9%。

【仕事・職業についての考え方】

- ▶ **卒業後に進みたい業種は「医療・福祉」が6割強**
 - 「医療・福祉」61.3%。
 - CoHRD事業参加四大全体と比べ、「医療・福祉」「飲食」の割合が高い。
- ▶ **将来就きたい仕事（配属先）は「技術サービス部門」「その他」「管理部門」**
 - 「技術サービス部門」17.5%、「その他」15.8%、「管理部門」15.0%。
 - CoHRD事業参加四大全体と比べ、「技術サービス部門」の割合が高い。
- ▶ **職業を選ぶときに重要視することは「仕事にやりがいがある」「労働環境がよい」「安定している」**
 - 「仕事にやりがいがある」76.7%、「労働環境がよい」71.7%、「安定している」67.1%。
- ▶ **希望の職業に就くために必要だと思うことは「コミュニケーション力」**
 - 「コミュニケーション力」63.3%。
- ▶ **「一組織で長く勤めたい」学生は7割**
 - 「複数組織でキャリアを磨きたい」19.6%、「独立・起業したい」5.0%。
- ▶ **将来就きたい役職は「わからない」が8割**
 - CoHRD事業参加四大全体と比べ、「わからない」割合が10ポイント以上高い。

【評価】

- ▶ **役立った正課科目は「実習」「キャリアデザイン」「インターンシップ」**
- ▶ **役立った正課外の科目・課外活動は「サークル活動」「就職ガイダンス・セミナー・就職講座」「インターンシップ」「ボランティア活動」「アルバイト」**
- ▶ **キャリアプランを考える中で役立ったことでは「キャリアサポートの関する講義・ガイダンス」「インターンシップ」「サークル活動」など。気づきでは「自分の将来や目標について考えることの大切さ」「必要なスキルや能力」「企業研究・理解の大切さ」など**
- ▶ **身についたことは「自己理解」**
 - 「自己理解」47.7%。

結果サマリー

【今後のキャリア形成プログラムについての意見】

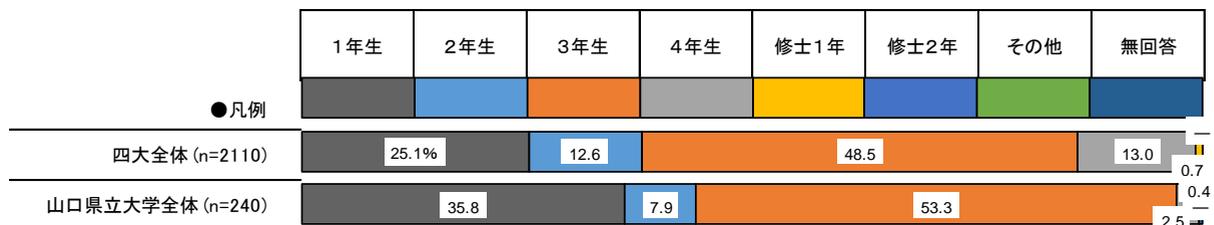
- ▶ 後輩に受けて欲しい科目・活動は、役立った科目・活動同様に「キャリアデザイン」「インターンシップ」「ボランティア活動」
- ▶ 大学時代に重要な行動・活動は「アルバイトを経験する」「ボランティア活動など社会経験を積む」「専門分野を深く学ぶ」「社会人と接する」
 - 「アルバイトを経験する」55.0%、「ボランティア活動など社会経験を積む」50.4%、「専門分野を深く学ぶ」48.8%、「社会人と接する」47.1%。
- ▶ キャリア形成支援の要望としては、「社会人との交流や講義の機会」「先輩の就職体験談を聞く場」「インターンシップや就職活動支援」「企業や仕事の理解促進」など

▼ 山口県立大学の調査結果

回答者プロフィール

回答者プロフィール

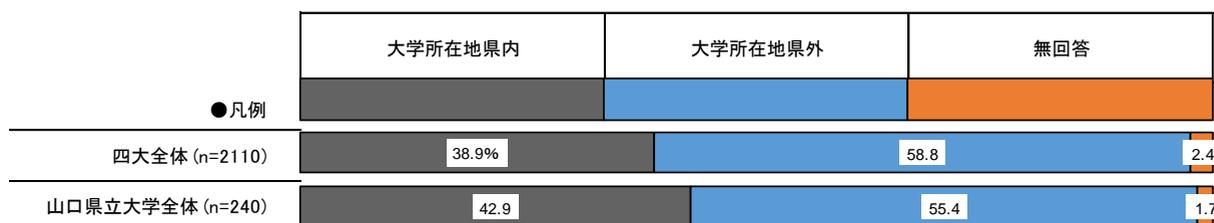
■学年(全体/単一回答)



■性別(全体/単一回答)



■出身地(全体/単一回答)



▼ 山口県立大学の調査結果

キャリアプランニング

キャリアプランを考え始めた時期

【山口県立大学】

- ▶ 「まだ考えていない」がもっとも高く（26.7%）、「大学入学前」（20.0%）、「3年前期」（17.9%）が続く。
- ▶ 3年次にキャリアプランを考え始めた学生（「3年前期」と「3年後期」の合計）が約3割。

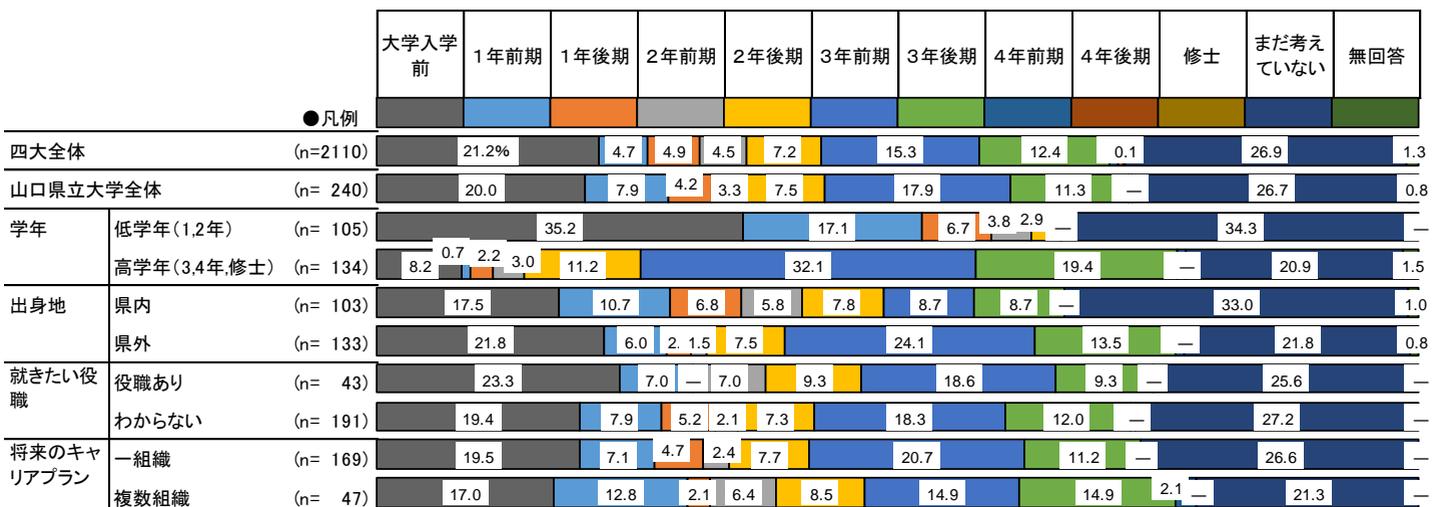
- 学年で見ると、『低学年』の学生は「大学入学前」がもっとも高い。「1年前期」が17.1%。『高学年』の学生は「3年前期」が3割を超え、「3年後期」を含めると5割を超える。『高学年』の学生で「大学入学前」に考え始めた学生は1割弱。
- 出身地で比較すると、『県内』学生は「まだ考えていない」割合が3割を超える。『県外』学生は「3年前期」の割合がもっとも高く、『県内』学生と比べ15ポイントの差。

【CoHRD事業参加大学全体※との比較】

※CoHRD事業参加大学（四大）：山口県立大学、山口大学、梅光学院大学、徳山大学、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、松山大学、松山東雲女子大学、鳥取大学、鳥取環境大学 計11校

- ▶ 四大全体と同様の傾向

■キャリアプランを考え始めた時期（山口県立大学全体／単一回答）



キャリアプランを考え始めたきっかけ

- ▶ 「就職ガイダンスやキャリアの授業の参加」「社会人との接点」「家族や友人との話や周りの影響」「実習やインターンシップ」「留学」などをきっかけにキャリアプランを考え始めた学生が多い。

【大学入学前】

- ▶ 大学進学検討時、高校の授業や先生のすすめ、家族や友人との話など
 - 「高校での職業案内」（3年／社会福祉）
 - 「自分のやりたい職業が存在することを高校の先生が教えてくれたことがきっかけ」（1年／国際文化）
 - 「大学入試で大学を選ぶ時に考えた」（2年／看護栄養）
 - 「兄弟の中で大学に進学したのは自分だけだったので、早く安定した所に就職して親から自立したいと思ったから」（1年／看護栄養）

【1年前期・後期】

- ▶ 就職ガイダンスやキャリアの授業、社会人との接点、家族や友人との話や周りの影響など
 - 「就職ガイダンスを受けてから」（1年前期／1年／看護栄養）
 - 「大学でのキャリア学習」（1年前期／1年／看護栄養）
 - 「学科卒業生のお話を聞いて自分のなりたいものが明確になった」（1年前期／1年／看護栄養）
 - 「大学生となって、社会人と接する機会が多くなったことがきっかけです」（1年後期／3年／国際文化）
 - 「大学の就職率があまり良くないから」（1年前期／1年／国際文化）
 - 「友達や親と話していて」（1年後期／1年／看護栄養）
 - 「先輩達が就活のことを意識したのを見て」（1年後期／1年／看護栄養）

【2年前期・後期】

- ▶ 就職活動を意識して、授業や実習をきっかけに
 - 「そろそろ就活だなと思って、すごく焦りが出たので」（2年後期／3年／社会福祉）
 - 「授業内容が病院関係の内容が濃くて、自分に合わないと感じ始めたので、そこで何が合うのか、向くのか考え始めた時」（2年後期／3年／看護栄養）
 - 「実習で実習先選択する時」（2年後期／3年／社会福祉）
 - 「キャリアデザインⅡを受講し、その道の専門の方々のお話を聞いたこと」（2年前期／2年／国際文化）

【3年前期】

- ▶ キャリアの授業や実習、インターンシップをきっかけに
 - 「キャリアの授業を受け、夏休み中に実習やインターンシップに行ったこと」（3年前期／3年／看護栄養）
 - 「学校の先生の話」（3年前期／3年／看護栄養）
 - 「ソーシャルワーク実習を行って」（3年前期／3年／社会福祉）
 - 「留学をするにあたって、自分のキャリアプランを考えた」（3年前期／4年／国際文化）

【3年後期】

- ▶ 実習やガイダンスの参加、周りの影響で
 - 「実習に参加する中で、もっとしっかりと将来を考えないと仕事をしっかりこなせなくなるのではないかと感じたから」（3年後期／3年／社会福祉）
 - 「就職ガイダンスに参加してから」（3年後期／3年／社会福祉）
 - 「周りの人が就活し出したから」（3年後期／3年／社会福祉）

キャリアプランを考える上で難しかったこと

【山口県立大学】

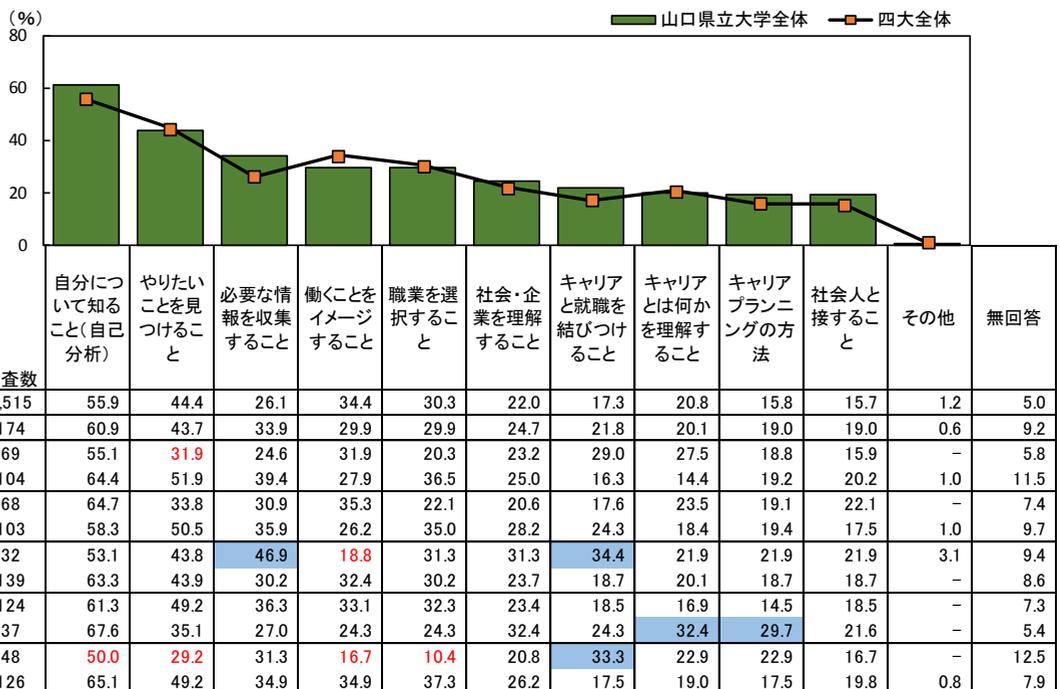
- ▶ 「自分について知ること（自己分析）」（60.9%）がもっとも高く6割。
- ▶ 次いで、「やりたいことを見つけること」（43.7%）が続く。
- ▶ 難しかったこととして、「自分について知ること（自己分析）」が突出している。

- 学年で見ると、『高学年』の学生は『低学年』の学生に比べ、「やりたいことを見つけること」「必要な情報を収集すること」「職業を選択すること」の割合が高い。一方、「キャリアと就職を結びつけること」「キャリアとは何かを理解すること」は『低学年』の割合が高い。
- 出身地では、『県外』学生は『県内』学生に比べ、「やりたいことを見つけること」「職業を選択すること」の割合が高い。
- 就きたい役職で見ると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「必要な情報を収集すること」「キャリアと就職を結びつけること」の割合が高く、「自分について知ること（自己分析）」「働くことをイメージすること」の割合が低い。
- 将来のキャリアプランでは、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「キャリアとは何かを理解すること」「キャリアプランニングの方法」の割合が高く、「やりたいことを見つけること」は低い。
- キャリアを考え始めた時期で見ると、『大学入学前』の学生は『大学在学中』の学生に比べ、「キャリアと就職を結びつけること」の割合が高く、「自分について知ること（自己分析）」「やりたいことを見つけること」「働くことをイメージすること」「職業を選択すること」の割合が低い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体も「自分について知ること（自己分析）」「やりたいことを見つけること」が高く、山口県立大学と同程度の割合。
- ▶ 山口県立大学は、「必要な情報を収集すること」が続き、四大全体は「働くことをイメージすること」「職業を選択すること」が続く。

■ キャリアプランを考える上で難しかったこと（キャリアプランを考えたと回答の山口県立大学学生／複数回答）



+10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上高い数値
 -10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上低い数値
 山口県立大学全体値で降順ソート

※「キャリアプランを考え始めた時期」の「大学在学中」:1年前期～修士

▼ 山口県立大学の調査結果

仕事・職業についての
考え方

卒業後に進みたい業種

【山口県立大学】

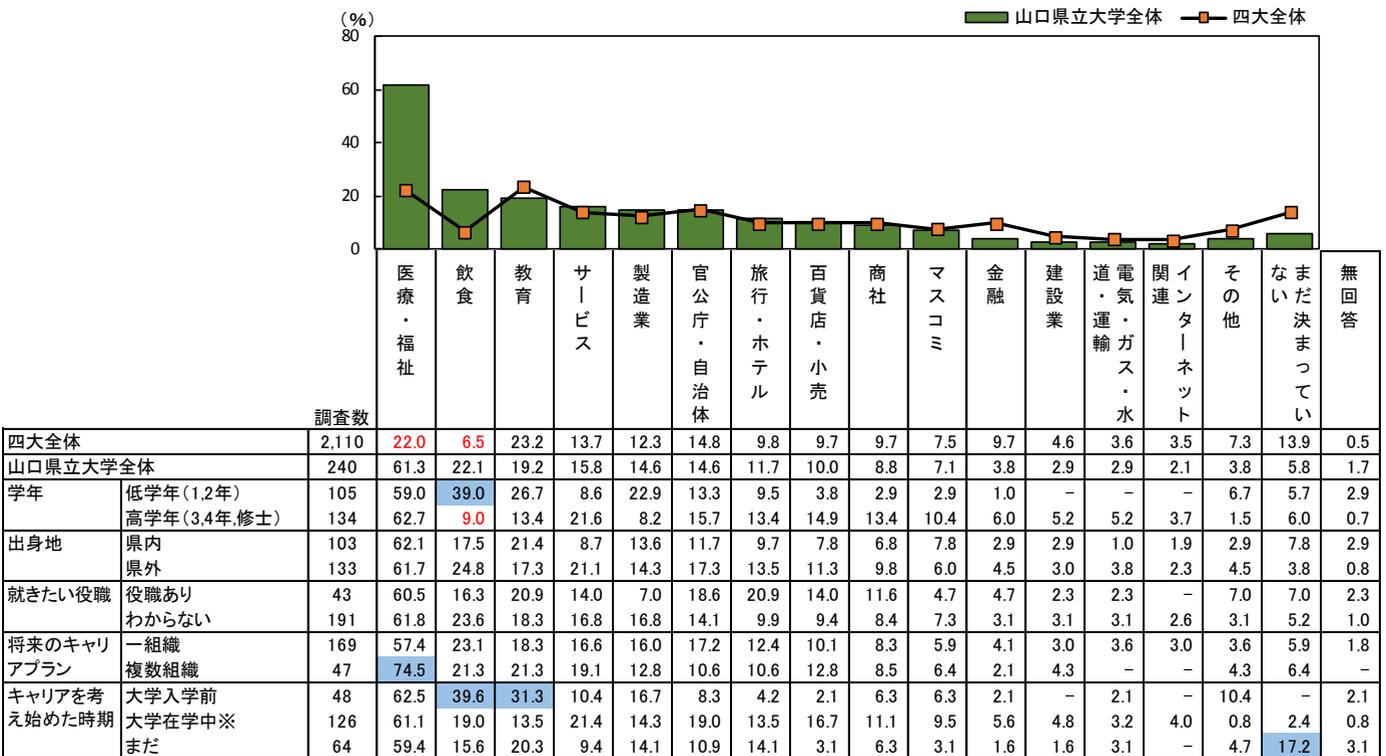
- ▶ 「医療・福祉」(61.3%) がもっとも高く6割強で突出している。
- ▶ 次いで、「飲食」(22.1%)、「教育」(19.2%)が2割前後で続く。
- ▶ 「まだ決まっていない」割合は5.8%。

- 学年で見ると、『低学年』の学生は『高学年』に比べ、「飲食」の割合が30ポイント高い。
- 出身地で見ると、『県外』学生は『県内』学生に比べ、「サービス」の割合が高い。
- 将来のキャリアプランで見ると、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「医療・福祉」の割合が高い。
- キャリアプランを考え始めた時期では、『大学入学前』はその他の時期に比べ、「飲食」「教育」の割合が高い。『大学在学中』の学生は「サービス」「官公庁・自治体」「百貨店・小売」の割合が高い。『まだ』の学生は「まだ決まっていない」割合が他の時期と比べ高い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体に比べ、「医療・福祉」「飲食」の割合が高く、大きな差がみられた。
- ▶ 四大全体に比べ、「まだ決まっていない」割合が低い。

■ 進みたい業種(山口県立大学全体/複数回答)



調査数

+10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上低い数値
山口県立大学全体値で降順ソート
※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

将来就きたい仕事（配属先）

【山口県立大学】

- ▶ 「技術サービス部門」（17.5%）がもっとも高く、「その他」（15.8%）、「管理部門」（15.0%）が続く。

- 学年で見ると、『高学年』の学生は「管理部門」の割合がもっとも高く、『低学年』の学生に比べ10ポイント以上の差がみられた。『低学年』の学生は「研究・開発部門」の割合が高い。
- 出身地で見ると、『県外』学生は『県内』学生に比べ、「管理部門」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期で見ると、『大学入学前』は他の時期に比べ、「管理部門」「営業・販売部門」の割合が低く、「研究・開発部門」「その他」の割合が高い。『大学在学中』の学生は「技術サービス部門」がやや高い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体と比べ、山口県立大学では「技術サービス部門」の割合が高い。

■ 就きたい仕事（山口県立大学全体／単一回答）

		管理部門 (総務・経 理・人事 など)	営業・販 売部門	広報・宣 伝部門	海外事業 部門	研究・開 発部門	調査・企 画部門	製造技 術・生産 管理部門	情報シス テム部門	技術サー ビス部門	その他	無回答
● 凡例												
四大全体 (n=2110)		17.5%	16.2	5.3	6.0	11.9	5.5	3.6	1.1	6.2	20.9	5.8
山口県立大学全体 (n= 240)		15.0	13.3	4.2	5.4	6.7	5.0	5.8	—	17.5	15.8	11.3
学年	低学年(1,2年) (n= 105)	7.6	10.5	3.8	8.6	13.3	4.8	12.4	—	13.3	17.1	8.6
	高学年(3,4年,修士) (n= 134)	20.9	15.7	4.5	3.0	1.5	5.2	—	20.1	14.9	13.4	—
出身地	県内 (n= 103)	9.7	12.6	3.9	6.8	5.8	4.9	6.8	—	21.4	15.5	12.6
	県外 (n= 133)	19.5	14.3	3.8	4.5	6.8	4.5	5.3	—	15.0	16.5	9.8
就きたい役職	役職あり (n= 43)	18.6	11.6	—	7.0	7.0	4.7	2	—	18.6	18.6	11.6
	わからない (n= 191)	14.7	13.1	5.2	5.2	6.8	5.2	6.3	—	17.8	15.7	9.9
将来のキャリアプラン	一組織 (n= 169)	15.4	11.8	4.7	4.7	6.5	5.9	7.1	—	18.3	17.2	8.3
	複数組織 (n= 47)	14.9	14.9	—	6.4	10.6	—	4.4	—	21.3	14.9	12.8
キャリアを考え始めた時期	大学入学前 (n= 48)	4.2	6.3	4.2	4.2	16.7	8.3	8.3	—	14.6	25.0	8.3
	大学在学中※ (n= 126)	19.8	15.9	4.8	4.0	4.0	4.8	3.2	—	22.2	12.7	8.7
	まだ (n= 64)	14.1	12.5	3.1	9.4	4.1	3.1	9.4	—	10.9	15.6	17.2

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期～修士

職業を選ぶときに重要視すること

【山口県立大学】

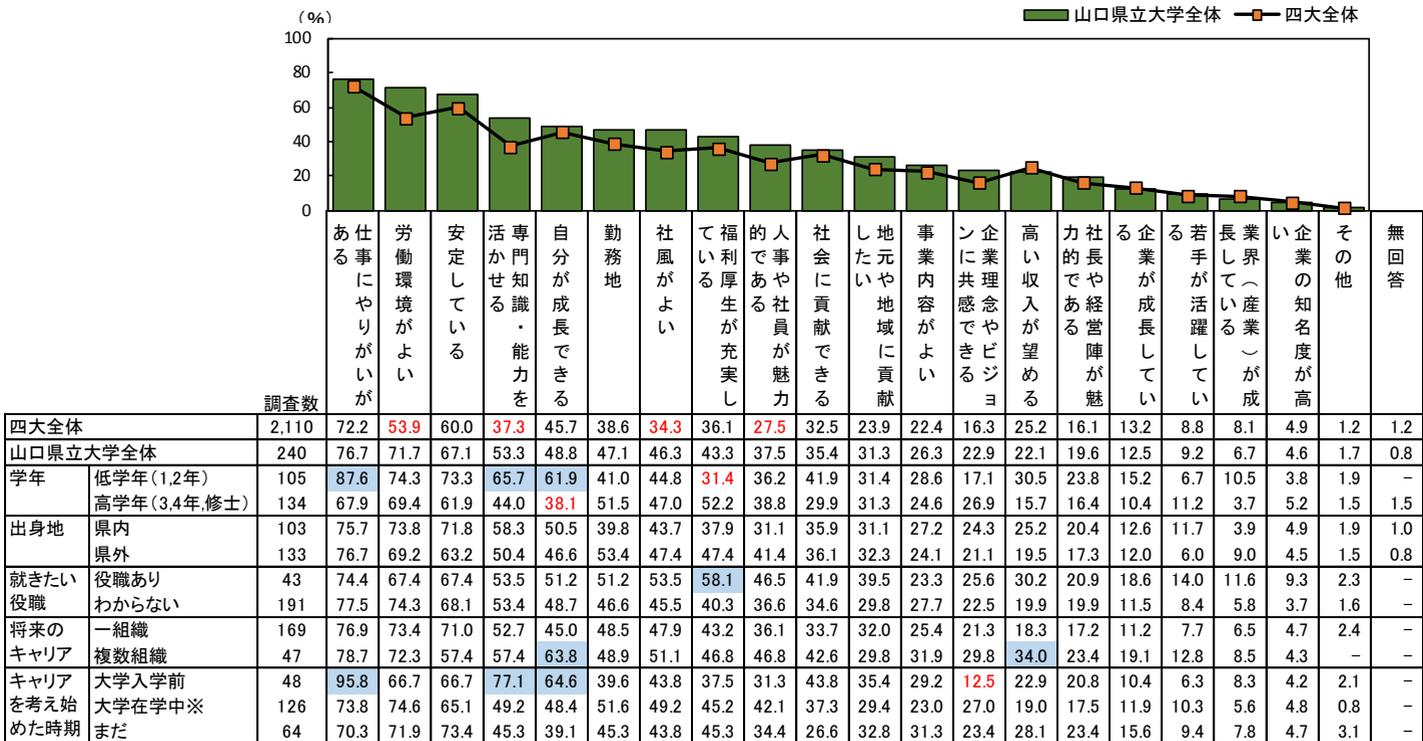
- ▶ 「仕事にやりがいがある」(76.7%) がもっとも高い。
- ▶ 次に、「労働環境がよい」(71.7%)、「安定している」(67.1%)が続く。
- ▶ 上記3つの項目が突出して高い。

- 学年で見ると、『低学年』の学生は『高学年』の学生に比べ、「仕事にやりがいがある」「専門知識・能力を活かせる」「自分が成長できる」割合が高く、「福利厚生が充実している」割合が低い。
- 出身地で見ると、『県外』学生は『県内』学生に比べ、「勤務地」の割合が高い。
- 就きたい役職で比較すると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「福利厚生が充実している」割合が高い。
- 将来のキャリアで見ると、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「自分が成長できる」「高い収入が望める」の割合が高く、「安定している」の割合が低い。
- キャリアを考え始めた時期では、『大学入学前』は「仕事にやりがいがある」「専門知識・能力を活かせる」「自分が成長できる」割合が高く、「仕事にやりがいがある」は9割を超える。一方、「企業理念やビジョンに共感できる」の割合が低い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体、山口県立大学ともに「仕事にやりがいがある」がもっとも高い。
- ▶ 山口県立大学は四大全体に比べ、全体的に重要視する割合が高く、「労働環境がよい」「専門知識・能力を活かせる」「社風がよい」「人事や社員が魅力的である」で10ポイント以上の差がみられた。

■職業を選ぶときに重要視すること(山口県立大学全体/複数回答)



+10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上低い数値

山口県立大学全体値で降順ソート

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期~修士

希望の職業に就くために必要だと思うこと

【山口県立大学】

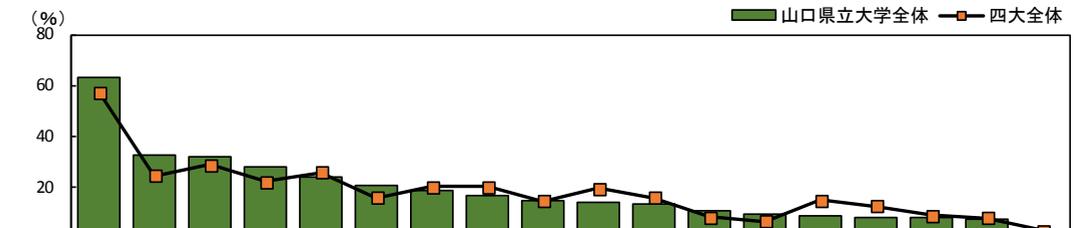
- ▶ 「コミュニケーション力」(63.3%)が6割を超え、突出している。
- ▶ 「チームワーク力」(32.5%)、「自己理解」(32.1%)が3割強。

- 学年で見ると、『低学年』の学生は『高学年』の学生に比べ、「自己理解」の割合が20ポイント近く低い。
- 将来のキャリアプランで見ると、『一組織』の学生は『複数組織』の学生に比べ、「チームワーク力」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期で見ると、『まだ』の学生は「コミュニケーション力」が突出している。『大学入学前』では「分析力・論理的思考力」の割合が高い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体も同様に「コミュニケーション力」が突出して高い。

■ 希望の職業に就くために必要だと思うこと(山口県立大学全体/上位3つ)



	調査数	コミュニケーション力	チームワーク力	自己理解	課題発見・解決力	実行力	対応力・ストレス	業界・企業への理解	社会で働くことへの意欲	分析力・論理的思考力	持続力・継続力	構築力・友人関係の構築	リーダーシップ力	企画力	将来の目標設定	社会への理解	情報感度・情報収集力	社会・組織への貢献意欲	キャリアプランニング	無回答
四大全体	2,110	57.3	24.5	28.6	22.0	25.6	15.7	20.1	20.0	14.4	19.6	15.8	8.2	6.6	14.8	12.5	8.8	7.8	2.7	1.2
山口県立大学全体	240	63.3	32.5	32.1	27.9	23.8	20.4	18.8	16.3	14.6	14.2	13.3	10.4	9.2	8.8	7.9	7.9	7.1	1.7	1.3
学年																				
低学年(1,2年)	105	65.7	39.0	21.0	35.2	28.6	25.7	9.5	13.3	20.0	15.2	15.2	15.2	12.4	9.5	7.6	7.6	6.7	1.9	1.0
高学年(3,4年・修士)	134	61.2	26.9	40.3	21.6	19.4	15.7	25.4	18.7	9.7	12.7	11.2	6.7	6.0	8.2	7.5	7.5	7.5	1.5	1.5
出身地																				
県内	103	62.1	35.9	26.2	29.1	22.3	23.3	11.7	14.6	15.5	18.4	14.6	9.7	12.6	13.6	9.7	5.8	6.8	1.9	1.0
県外	133	63.9	30.8	35.3	27.8	24.8	18.8	22.6	18.0	14.3	11.3	12.8	11.3	6.0	5.3	6.8	9.8	7.5	0.8	1.5
就きたい役職																				
役職あり	43	62.8	37.2	25.6	32.6	18.6	16.3	14.0	23.3	18.6	7.0	7.0	16.3	14.0	7.0	4.7	7.0	7.0	-	-
わからない	191	63.9	31.9	33.5	27.7	25.1	22.0	19.9	14.1	14.1	16.2	15.2	9.4	8.4	8.9	8.9	7.9	7.3	2.1	0.5
将来のキャリアプラン																				
一組織	169	65.1	37.9	30.2	27.2	22.5	18.9	21.3	16.6	13.0	14.2	13.0	9.5	7.7	7.7	9.5	9.5	6.5	1.8	0.6
複数組織	47	59.6	23.4	31.9	25.5	23.4	23.4	14.9	17.0	23.4	12.8	8.5	10.6	10.6	10.6	4.3	4.3	8.5	-	-
キャリアを考え始めた時期																				
大学入学前	48	56.3	35.4	31.3	27.1	27.1	29.2	14.6	18.8	25.0	18.8	18.8	14.6	12.5	16.7	10.4	8.3	10.4	6.3	2.1
大学在学中※	126	61.1	31.0	36.5	25.4	22.2	16.7	22.2	17.5	12.7	11.1	11.9	7.1	9.5	7.1	7.1	8.7	4.8	0.8	-
まだ	64	75.0	34.4	25.0	34.4	25.0	21.9	15.6	12.5	10.9	17.2	12.5	14.1	6.3	6.3	7.8	6.3	9.4	-	-

+10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上低い数値

山口県立大学全体値で降順ソート

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期～修士

将来の仕事のキャリアプラン

【山口県立大学】

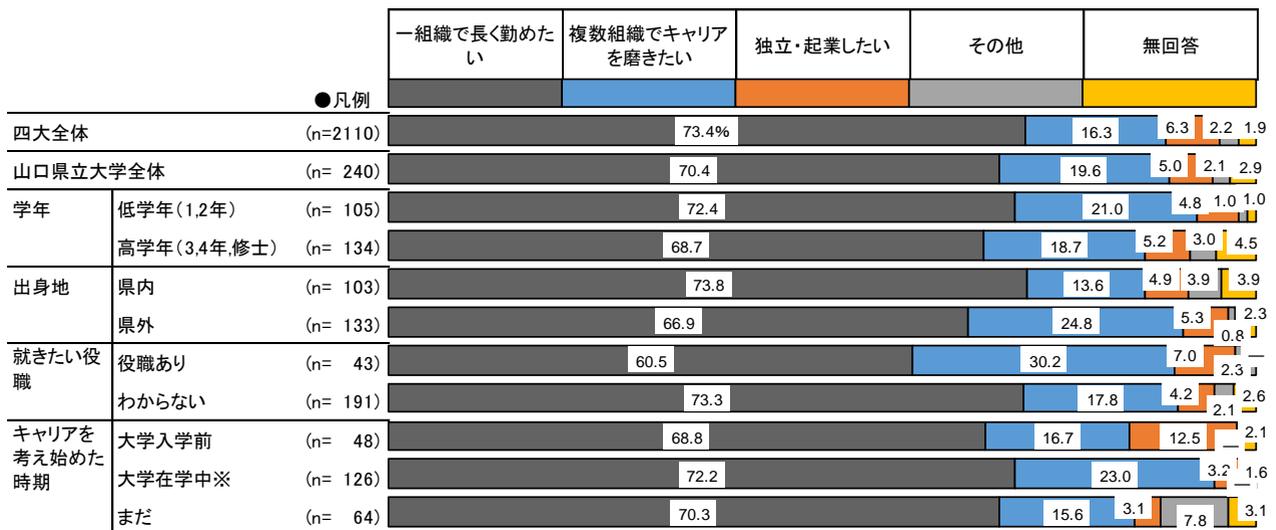
- ▶ 「一組織で長く勤めたい」（70.4%）が7割。
- ▶ 「複数組織でキャリアを磨きたい」は19.6%、「独立・起業したい」は5.0%。

- 出身地でみると、『県外』学生は『県内』学生に比べ「複数組織でキャリアを磨きたい」割合が10ポイント以上高い。
- 就きたい役職で比較すると、『役職あり』の学生は「複数組織でキャリアを磨きたい」割合が『わからない』学生に比べ10ポイント以上高い。
- キャリアを考え始めた時期では、『大学入学前』は「独立・起業したい」の割合が、『大学在学中』は「複数組織でキャリアを磨きたい」の割合が他の時期に比べやや高い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体と同じ傾向。

■ 将来のキャリアプラン(山口県立大学全体／単一回答)



※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

将来就きたい役職

【山口県立大学】

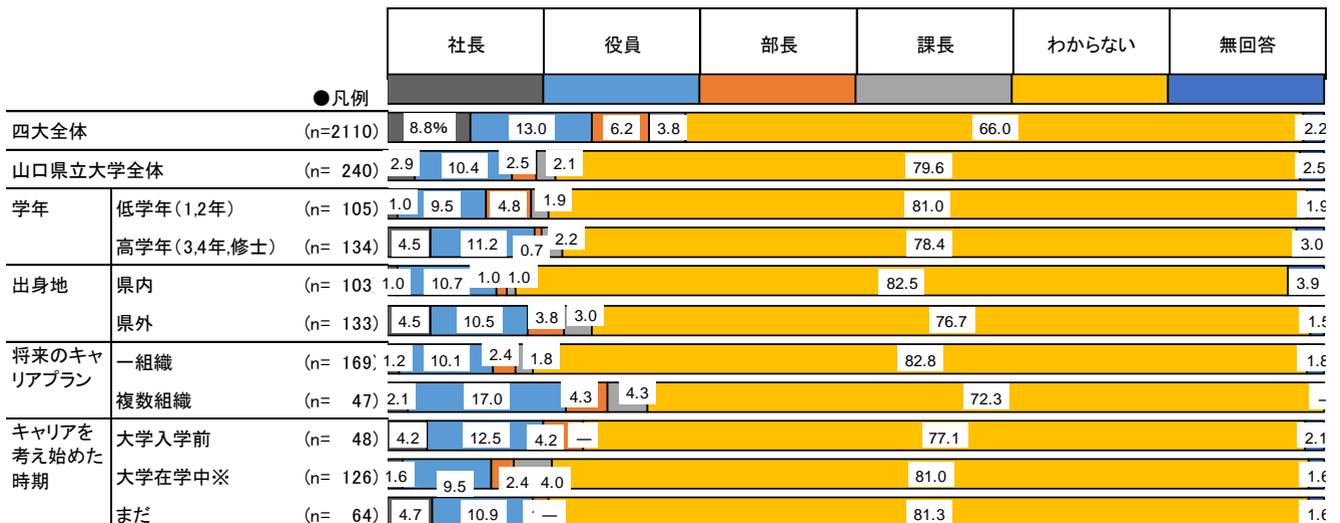
- ▶ 「わからない」(79.6%) がもっとも高く8割。
- ▶ 役職のなかでは、「役員」(10.4%) がもっとも高い。
- ▶ 就きたい役職のある学生の割合は2割弱。

- 将来のキャリアプランでみると、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ「わからない」割合が10ポイント低い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体に比べ、「わからない」割合が10ポイント以上高い。

■ 就きたい役職(山口県立大学全体/単一回答)



※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期～修士

▼ 山口県立大学の調査結果

評価

キャリアプランを考える上で 役立った正課科目/正課外の科目・課外活動

【役立った正課科目】

- ▶ 「実習」「キャリアデザイン」「インターンシップ」が多く挙がっている。
- ▶ 「専門演習」「基礎セミナー」なども複数挙げられている。
- ▶ その他、「文化人類学」「哲学」「組織経営運営論」「食事設計論」「児童福祉論」など。

【役立った正課科目のコメント】

- 「インターンシップ（1つの選択肢だけでなく、自分の将来を広く考えることが出来た。マナー等も学べ、より就職が近くなった）」（3年/社会福祉）
- 「スタディーツアー（大学が提供して下さる海外研修プログラム）タイとスペインに行きました」（3年/国際文化）
- 「専門演習Ⅰ 学術雑誌から色んな資料を見て興味ある分野が少し見えてきた」（3年/社会福祉）

【役立った正課外の科目・課外活動】

- ▶ 「サークル活動」との回答が多い。
- ▶ 「就職ガイダンス・セミナー・就職講座」「インターンシップ」「ボランティア活動」「アルバイト」も複数挙げられている。
- ▶ その他、「食育プログラム開発チーム」など。

キャリアプランを考える中での 気づき・役立ったこと

▶「キャリアサポートに関する講義・ガイダンス」「インターンシップ」「サークル活動」などがキャリアについて考える機会や気づきのきっかけにつながっている。

▶また、「自分の将来や目標について考えることの大切さ」「必要なスキルや能力」「企業研究・理解の大切さ」に気づいたとの学生が多くみられた。

▶キャリアサポートに関する講義・ガイダンス、インターンシップ、サークル活動など課外活動などを通して、キャリアについて考える機会や気づきにつながっている

- 「大学でのキャリアサポートに関する講義」(3年/社会福祉)
- 「キャリアサポートセンターの就職ガイダンスの話を聞いて」(3年/社会福祉)
- 「サークル活動、地域活動など学校外での活動で身につくもの考えさせられる部分があった」(3年/社会福祉)
- 「インターンシップの活動を通して、様々な人(会社の社長、社員、地元の人々)との関係が出来た」(3年/国際文化)
- 「ボランティア、バイト、サークルなど、色々な人や事と触れ合うと後々役立つ」(3年/社会福祉)
- 「学内の先輩方の就職活動の話」(2年/社会福祉)
- 「社会の厳しさ、社会人としての態度、姿勢をインターンシップを通じて感じたこと。こういった社会人になりたいといったイメージが持てたこと」(3年/看護栄養)

▶自分の将来や目標についてしっかり考えること、必要なスキルや能力、企業研究・理解の大切さに気づいた

- 「自己分析することが大切だと気づいた」(3年/社会福祉)
- 「大学在学中にしっかりと目標を設定して努力しないといけないと改めて思った」(1年/看護栄養)
- 「どの大学を受験するか考えた際に、自分が将来どのような職業に就きたいのか、きちんと考えることができた」(1年/国際文化)
- 「進路探しは1、2年のうちから行っていた方がいい」(3年/社会福祉)
- 「なるべく多くの人の体験談を聞き、多様なキャリア・ライフスタイルを知ること(参考)が大切だと感じた」(3年/国際文化)
- 「給食現場で実際に体験し、現場の人と話したことで、実際の仕事内容やコミュニケーションの大切さ、やりがいに気づいた」(3年/看護栄養)
- 「アルバイトの中でお客様や社員の方々と話していく中で、“やりがい”や自分のその業界への“興味・関心”はとても重要なポイントだと感じたこと」(3年/国際文化)
- 「語学力を身につけることの重要性、英語がたつなくても一生懸命話して意志を伝えることが大切であると気付いた」(3年/国際文化)
- 「企業研究をしっかり行わなければならないこと。(就職活動を始めたばかりの時は大企業やB to Cの企業しか知らないから)」(3年/国際文化)
- 「仕事を選ぶ時は、自分が本当にやりたい仕事を選ぶべきで、有名な社名ばかりに引かれるのは良くない」(3年/看護栄養)

身についたこと

【山口県立大学】

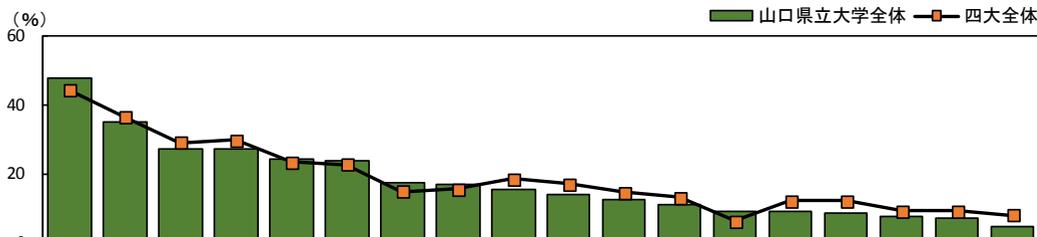
- ▶ 「自己理解」(47.7%)がもっとも高い。
- ▶ 次いで、「将来の目標設定」(35.1%)、「社会で働くことへの理解・意欲」「コミュニケーション力」(27.0%)が続く。

- 学年で見ると、『低学年』の学生は『高学年』の学生に比べ、「将来の目標設定」「コミュニケーション力」「チームワーク力」の割合が高く、「自己理解」「社会で働くことへの理解・意欲」「業界・企業への理解」の割合が低い。
- 出身地で見ると、『県内』学生に比べ『県外』学生は「自己理解」「業界・企業への理解」の割合が高い。
- 就きたい役職で見ると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「将来の目標設定」の割合が高く、「社会で働くことへの理解・意欲」「業界・企業への理解」の割合が高い。
- 将来のキャリアプランで見ると、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「社会で働くことへの理解・意欲」「コミュニケーション力」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期で見ると、『大学入学前』の学生は「将来の目標設定」の割合がもっとも高く5割。一方、「自己理解」の割合が低い。『大学在学中』の学生は『大学入学前』の学生に比べ「業界・企業への理解」の割合が高い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 四大全体と同じ傾向。

■ キャリアプランを考える中で身についたこと(キャリアプランを考えたと回答の山口県立大学学生/複数回答)



	調査数	自己理解	将来の目標設定	社会で働くことへの理解・意欲	コミュニケーション力	業界・企業への理解	社会への理解	チームワーク力	集情報感度・情報収	実行力	課題発見・解決力	構築力・友人関係の	人脈・友人関係の	考力・分析的思维的	企画力	コント力・ストレス	対力・継続力	持続力・継続力	ング	キャリアプランニ	献意欲	社会・組織への貢	リーダーシップ力	無回答
四大全体	1,515	44.2	36.5	29.2	29.7	23.4	22.6	14.9	15.5	18.5	17.0	14.5	13.1	6.3	12.1	12.2	9.1	9.1	7.9	5.7				
山口県立大学全体	174	47.7	35.1	27.0	27.0	24.1	23.6	17.2	16.7	15.5	13.8	12.6	10.9	9.2	9.2	8.6	7.5	6.9	4.6	8.0				
学年																								
低学年(1,2年)	69	36.2	44.9	20.3	34.8	8.7	18.8	24.6	13.0	18.8	17.4	8.7	8.7	13.0	5.8	10.1	10.1	4.3	8.7	4.3				
高学年(3,4年,修士)	104	54.8	28.8	31.7	22.1	34.6	26.9	12.5	18.3	13.5	11.5	14.4	12.5	6.7	11.5	7.7	5.8	8.7	1.9	10.6				
出身地																								
県内	68	42.6	32.4	25.0	26.5	14.7	22.1	14.7	16.2	20.6	11.8	11.8	10.3	16.2	10.3	7.4	7.4	4.4	2.9	7.4				
県外	103	51.5	35.9	29.1	26.2	30.1	25.2	19.4	17.5	12.6	15.5	13.6	10.7	4.9	8.7	9.7	6.8	8.7	5.8	7.8				
就きたい役職																								
役職あり	32	46.9	43.8	18.8	31.3	9.4	28.1	21.9	18.8	15.6	18.8	15.6	15.6	15.6	12.5	15.6	6.3	9.4	12.5	3.1				
わからない	139	48.9	33.1	28.8	25.9	28.1	23.0	16.5	16.5	15.1	12.2	11.5	10.1	7.2	8.6	7.2	7.9	6.5	2.9	8.6				
将来のキャリアプラン																								
一組織	124	46.8	36.3	24.2	23.4	25.8	21.8	16.1	16.9	16.9	12.1	12.9	10.5	11.3	7.3	8.9	7.3	5.6	5.6	7.3				
複数組織	37	56.8	29.7	40.5	40.5	21.6	27.0	18.9	16.2	10.8	13.5	8.1	13.5	2.7	13.5	5.4	8.1	10.8	2.7	5.4				
キャリアを考え始めた時期																								
大学入学前	48	29.2	50.0	22.9	25.0	14.6	25.0	20.8	18.8	22.9	20.8	8.3	12.5	8.3	8.3	10.4	8.3	6.3	8.3	6.3				
大学在学中※	126	54.8	29.4	28.6	27.8	27.8	23.0	15.9	15.9	12.7	11.1	14.3	10.3	9.5	9.5	7.9	7.1	7.1	3.2	8.7				

+10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上低い数値

山口県立大学全体値で降順ソート

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

▼ 山口県立大学の調査結果

今後のキャリア形成プログラムについての意見

後輩に受けて欲しい科目・課外活動

- ▶ 役立つ科目・活動と同様、「キャリアデザイン」「インターンシップ」「ボランティア活動」が多くの学生から挙げられている。
- ▶ 「就職講座やガイダンス」「アルバイト」「サークル活動」「専門科目」なども複数挙げられている。
- ▶ その他では、「留学」や「興味のある講義」「大学外の人との交流」など。

【キャリアデザイン】

- 「キャリアデザインの授業は、就活に対して明確に理解できるようになるので、是非受けて欲しい」（3年／社会福祉）

【その他】

- 「留学は自分の視野が広がるので是非してほしい」（4年／国際文化）
- 「自分の好きで、ひかれる科目が1番」（1年／国際文化）
- 「他大学や、大学内の人以外とも関われるサークル」（1年／看護栄養）
- 「幅広い年代の人と関わる課外活動」（1年／看護栄養）

大学時代に重要な行動・活動

【山口県立大学】

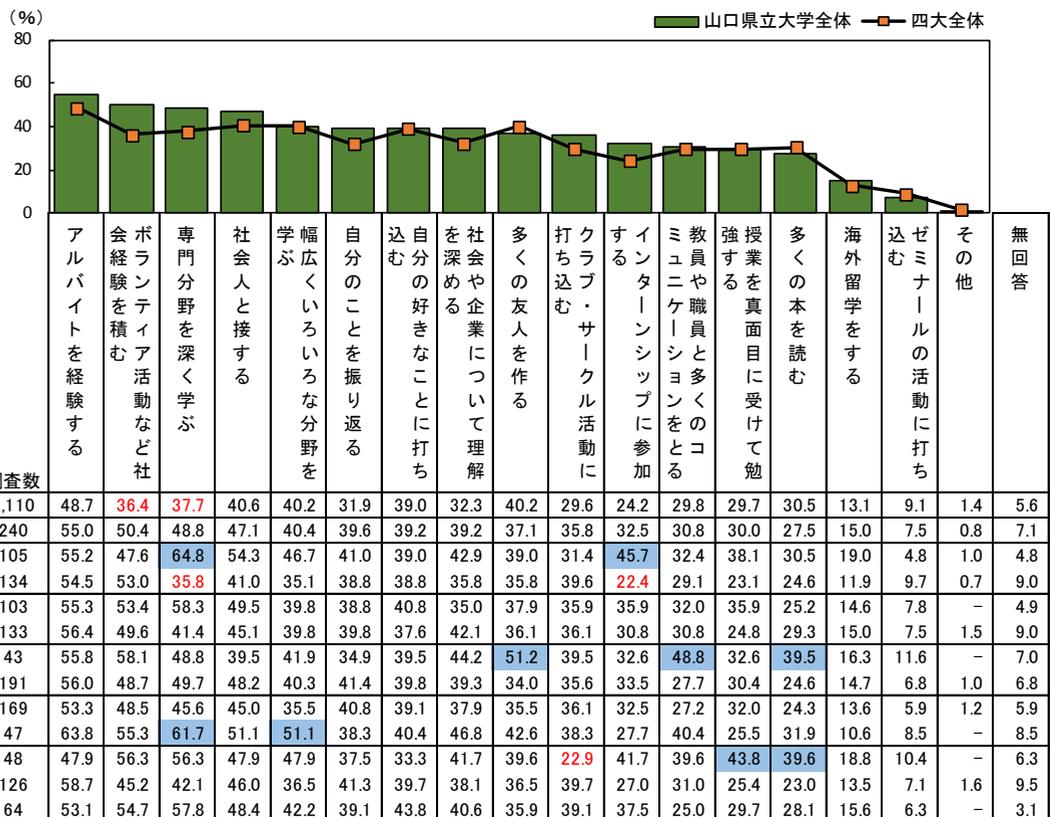
- ▶ 「アルバイトを経験する」(55.0%)がもっとも高い。
- ▶ 次いで、「ボランティア活動など社会経験を積む」(50.4%)、「専門分野を深く学ぶ」(48.8%)、「社会人と接する」(47.1%)が続く。

- 学年で見ると、『低学年』の学生は『高学年』の学生に比べ、「専門分野を深く学ぶ」「インターンシップに参加する」の割合が高い。
- 出身地で見ると、『県内』学生は『県外』学生に比べ、「専門分野を深く学ぶ」割合が高い。
- 就きたい役職で見ると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「多くの友人を作る」「教員や職員と多くのコミュニケーションをとる」「多くの本を読む」の割合が高い。
- 将来のキャリアプランで見ると、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「専門分野を深く学ぶ」「幅広くいろいろな分野を学ぶ」「教員や職員と多くのコミュニケーションをとる」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期で見ると、『大学入学前』の学生は『大学在学中』『まだ』の学生に比べ、「授業を真面目に受けて勉強する」「多くの本を読む」が高く、「クラブ・サークル活動に打ち込む」の割合が低い。『大学在学中』の学生は他の時期に比べ、「専門分野を深く学ぶ」「インターンシップに参加する」の割合が低い。

【CoHRD事業参加大学全体との比較】

- ▶ 山口県立大学は四大全体に比べ、重要と回答の割合が全体的に高い。
- ▶ 「ボランティア活動など社会経験を積む」「専門分野を深く学ぶ」で10ポイント以上高い。

■ 大学時代に重要な活動(山口県立大学全体/複数回答)



+10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 山口県立大学全体値より10ポイント以上低い数値

山口県立大学全体値で降順ソート

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期~修士

要望・意見

▶「社会人との交流や講義の機会」「先輩の就活体験談を聞く場」「インターンシップや就職活動支援」「企業や仕事の理解促進」などの要望が挙げられている。

【要望】

▶ 社会人やOBOGとの交流や講義の機会、先輩の就活体験談の充実

- 「社会人の方と接することができる機会を設けてほしいです」（3年／国際文化）
- 「OB・OGとの交流会・講演会」（1年／看護栄養）
- 「沢山の職種の人のお話を聞きたい」（1年／看護栄養）
- 「先輩におけるキャリアプランの発表会、1年生の始めからあると良い」（3年／国際文化）
- 「学科内での就活先輩談。→専門職なので、一般的な就活とは違うため」（3年／看護栄養）

▶ インターンシップの充実

- 「長期のインターンシップは、予定が合わず、参加できないので、1dayインターンシップを増やしてほしい」（1年／看護栄養）
- 「多種のインターンシップ」（1年／看護栄養）
- 「県外へのインターンシップ」（1年／看護栄養）

▶ 就職活動支援の充実

- 「SPI講座を短期だけでなく長期で開催して欲しい」（3年／社会福祉）
- 「合同説明会などを大学でも行ってほしい」（3年／看護栄養）
- 「より専門分野に特化、地域に特化した情報の提供を行ってほしい」（3年／社会福祉）

▶ 企業や仕事理解促進

- 「自分に合った企業の見つけ方を教えてほしい」（3年／国際文化）
- 「学科特有の企業や職種以外の情報も幅広く教えてほしい」（1年／看護栄養）
- 「管理栄養士の就職先での仕事内容などを詳しく知りたい。具体的なものを知りたい」（1年／看護栄養）

▼ 全体の調査結果

結果サマリー

結果サマリー

【キャリアプランニング】

- ▶ **キャリアを考え始めた時期は、四大、短大ともに「まだ考えていない」がもっとも高く、4人にひとりの割合。次いで高いのが「大学入学前」**
 - 「まだ考えてない」四大：26.9%、短大：28.4%。
 - 「大学入学前」四大：21.2%、短大：23.2%。
- ▶ **大学在学中の時期では、四大では3年次、短大では1年次が3割前後**
 - 四大：「3年前期」15.3%、「3年後期」12.4%。
 - 短大：「1年前期」15.5%、「1年後期」15.2%。
- ▶ **キャリアプランを考えたまっかけは、四大、短大ともに「大学の授業・課外活動」がもっとも多い。**
- ▶ **キャリアプランを考える上で難しかったことは、四大、短大ともに「自分について知ること（自己分析）」「やりたいことを見つけること」「働くことをイメージすること」**
 - 「自分について知ること（自己分析）」四大：55.9%、短大：47.2%。
 - 「やりたいことを見つけること」四大：44.4%、短大：36.2%。
 - 「働くことをイメージすること」四大：34.4%、短大：36.2%。
- ▶ **四大、短大ともに『大学在学中』にキャリアを考え始めた学生は『大学入学前』にキャリアを考え始めた学生に比べ、「やりたいことを見つけること」「職業を選択すること」が難しい**

【仕事・職業についての考え方】

- ▶ **卒業後に進みたい業種は、四大、短大ともに「教育」「医療・福祉」が高い**
- ▶ **四大は「官公庁・自治体」が、短大は「飲食」が続く**
 - 「教育」四大：23.2%、短大：34.4%。
 - 「医療・福祉」四大：22.0%、短大：26.9%。
 - 「官公庁・自治体」四大：14.8%、短大：4.3%。
 - 「飲食」四大：6.5%、短大：11.5%。
- ▶ **四大では、キャリアプランをまだ考えていない学生は進みたい業種が「まだ決まっていない」割合が高い。短大では、1年の学生、キャリアプランをまだ考えていない学生が「まだ決まっていない」割合が高い**
- ▶ **就きたい仕事（配属先）は、四大は「その他」がもっとも高く、「管理部門（総務・経理・人事など）」「営業・販売部門」が続く。**
 - 「その他」20.9%、「管理部門」17.5%、「営業・販売部門」16.2%。
- ▶ **短大は「その他」が突出**
 - 「その他」35.5%。

結果サマリー

- ▶ 職業を選ぶときに重要視することは、四大、短大ともに、「仕事にやりがいがある」「安定している」
 - 「仕事にやりがいがある」四大：72.2%、短大：79.4%。
 - 「安定している」四大：60.0%、短大：66.8%。
- ▶ 希望の職業に就くために必要だと思うことは、四大、短大ともに、「コミュニケーション力」が突出し約6割。
 - 「コミュニケーション力」四大：57.3%、短大：62.5%。
- ▶ 短大では、次いで「チームワーク力」が4割を超え、四大と差がみられた
- ▶ 四大では、キャリアを考え始めた時期が遅いほど「自己理解」「業界・企業への理解」を必要だと思う割合が高くなる。
- ▶ 「一組織で長く勤めたい」学生が四大、短大ともに7割前後
 - 「一組織で長く勤めたい」四大：73.4%、短大：68.8%。
- ▶ 「独立・起業したい」割合は四大、短大ともに1割未満
- ▶ 将来就きたい役職は「わからない」が四大、短大ともに高い
 - 「わからない」四大：66.0%、短大：71.3%。

【評価】

- ▶ 役立った正課科目は、キャリア形成の科目、実習、インターンシップ、専門科目など
- ▶ 役立った正課外・課外活動では、四大、短大ともに「ボランティア/災害復興」が多い
- ▶ キャリアプランを考える中での気づき・役だったことは、四大、短大ともに「自己理解/自己分析」がもっとも多い
- ▶ 身についたことは、四大、短大ともに「自己理解」
 - 「自己理解」四大：44.2%、短大：45.5%。
- ▶ 四大では「将来の目標設定」が、短大では「コミュニケーション力」が続く

【今後のキャリア形成プログラムについての意見】

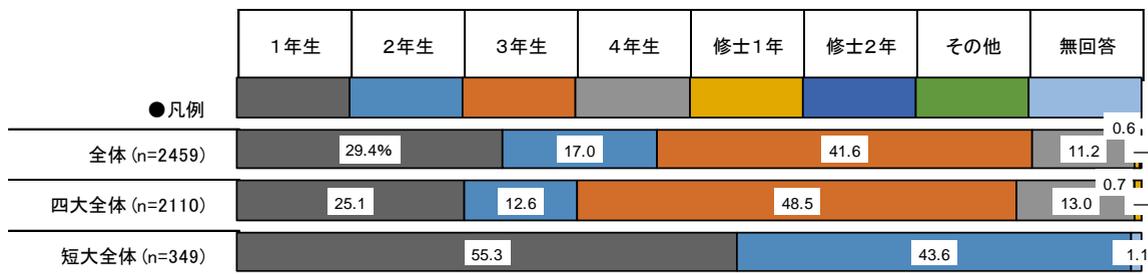
- ▶ 後輩に受けて欲しい科目・課外活動では、役立った科目・課外活動が挙げられている
- ▶ 大学時代に重要な行動・活動は、四大、短大ともに、「アルバイトを経験する」がもっとも高い
 - 「アルバイトを経験する」四大：48.7%、短大：53.6%。
- ▶ 「社会人と接する」「多くの本を読む」「クラブ・サークル活動に打ち込む」「海外留学をする」で四大・短大と差がみられた
- ▶ 要望・意見では、四大、短大ともに「十分満足/特になし」が多い

▼ 全体の調査結果

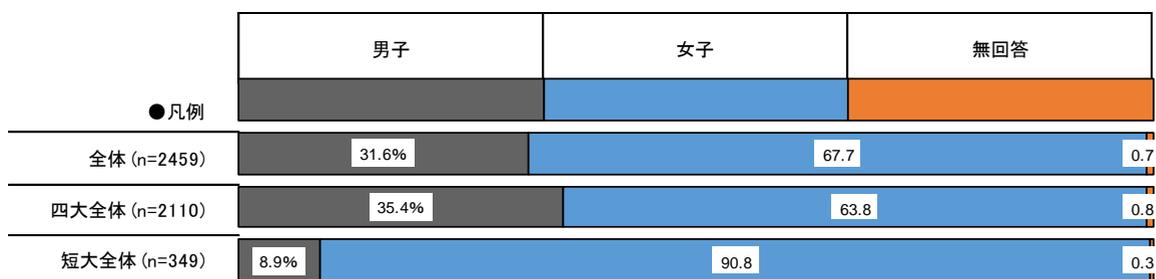
回答者プロフィール

回答者プロフィール

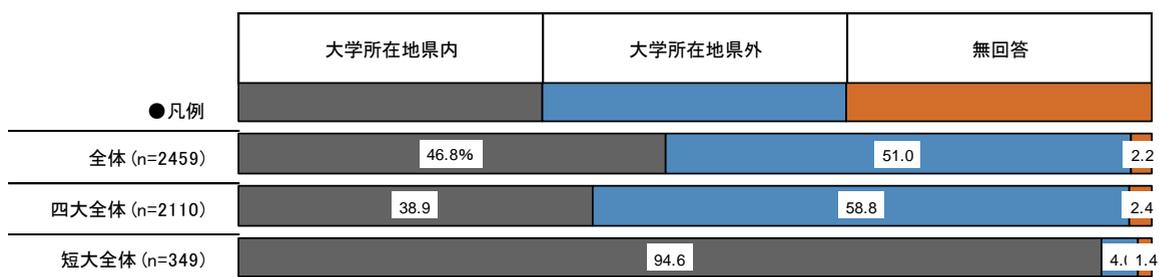
■学年(全体/単一回答)



■性別(全体/単一回答)



■出身地(全体/単一回答)



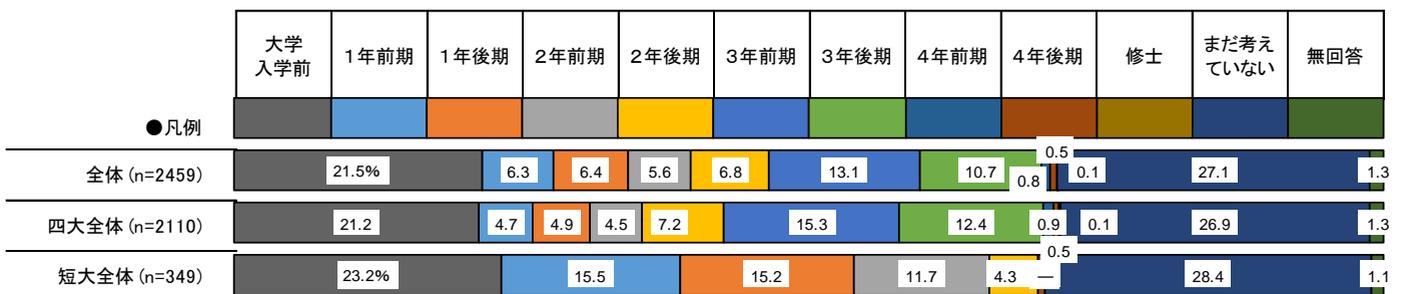
▼ 全体の調査結果

キャリアプランニング

キャリアプランを考え始めた時期

- ▶ 四大、短大ともに「まだ考えていない」がもっとも高い。
- ▶ 次いで、「大学入学前」が続く。
- ▶ 四大では、「3年前期」「3年後期」がそれぞれ15.3%、12.4%で3年次に考え始めた割合が3割弱。
- ▶ 短大では、「1年前期」「1年後期」がほぼ同じ割合で1年次に考え始めた割合が3割強。

■ キャリアプランを考え始めた時期（全体／単一回答）

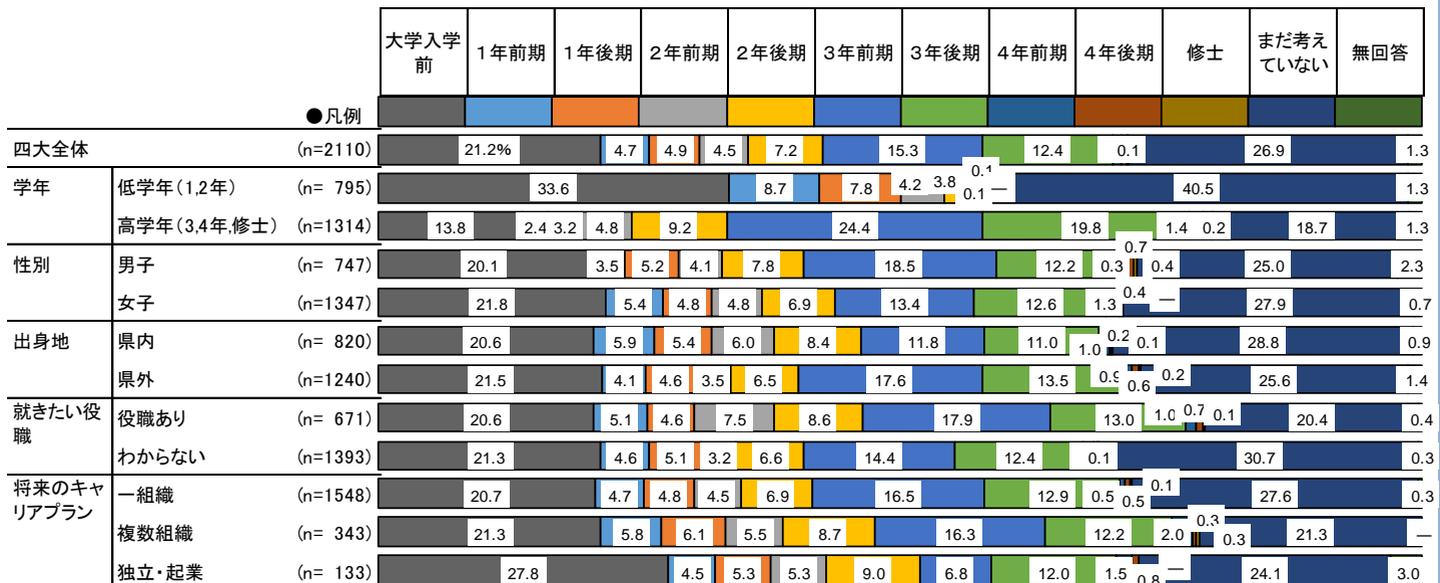


キャリアプランを考え始めた時期

【四大】

- 学年で比較すると、『低学年』の学生は「まだ考えていない」「大学入学前」で7割以上を占める。『高学年』の学生は「3年前期」がもっとも高く、「3年後期」が続く。3年次で考え始めた学生が4割以上。
- 性別では大きな差はみられない。
- 出身地でみると、大きな差はみられないものの、『県外』学生は『県内』学生に比べ、「3年前期」の割合がやや高い。
- 就きたい役職では、『わからない』学生は『役職あり』の学生に比べ、「まだ考えていない」割合が10ポイント高い。
- 将来のキャリアプランでみると、『独立・起業』したい学生は『一組織』『複数組織』の学生に比べ、「大学入学前」の割合がやや高い。『一組織』『複数組織』の学生は「3年前期」の割合が『独立・起業』の学生に比べ10ポイント近く高い。

■キャリアプランを考え始めた時期(四大全体/単一回答)

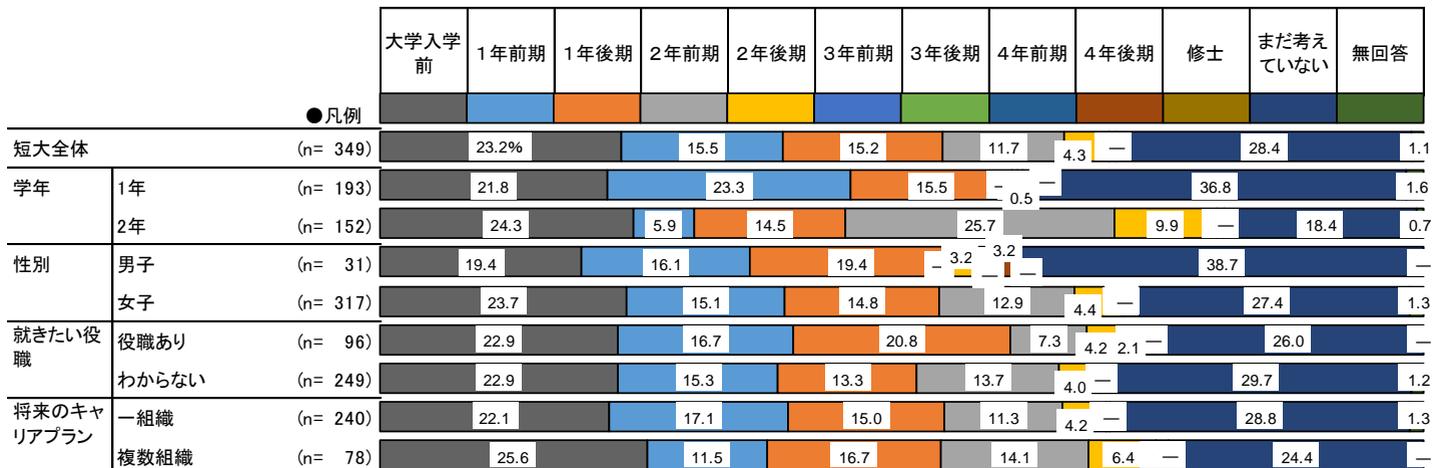


キャリアプランを考え始めた時期

【短大】

- 学年で比較すると、『1年』の学生は「まだ考えてない」割合が36.8%。1年次（「1年前期」と「1年後期」の合計）に考え始めた学生は4割弱。『2年』の学生は「2年前期」の割合がもっとも高い。
- 性別では、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「まだ考えていない」割合が10ポイント以上高い。（対象数が少ないため参考値とする）

■キャリアプランを考え始めた時期（短大全体／単一回答）



キャリアプランを考え始めたきっかけ

※自由回答を分類・集計

【四大】

- ▶ 「講義／授業（キャリアデザイン、キャリアプラン、キャリア形成、キャリア入門、公務員）」がきっかけの学生がもっとも多い。
- ▶ 次いで、「就職活動が始まるから／近づいてきたから」「したいことがわかってきた／将来の夢ができた」「高校・大学受験」が続く。

- 分類別でみると、合計数は「大学の授業・課外活動」の回答数がもっとも多い。次いで、「就職活動」「将来の目標・働く目的」「人の話・影響」「大学入学前」。

【短大】

- ▶ 「講義／授業（キャリアデザイン、キャリアプラン、キャリア形成、キャリア入門、公務員）」がきっかけの学生がもっとも多い。
- ▶ 次いで、「したいことがわかってきた／将来の夢ができた」「就職活動が始まるから／近づいてきたから」「インターンシップ・実習体験」「将来について考え始めた」が続く。

- 分類別でみると、合計数は「大学の授業・課外活動」がきっかけの回答数がもっとも多い。次いで、「将来の目標・働く目的」「就職活動」「人の話・影響」「大学入学前」。

キャリアプランを考え始めたきっかけ

●四大

分類	回答内容	回答数
就職活動	就職活動	32
	就職活動が始まるから／近づいてきたから	124
	就職活動が始まったから	61
	就職のことを考え始めた時／意識し始めたから	33
	就職ガイダンスに参加	44
	合同企業説明会	9
	会社研究時	1
	面談／面接	3
	就職が決まったから	1
	情報収集している	1
	ハローワーク／リクナビ	4
	焦りだしたから	11
	早く決めたいから／社会は競争によって成り立つ	9
大学の授業・課外活動	セミナー／ゼミで	41
	講義／授業(キャリアデザイン、キャリアプラン、キャリア形成、キャリア入門、公務員)	170
	インターンシップ／実習体験	62
	アルバイトの経験	21
	ボランティアの経験	5
	留学／英語の勉強	15
	専門知識が必要と感じた	5
	専門資格	7
	大学入学して	17
	学校生活で	5
	夢と違う道を選んだから	2
大学休学	1	
人の話・影響	先輩の話聞いて／先輩の就職活動を見て	42
	社会人の話／企業の方の話	13
	親族、家族との話し合い／影響	38
	きょうだいの就職活動を見て	13
	周りの影響／友達が始めたから	75
	周りの大人を見て	1
	他大学の学生の話	2
	先生の話	18
	テレビ／メディア／雑誌	13
将来の目標・働く目的	何の職業に就きたいか考えた時／自己分析／自分を探すため	23
	したいことがわかってきた／将来の夢ができた	122
	子供が好き	3
	将来について考え始めた	61
	憧れの人がいたから	21
	社会につながるため	0
	自立するため／働きたい	6
	安定した生活がしたいから	9
	地域に貢献したいから／地元で働きたいと思ったから	12
	一組織で長く働きたいから	5
	お金が必要と感じた／失職	8
	将来が不安になった	10
卒業が近いから	14	
大学入学前	中学・高校の授業	26
	中学・高校時の進路	25
	高校・大学受験	103
その他	音楽を聞き始めて	1
	ふとした瞬間	2
	覚えてない／わからない	13
	なんとなく／漠然と	18
	特になし	10

●分類合計数

「就職活動」
回答数合計：333件

「大学の授業・課外活動」
回答数合計：351件

「人の話・影響」
回答数合計：215件

「将来の目標・働く目的」
回答数合計：294件

「大学入学前」
回答数合計：154件

キャリアプランを考え始めたきっかけ

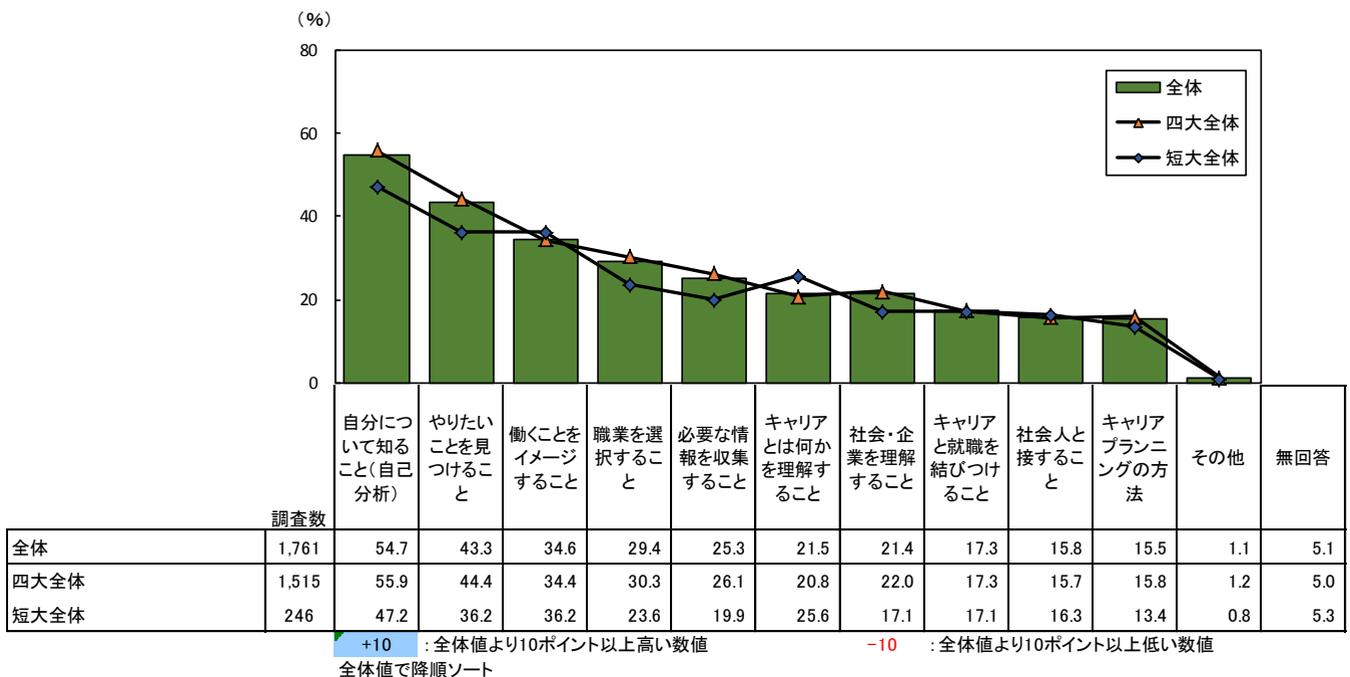
●短大

分類	回答内容	回答数
就職活動	就職活動	7
	就職活動が始まるから／近づいてきたから	13
	就職活動が始まったから	4
	就職のことを考え始めた時／意識し始めたから	7
	就職ガイダンスに参加	5
	合同企業説明会	0
	会社研究時	0
	面談／面接	0
	就職が決まったから	1
	情報収集していて	1
	ハローワーク／リクナビ	1
	焦りだしたから	3
	早く決めたいから／社会は競争によって成り立つ	1
	●分類合計数 「就職活動」 回答数合計：43件	
大学の授業・課外活動	セミナー／ゼミで	4
	講義／授業(キャリアデザイン、キャリアプラン、キャリア形成、キャリア入門、公務員)	36
	インターンシップ／実習体験	13
	アルバイトの経験	3
	ボランティアの経験	3
	留学／英語の勉強	0
	専門知識が必要と感じた	1
	専門資格	0
	大学入学して	1
	学校生活で	0
	夢と違う道を選んだから	2
大学休学	0	
「大学の授業・課外活動」 回答数合計：63件		
人の話・影響	先輩の話聞いて／先輩の就職活動を見て	0
	社会人の話／企業の方の話	4
	親族、家族との話し合い／影響	6
	きょうだいの就職活動を見て	1
	周りの影響／友達が始めたから	9
	周りの大人を見て	0
	他大学の学生の話	0
	先生の話	6
	テレビ／メディア／雑誌	1
「人の話・影響」 回答数合計：27件		
将来の目標・働く目的	何の職業に就きたいか考えた時／自己分析／自分を探すため	0
	したいことがわかってきた／将来の夢ができた	16
	子供が好き	4
	将来について考え始めた	13
	憧れの人がいたから	1
	社会につながるため	4
	自立するため／働きたい	4
	安定した生活がしたいから	1
	地域に貢献したいから／地元で働きたいと思ったから	3
	一組織で長く働きたいから	0
	お金が必要と感じた／失職	0
	将来が不安になった	4
	卒業が近いから	9
「将来の目標・働く目的」 回答数合計：59件		
大学入学前	中学・高校の授業	3
	中学・高校時の進路	1
	高校・大学受験	9
「大学入学前」 回答数合計：13件		
その他	音楽を聞き始めて	0
	ふとした瞬間	1
	覚えてない／わからない	0
	なんとなく／漠然と	1
	特になし	4

キャリアプランを考える上で難しかったこと

- ▶ 四大、短大ともに、「自分について知ること（自己分析）」がもっとも高い。
- ▶ 「やりたいことを見つけること」「働くことをイメージすること」がどちらも続く。
- ▶ 短大は「キャリアとは何かを理解すること」が上記3つに次いで高い。

■ キャリアプランを考える上で難しかったこと（キャリアプランを考えたと回答の学生／複数回答）

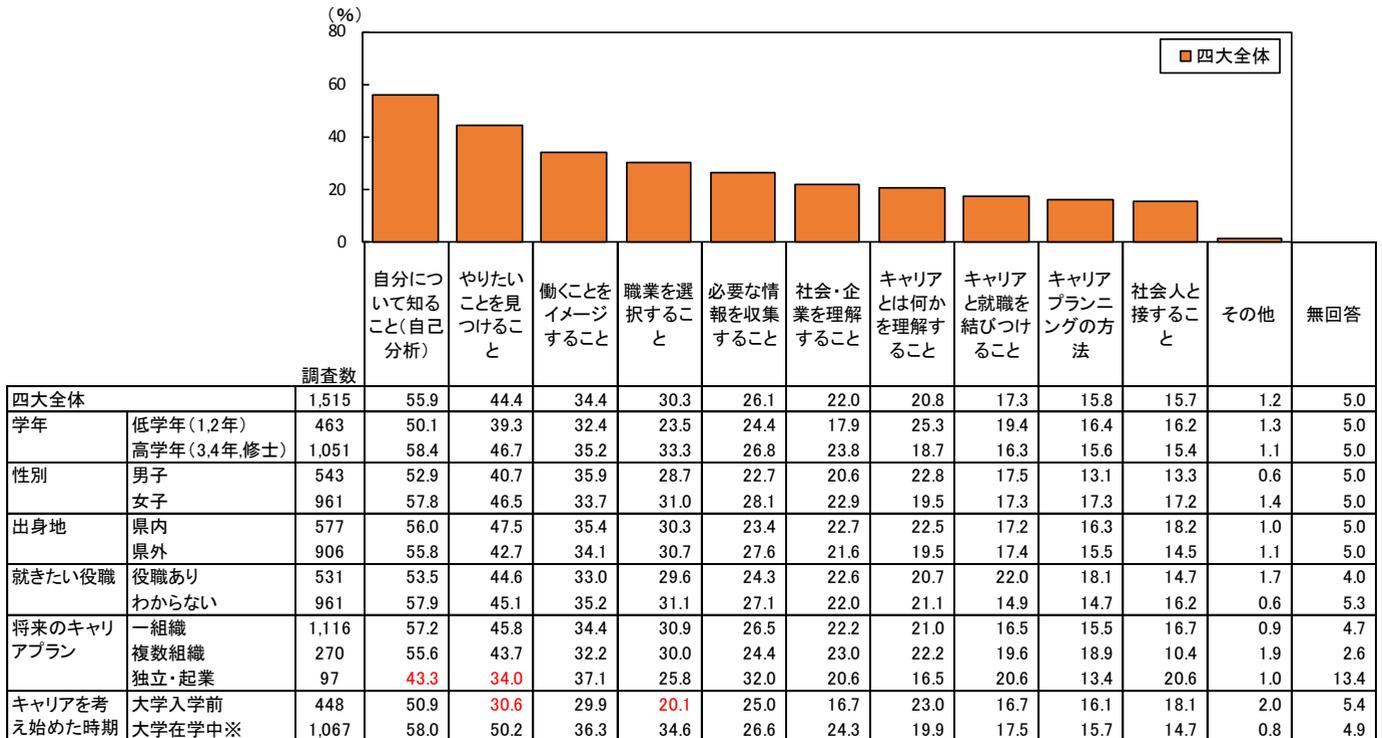


キャリアプランを考える上で難しかったこと

【四大】

- 学年で比較すると、『低学年』『高学年』の学生ともに「自分について知ること（自己分析）」「やりたいことを見つけること」「働くことをイメージすること」が上位に挙がっているが、『高学年』の方が割合が高い。『低学年』の学生は「キャリアとは何かを理解すること」、『高学年』の学生は「職業を選択すること」が上記に続く。
- 性別、出身地、就きたい役職ともに属性で大きな差はみられない。
- 将来のキャリアプランでみると、『独立・起業』したい学生は『一組織』『複数組織』の学生に比べ、「自分について知ること（自己分析）」「やりたいことを見つけること」の割合が低い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学入学前』に考え始めた学生は『大学在学中』の学生に比べ「やりたいことを見つけること」「職業を選択すること」の割合が10ポイント以上低い。

■キャリアプランを考える上で難しかったこと(キャリアプランを考えたと回答の四大学生/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期~修士

キャリアプランを考える上で難しかったこと

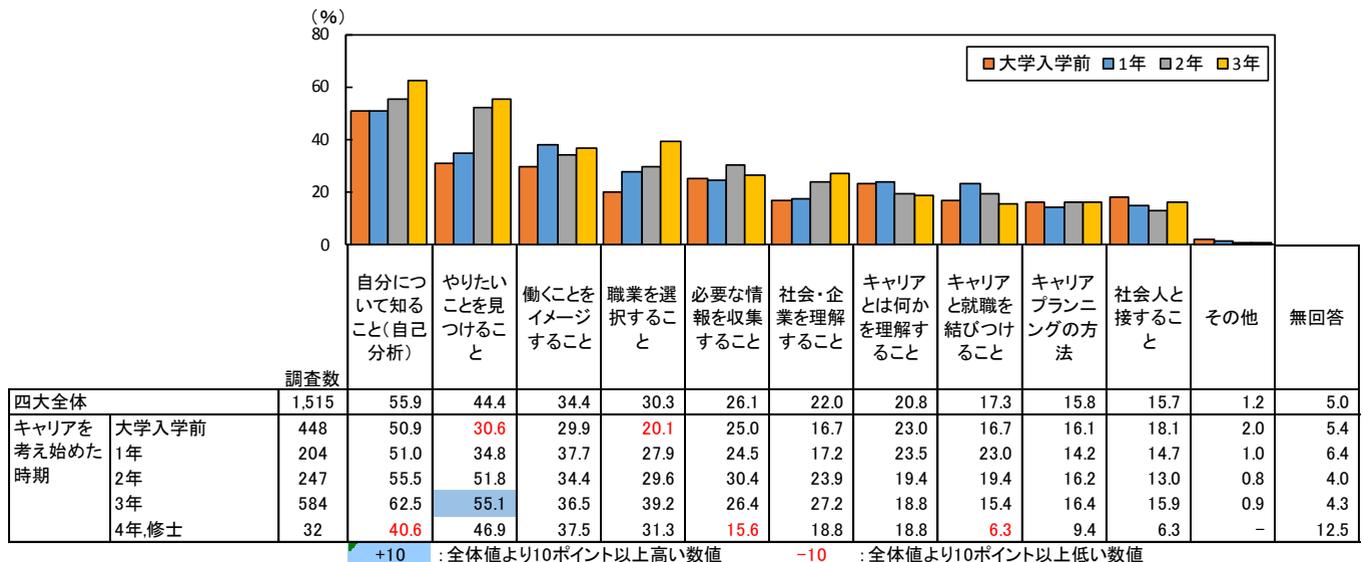
【四大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『大学入学前』の学生と差がみられた「やりたいことを見つけること」「職業を選択すること」で、『大学入学前』から『3年』と考え始めた時期が遅くなるにつれ、難しかったと回答の割合が高い。
- 「自分について知ること(自己分析)」「社会・企業を理解すること」でも同様の傾向。(『4年、修士』は対象数が少ないため参考値とする)

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■キャリアプランを考える上で難しかったこと(キャリアプランを考えたと回答の四大学生/複数回答)

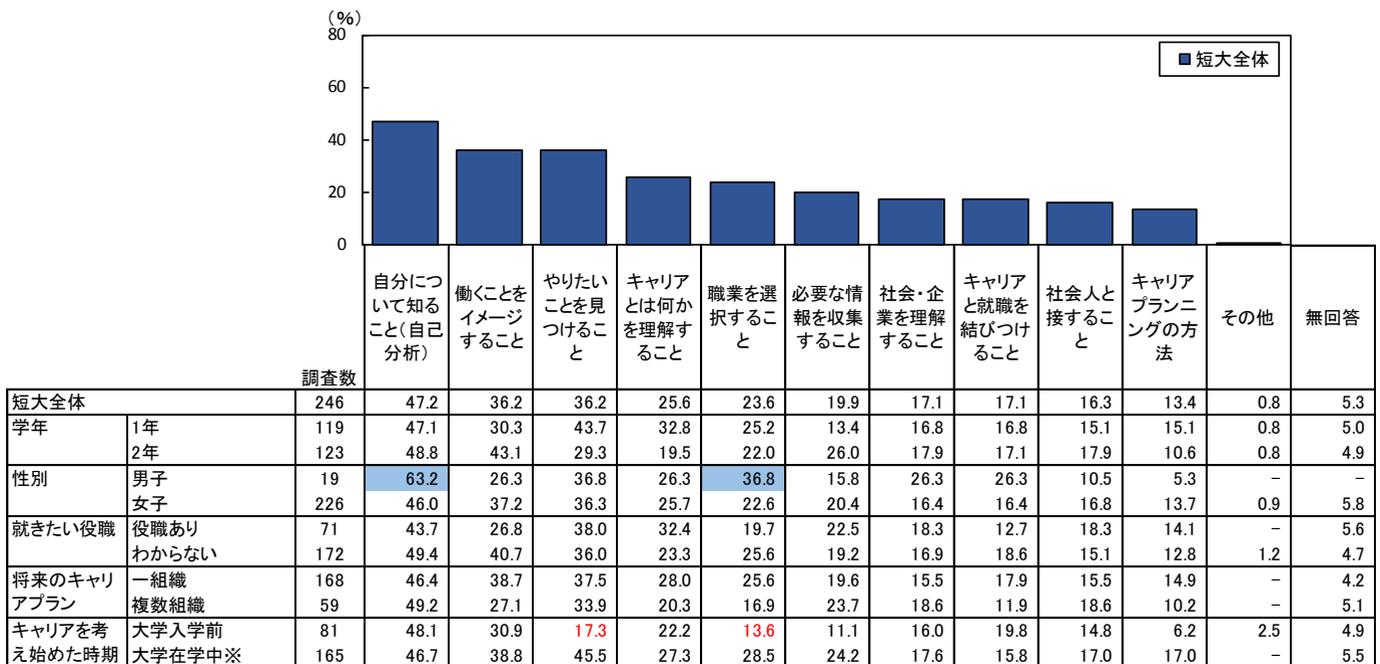


キャリアプランを考える上で難しかったこと

【短大】

- 学年で比較すると、『1年』の学生は「やりたいことを見つけること」「キャリアとは何かを理解すること」の割合が『2年』の学生に比べ10ポイント以上高い。一方、「働くことをイメージすること」「必要な情報を収集すること」は10ポイント以上低い。
- 就きたい役職でみると、『わからない』学生は『役職あり』学生に比べ、「働くことをイメージすること」の割合が高い。
- 将来のキャリアプランでみると、『一組織』の学生は『複数組織』の学生に比べ「働くことをイメージすること」「職業を選択すること」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期では、『大学入学前』に考え始めた学生は『大学在学中』の学生に比べ、「やりたいことを見つけること」「職業を選択すること」の割合が低い。

■ キャリアプランを考える上で難しかったこと(キャリアプランを考えたと回答の短大学生/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

キャリアプランを考える上で難しかったこと

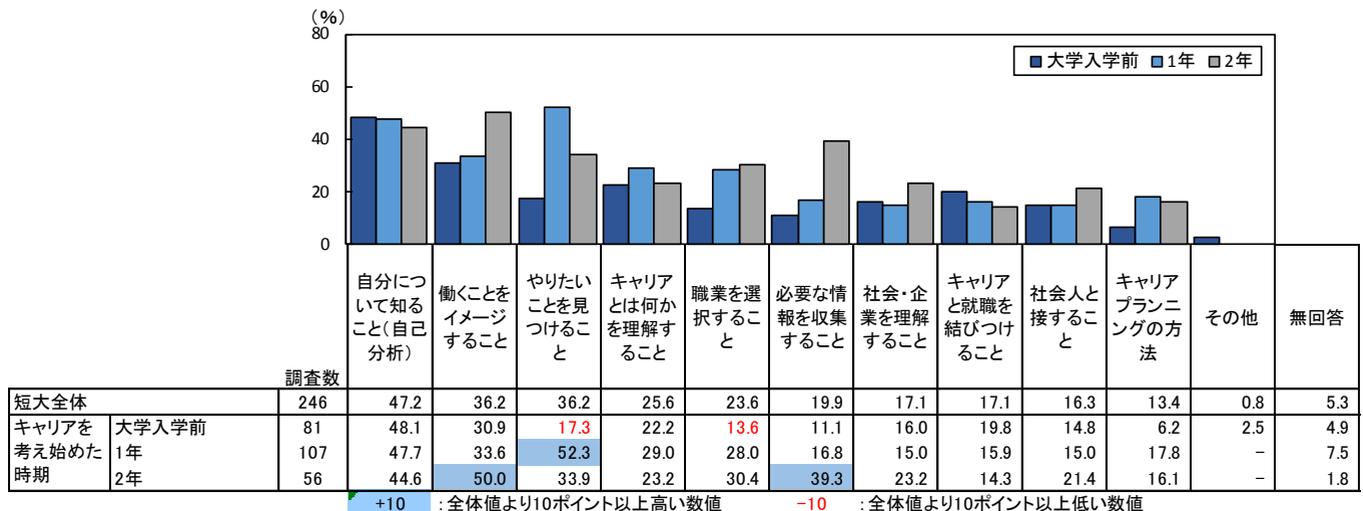
【短大】

＜キャリアを考え始めた時期詳細＞

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『大学入学前』の学生と差がみられた「やりたいことを見つけること」では、『1年』で難しかったと回答の学生が5割を超える。「職業を選択すること」は『1年』『2年』の学生ともに割合が高い。
- その他、「働くことをイメージすること」「職業を選択すること」「必要な情報を収集すること」の項目で考え始めた時期が遅いほど難しかった割合が高い。
- 「自分について知ること（自己分析）」はキャリアを考え始めた時期にかかわらず難しい割合が高い。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■キャリアプランを考える上で難しかったこと(キャリアプランを考えたと回答の短大学生／複数回答)



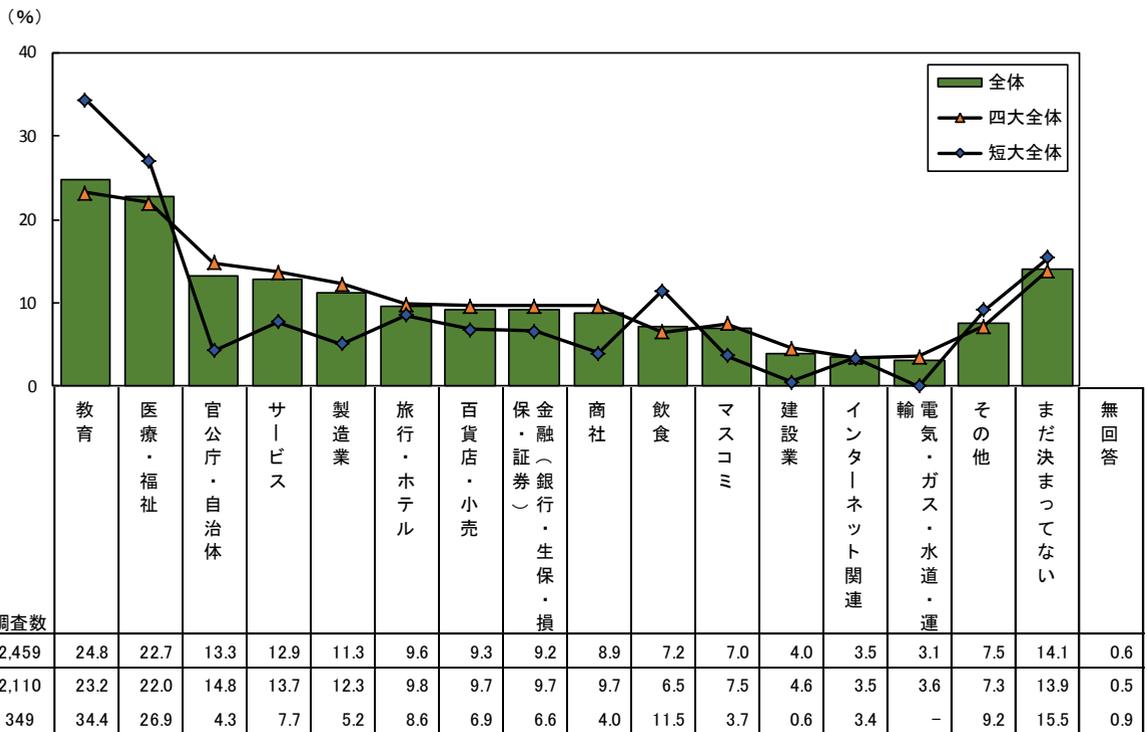
▼ 全体の調査結果

仕事・職業についての
考え方

卒業後に進みたい業種

- ▶ 四大、短大ともに、「教育」「医療・福祉」が突出している。
- ▶ 四大は「官公庁・自治体」が、短大は「飲食」が続く。
- ▶ 「まだ決まっていない」学生は四大、短大ともに1割強。
- ▶ 短大は四大に比べ、「教育」の割合が10ポイント以上高く、「官公庁・自治体」の割合が10ポイント低い。

■ 進みたい業種(全体/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値
全体値で降順ソート

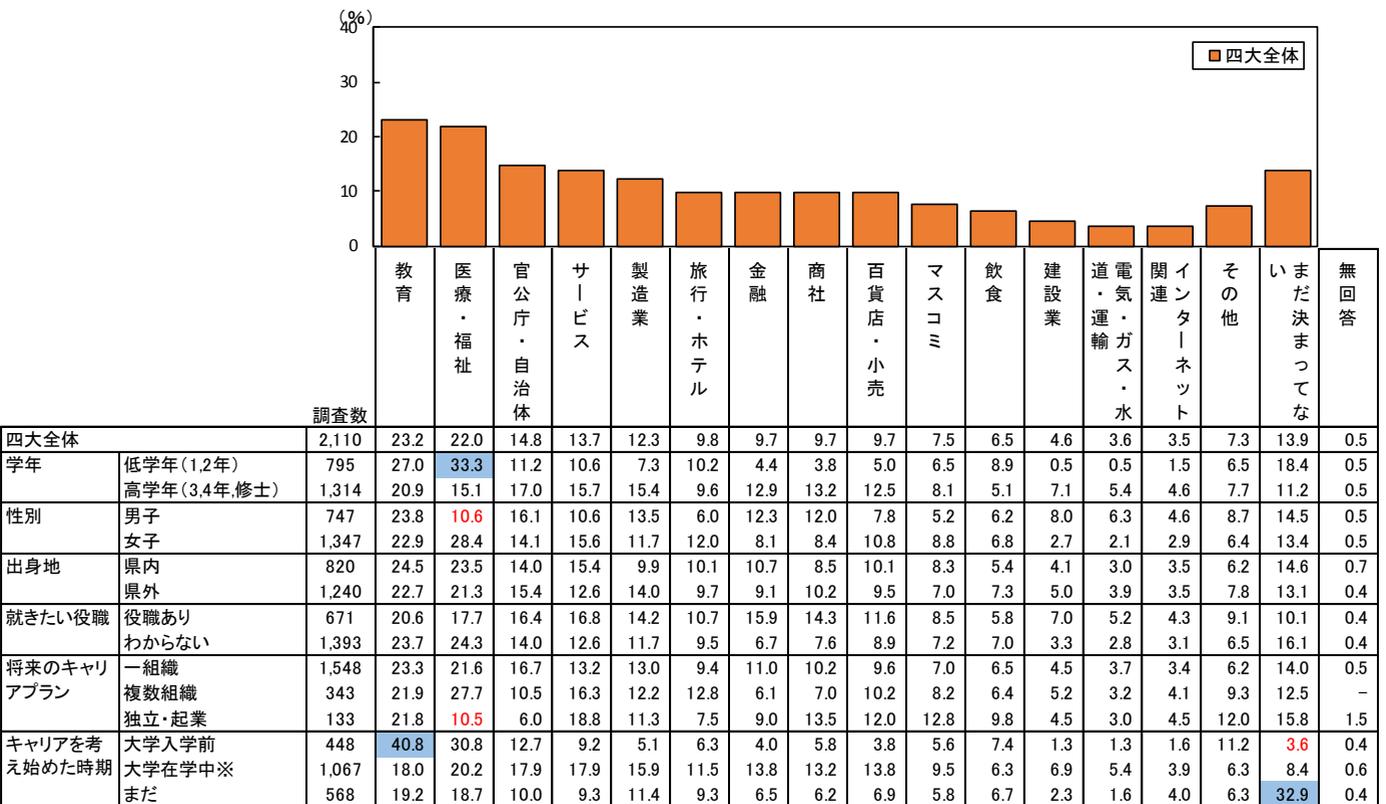
-10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

卒業後に進みたい業種

【四大】

- 学年で比較すると、「医療・福祉」は『低学年』の学生が『高学年』の学生に比べ20ポイント近く高い。
- 性別では、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「医療・福祉」の割合が低い。
- 就きたい役職では、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「金融」の割合が10ポイント近く高い。
- 将来のキャリアプランでみると、『独立・起業』したい学生は『一組織』『複数組織』の学生に比べ、「医療・福祉」「官公庁・自治体」の割合が低い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学入学前』に考え始めた学生はそれ以外の学生に比べ、「教育」「医療・福祉」の割合が高い。『まだ』の学生は進みたい業種が『まだ決まっていない』割合が3割を超える。

■進みたい業種(四大全体/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値
 ※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

卒業後に進みたい業種

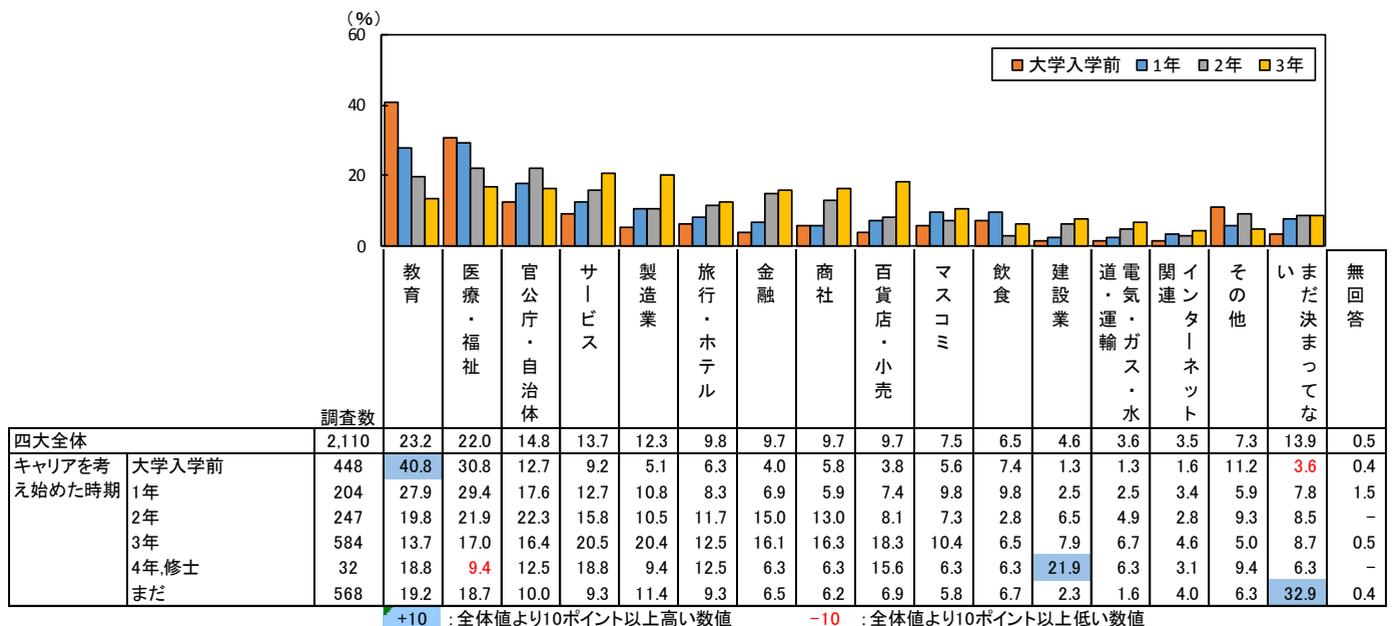
【四大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、「教育」「医療・福祉」はキャリアプランを考え始めた時期が早いほど割合が高い。
- 「サービス」「製造業」「旅行・ホテル」「金融」「商社」「百貨店・小売り」は『大学入学前』から『3年』にかけて割合が高くなっている。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■進みたい業種(四大全体/複数回答)

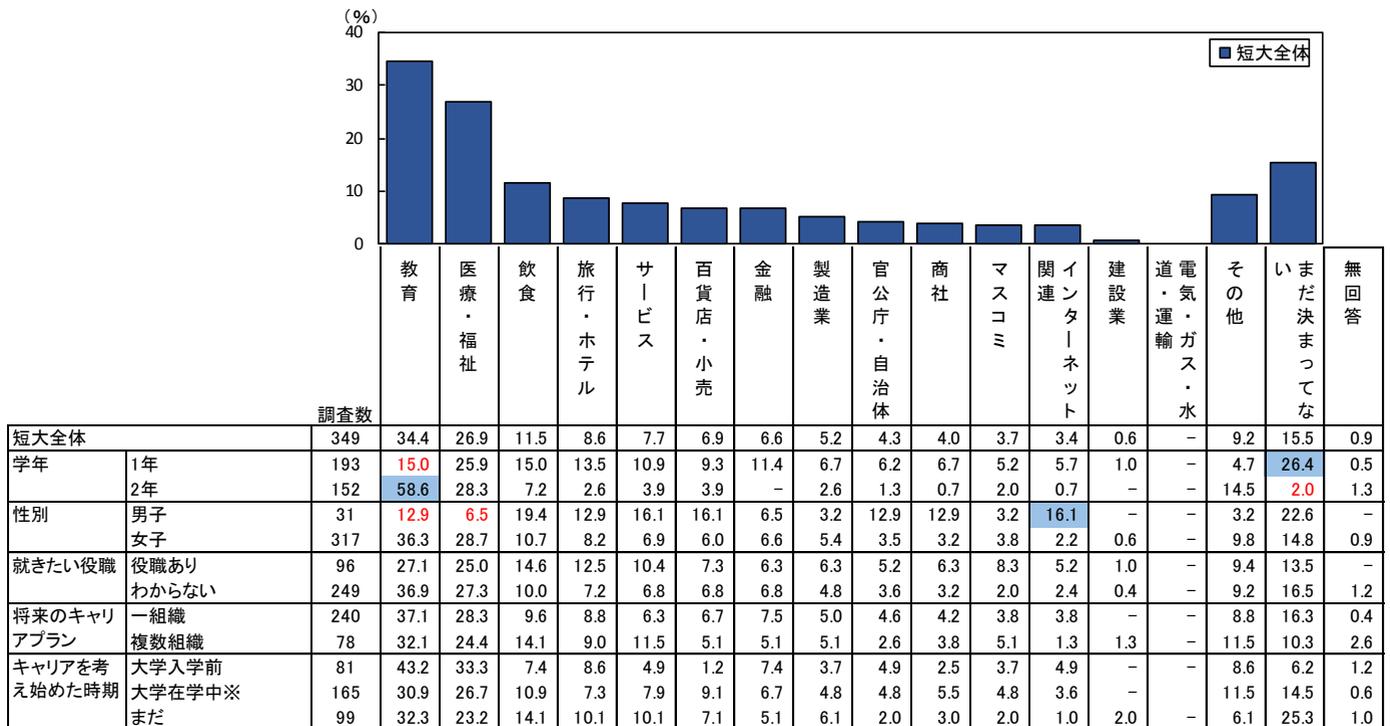


卒業後に進みたい業種

【短大】

- 学年で比較すると、『1年』の学生は「まだ決まっていない」割合が26.4%。『2年』の学生は「教育」の割合が6割近くを占める。
- 性別でみると、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「教育」「医療・福祉」の割合が20ポイント以上低く、「インターネット関連」の割合が高い。（対象数が少ないため参考値とする）
- 就きたい役職でみると、『わからない』学生は『役職あり』の学生に比べ、「教育」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期では、『大学入学前』の学生は『大学在学中』『まだ』の学生に比べ、「教育」「医療・福祉」の割合が高い。『まだ』の学生の「まだ決まっていない」割合は25.3%。

■進みたい業種(短大全体/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

卒業後に進みたい業種

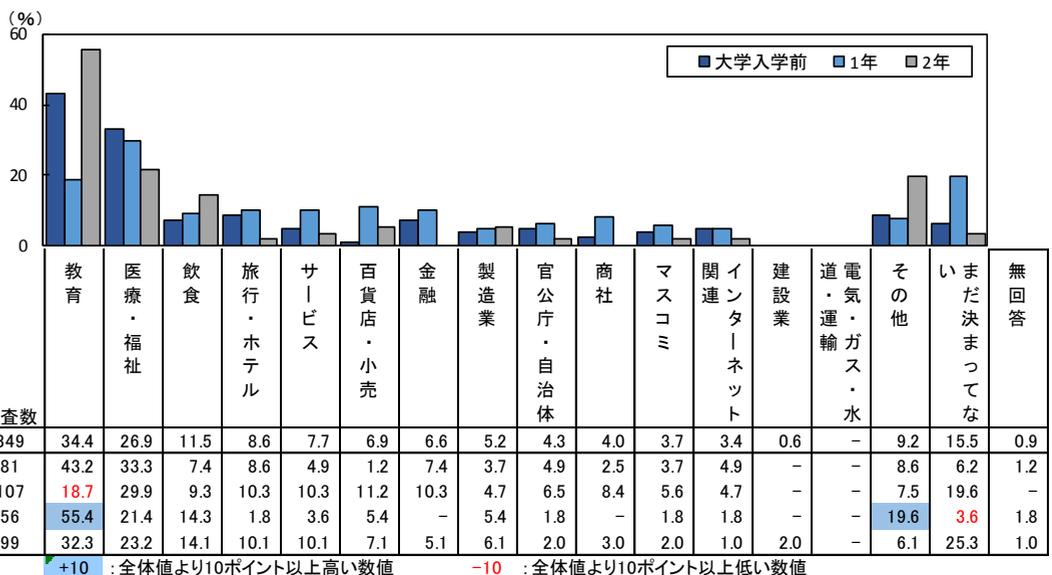
【短大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、「教育」は『1年』の割合が低く、『2年』『大学入学前』の割合が高い。
- 「医療・福祉」は『大学入学前』『1年』『2年』にかけて割合が低くなる。
- 『1年』は「まだ決まっていない」割合が、『2年』は「その他」の割合が高い。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■進みたい業種(短大全体/複数回答)



将来就きたい仕事（配属先）

- ▶ 四大は、「その他」（20.9%）がもっとも高く、「管理部門（総務・経理・人事など）」（17.5%）、「営業・販売部門」（16.2%）が続く。
- ▶ 短大は、「その他」が突出して高く35.5%を占める。

■ 就きたい仕事（全体／単一回答）

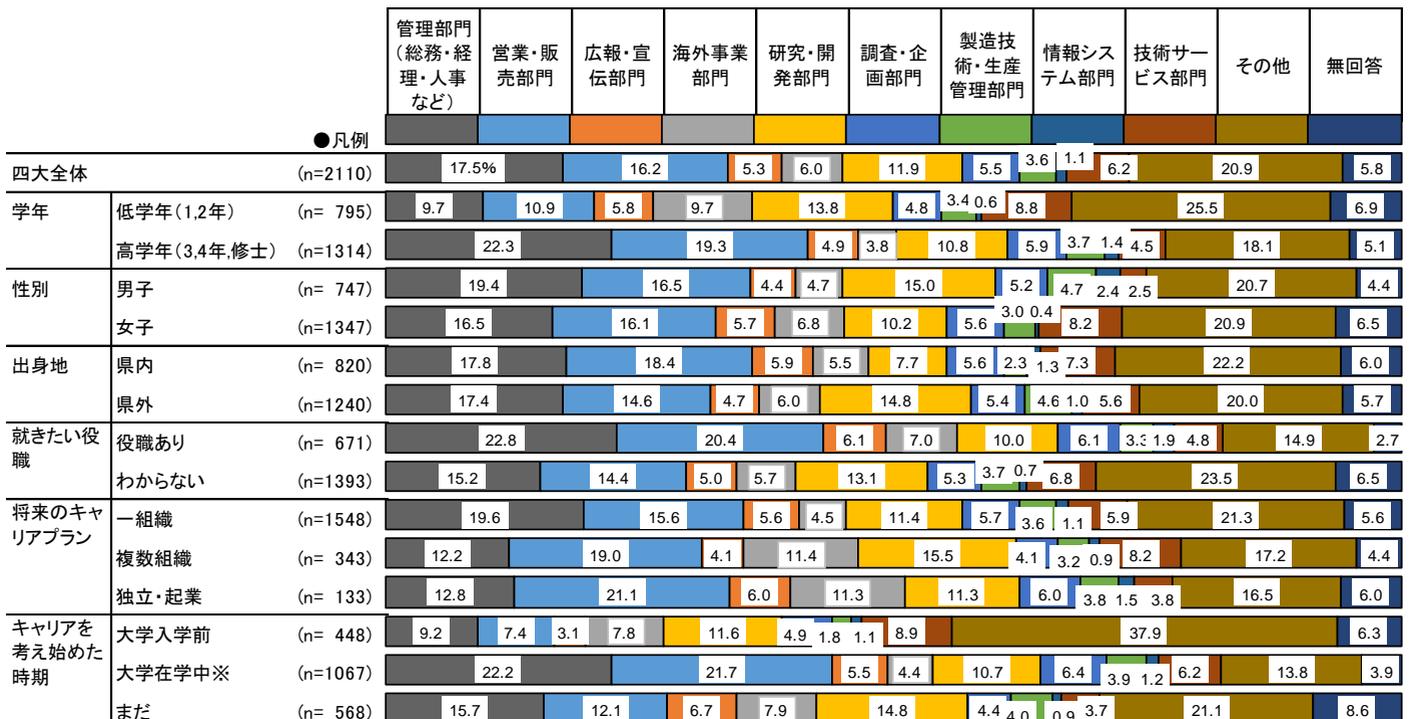


将来就きたい仕事（配属先）

【四大】

- 学年で比較すると、『高学年』の学生は『低学年』の学生に比べ、「管理部門」「営業・販売部門」の割合が10ポイント前後高い。
- 就きたい役職では、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「管理部門」「営業・販売部門」の割合が高い。
- 将来のキャリアプランでみると、『一組織』の学生は『複数組織』『独立・起業』の学生に比べ、「管理部門」が高い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学入学前』の学生はそれ以外の学生に比べ、「その他」の割合が高い。『大学在学中』の学生は「管理部門」「営業・販売部門」の割合が他の時期に比べ高い。

■ 就きたい仕事（四大全体／単一回答）



※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期～修士

将来就きたい仕事（配属先）

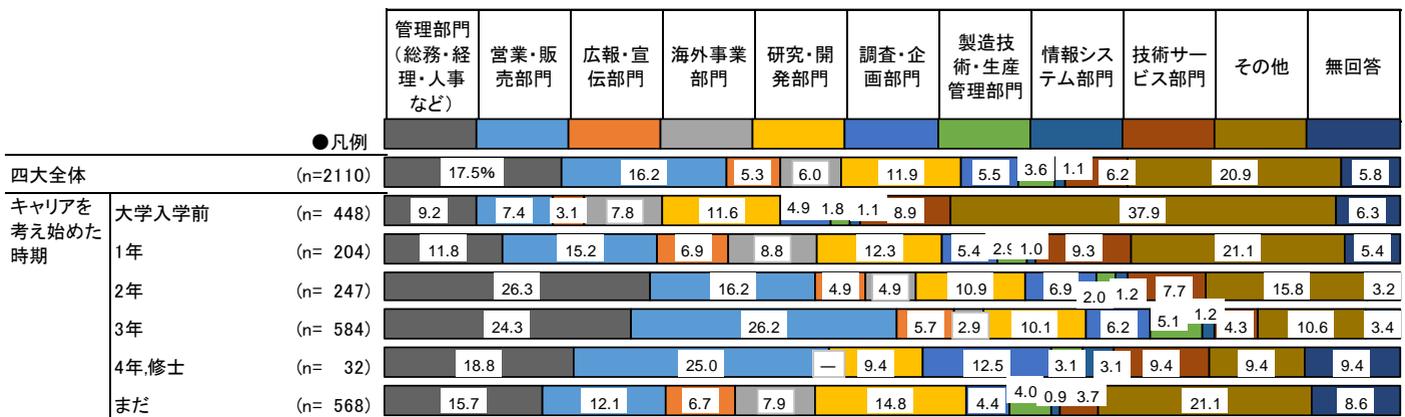
【四大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、「その他」は『大学入学前』から『3年』にかけて割合が低くなっている。
- 『2年』『3年』の学生は「管理部門」が他の時期より高い。
- 『3年』は「営業・販売部門」の割合がもっとも高い。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■就きたい仕事(四大全体/単一回答)

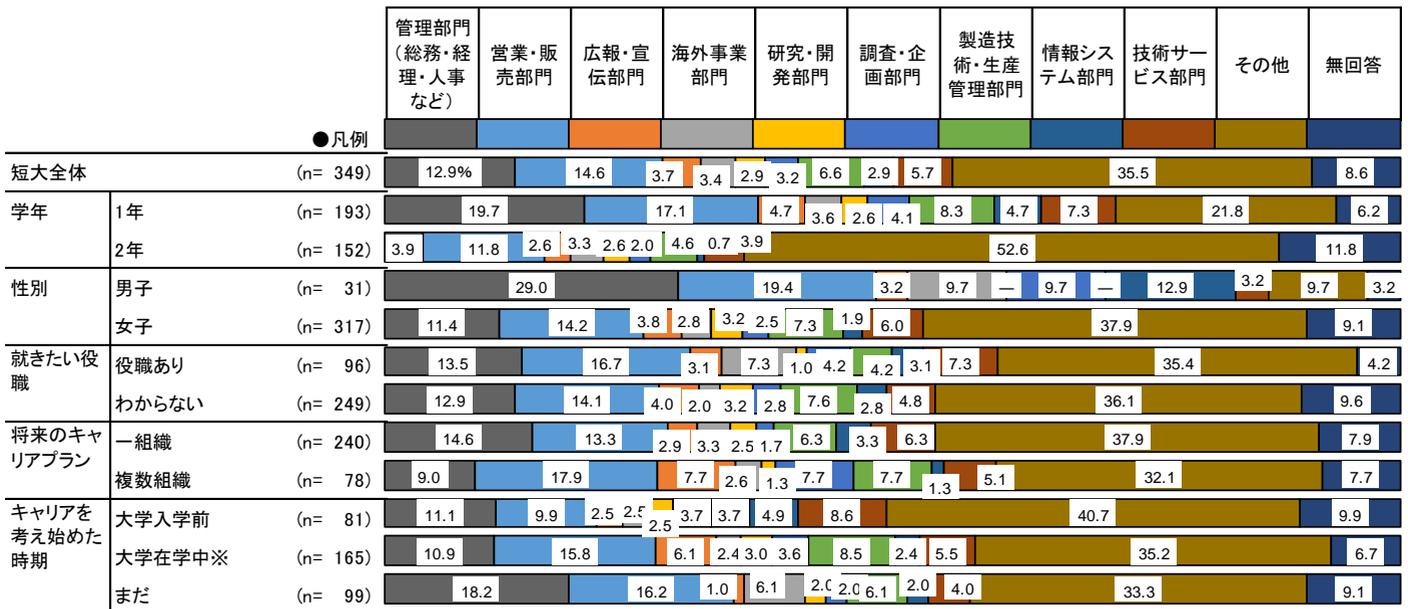


将来就きたい仕事（配属先）

【短大】

- 学年で比較すると、『2年』の学生は「その他」の割合が5割を超える。
- 性別でみると、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「管理部門」「情報システム部門」の割合が高い。（対象数が少ないため参考値とする）
- キャリアプランを考え始めた時期では、『大学入学前』の学生は、『大学在学中』『まだ』の学生に比べ、「その他」の割合がやや高い。『まだ』の学生は「管理部門」の割合が『大学入学前』『大学在学中』の学生に比べやや高い。

■就きたい仕事（短大全体／単一回答）



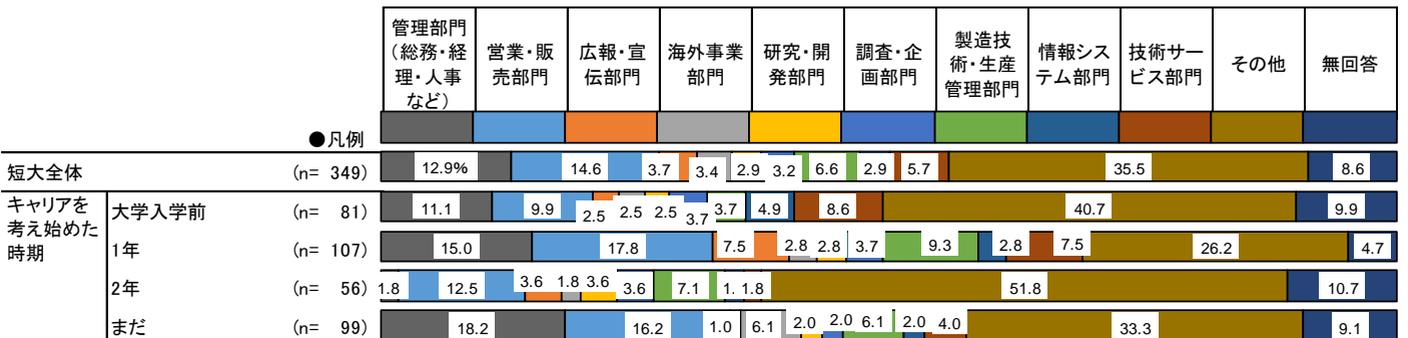
※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『大学入学前』『2年』の学生は「その他」の割合が高く、『1年』『まだ』の学生は「管理部門」「営業・販売部門」の割合が高い。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

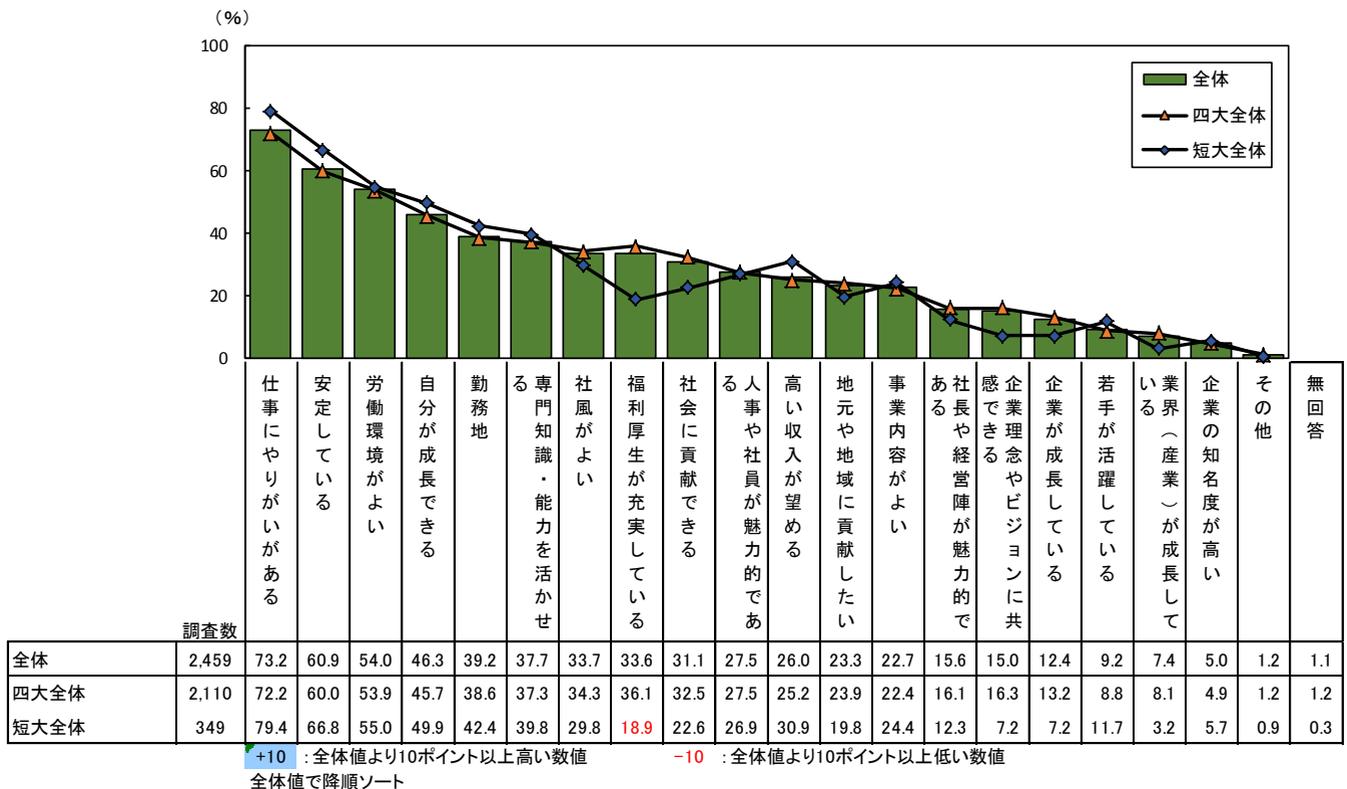
■就きたい仕事（短大全体／単一回答）



職業を選ぶときに重要視すること

- ▶ 四大、短大ともに、「仕事にやりがいがある」がもっとも高く、「安定している」が続く。
- ▶ 四大は、短大に比べ、「福利厚生が充実している」の割合が15ポイント以上高い。
- ▶ 「社会に貢献できる」「企業理念やビジョンに共感できる」も四大は、短大に比べ10ポイント近く高い。

■ 職業を選ぶときに重要視すること(全体/複数回答)



職業を選ぶときに重要視すること

【四大】

- 学年で比較すると、『低学年』の学生は『高学年』の学生に比べ、「専門知識・能力を活かせる」の割合が20ポイント近く高い。一方、『高学年』の学生は『低学年』の学生に比べ、「勤務地」「福利厚生が充実している」の割合が高い。
- 性別では、『女子』学生は『男子』学生に比べ、全体的に割合が高い傾向。特に「労働環境がよい」「勤務地」「人事や社員が魅力的である」で10ポイント以上の差がみられた。
- 就きたい役職では、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「高い収入が望める」「企業が成長している」の割合が10ポイント以上高い。
- 将来のキャリアプランでみると、『複数組織』『独立・起業』の学生は「自分が成長できる」を「仕事にやりがいがある」に続き重要視。一方、「安定している」「勤務地」「福利厚生が充実している」は低い。『独立・起業』の学生は「高い収入が望める」の割合が『一組織』『複数組織』に比べ高い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学入学前』の学生は「仕事にやりがいがある」「自分が成長できる」「専門知識・能力を活かせる」「社会に貢献できる」の割合がその他の学生に比べ高い。『大学在学中』の学生は他の時期の学生に比べ、「勤務地」「福利厚生が充実している」の割合が高い。『大学在学中』『まだ』の学生は『大学入学前』の学生に比べ、「労働環境がよい」「社風がよい」の割合が高く、「自分が成長できる」割合が低い。

■職業を選ぶときに重要視すること(四大全体/複数回答)



調査数	72.2	60.0	53.9	45.7	38.6	37.3	36.1	34.3	32.5	27.5	25.2	23.9	22.4	16.3	16.1	13.2	8.8	8.1	4.9	1.2	1.2		
四大全体	2,110	72.2	60.0	53.9	45.7	38.6	37.3	36.1	34.3	32.5	27.5	25.2	23.9	22.4	16.3	16.1	13.2	8.8	8.1	4.9	1.2	1.2	
学年																							
低学年(1,2年)	795	78.9	63.9	57.9	49.8	30.9	49.2	28.6	32.2	33.5	29.4	29.3	20.6	21.8	13.1	17.7	11.1	8.6	6.4	4.4	1.4	1.3	
高学年(3,4年,修士)	1,314	68.2	57.5	51.4	43.2	43.2	30.2	40.6	35.5	31.9	26.4	22.8	26.0	22.8	18.2	15.1	14.5	8.9	9.1	5.2	1.1	1.2	
性別																							
男子	747	66.7	56.5	44.7	40.4	30.4	32.0	29.6	28.4	32.1	17.5	29.9	22.2	18.2	13.3	13.4	14.5	8.4	9.2	5.2	1.5	2.0	
女子	1,347	75.4	61.9	58.8	48.5	43.2	40.2	39.5	37.8	32.7	32.8	22.7	25.1	24.8	17.8	17.5	12.4	8.9	7.4	4.6	1.1	0.8	
出身地																							
県内	820	71.3	63.8	59.5	46.2	38.8	38.4	37.9	34.4	30.7	29.9	25.1	26.1	24.0	17.0	18.9	13.3	8.4	7.9	4.9	1.3	1.1	
県外	1,240	73.1	57.8	50.2	44.8	38.9	36.8	34.9	34.7	34.2	25.6	25.1	23.0	21.2	15.8	14.0	13.0	9.0	8.1	4.8	1.2	1.3	
就きたい役職																							
役職あり	671	72.0	60.5	51.1	50.1	34.7	33.7	38.0	36.4	36.5	29.7	34.7	23.5	24.4	19.8	19.8	21.0	12.2	12.4	8.8	1.6	0.3	
わからない	1,393	73.4	60.8	56.5	44.5	41.1	39.6	35.8	34.2	31.2	27.2	21.0	24.6	22.0	14.9	14.8	9.8	7.3	6.2	3.2	0.9	0.2	
将来のキャリアプラン																							
一組織	1,548	72.9	66.3	55.9	43.4	41.3	37.7	38.6	35.2	32.4	27.2	24.7	25.1	22.5	14.8	14.9	12.8	7.9	7.9	5.0	1.2	0.3	
複数組織	343	76.7	46.1	51.6	56.3	33.5	38.8	33.2	34.1	38.2	30.6	25.4	21.0	23.0	24.5	22.2	16.9	11.4	8.7	5.8	0.9	0.6	
独立・起業	133	63.9	35.3	47.4	55.6	27.8	37.6	26.3	31.6	26.3	25.6	36.1	21.1	22.6	17.3	18.0	14.3	14.3	12.0	3.8	0.8	-	
キャリアを考え始めた時期																							
大学入学前	448	81.9	59.4	48.0	54.7	31.5	52.7	29.2	27.2	39.7	24.8	24.6	26.3	20.1	12.7	15.2	10.7	7.4	6.5	4.0	2.0	-	
大学在学中※	1,067	72.0	59.4	56.8	47.3	45.2	33.0	41.6	36.6	34.0	28.4	24.9	26.8	24.4	19.9	15.8	15.1	9.1	8.5	5.7	0.7	0.4	
まだ	568	68.0	63.4	55.1	37.1	33.5	34.9	32.4	37.0	25.0	29.2	26.9	17.6	21.5	13.2	18.0	11.8	9.5	8.5	4.2	1.6	0.5	

+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値
 ※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

職業を選ぶときに重要視すること

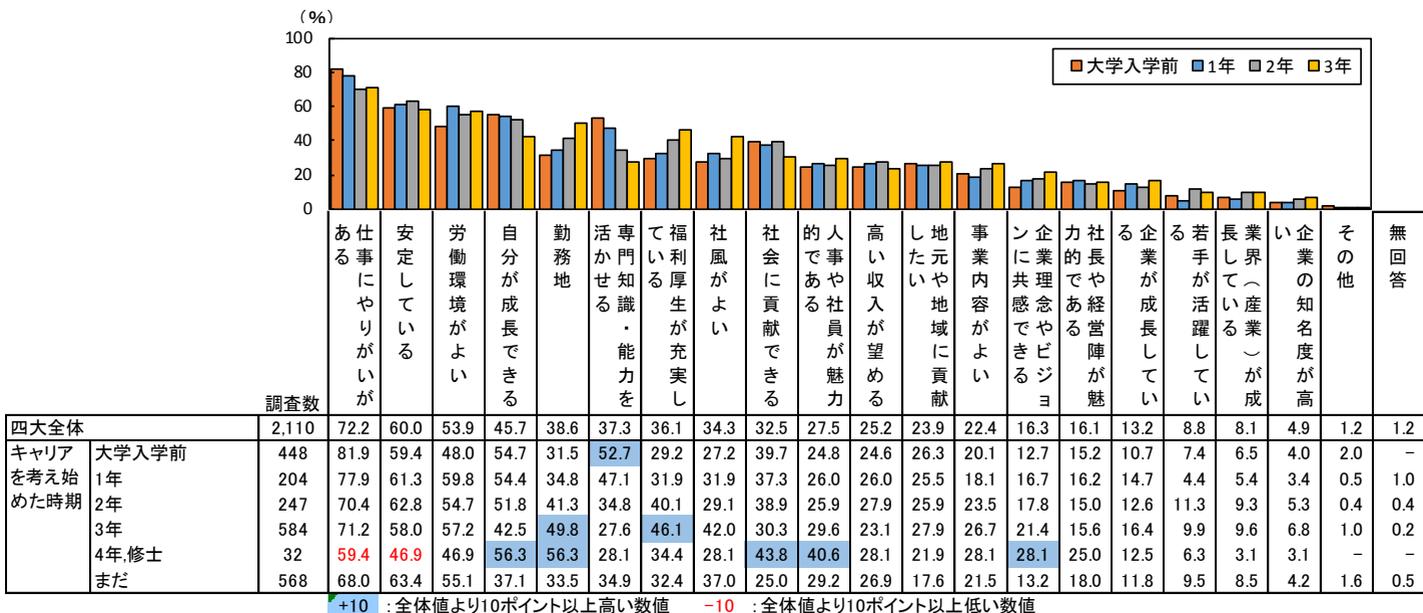
【四大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『大学入学前』から『3年』と考え始めた時期が遅くなると、「仕事にやりがいがある」「自分が成長できる」「専門知識・能力を活かせる」の割合が低くなり、「勤務地」「福利厚生が充実している」の割合が高くなる。
- 『3年』の学生は「社風がよい」の割合が他の時期に比べ高い。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■職業を選ぶときに重要視すること(四大全体/複数回答)

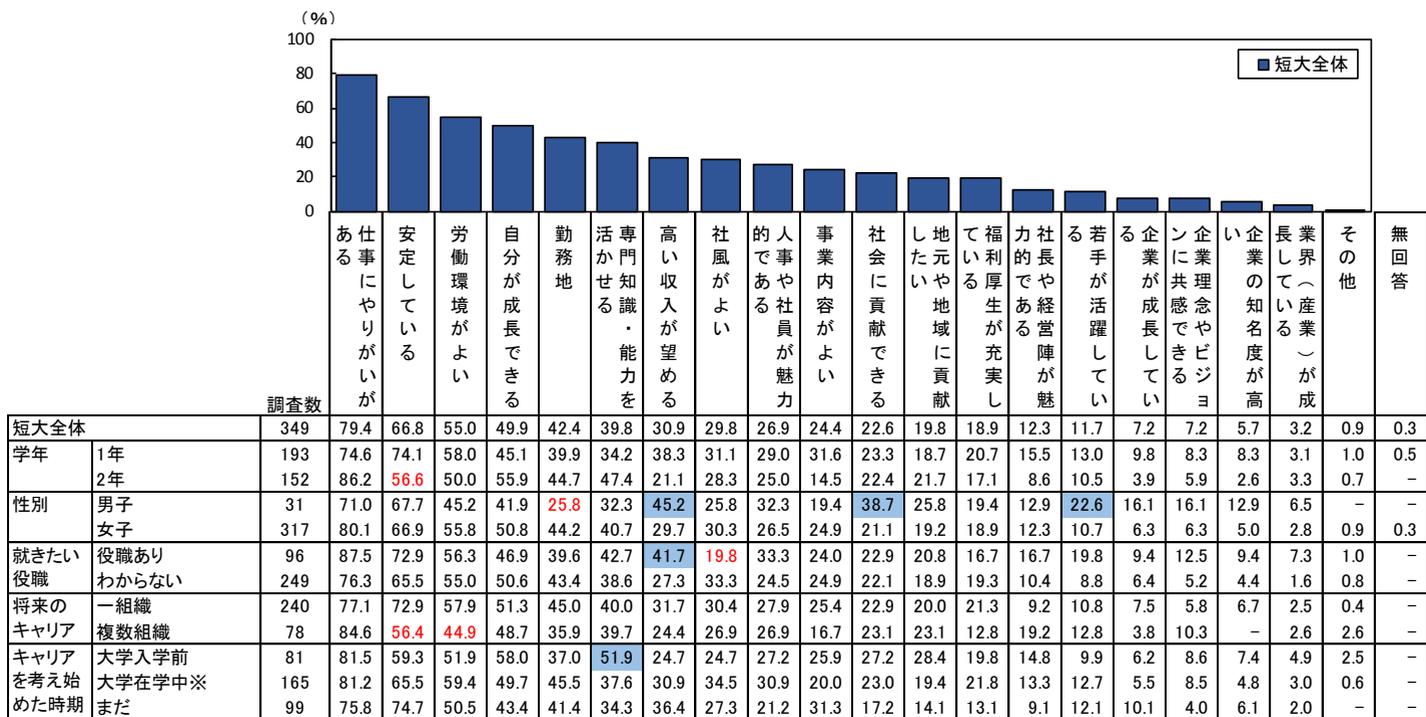


職業を選ぶときに重要視すること

【短大】

- 学年で比較すると、『1年』の学生は『2年』の学生に比べ、「安定している」「高い収入が望める」「事業内容がよい」の割合が高く、「仕事にやりがいがある」「自分が成長できる」「専門知識・能力が活かせる」の割合が低い。
- 性別でみると、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「高い収入が望める」「社会に貢献できる」「若手が活躍している」の割合が高く、「勤務地」が低い。（対象数が少ないため参考値とする）
- 将来の就きたい役職でみると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「高い収入が望める」の割合が高く、「社風がよい」の割合が低い。
- 将来のキャリアプランでは、『複数組織』の学生は「仕事にやりがいがある」の割合が高く、重要視する項目として突出している。『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「安定している」「労働環境がよい」の割合が低い。
- キャリアを考え始めた時期では、「安定している」「高い収入が望める」の割合が『大学入学前』『大学在学中』『まだ』の順で高くなる。一方、「自分が成長できる」「専門知識・能力を活かせる」の割合は低くなっている。

■職業を選ぶときに重要視すること(短大全体/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

職業を選ぶときに重要視すること

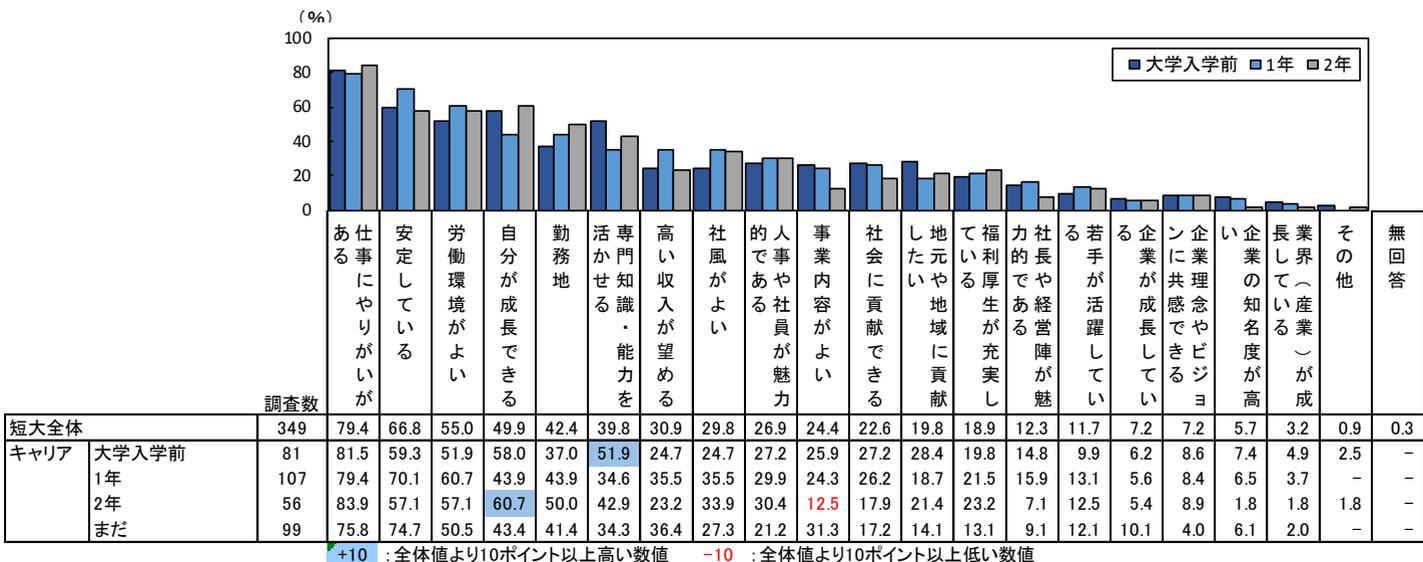
【短大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『1年』の学生は『2年』の学生に比べ、「安定している」「高い収入が望める」「事業内容がよい」の割合が高く、「自分が成長できる」「専門知識・能力を活かせる」の割合が低い。
- 「勤務地」は考え始めた時期が遅くなるにつれ割合が高くなる。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

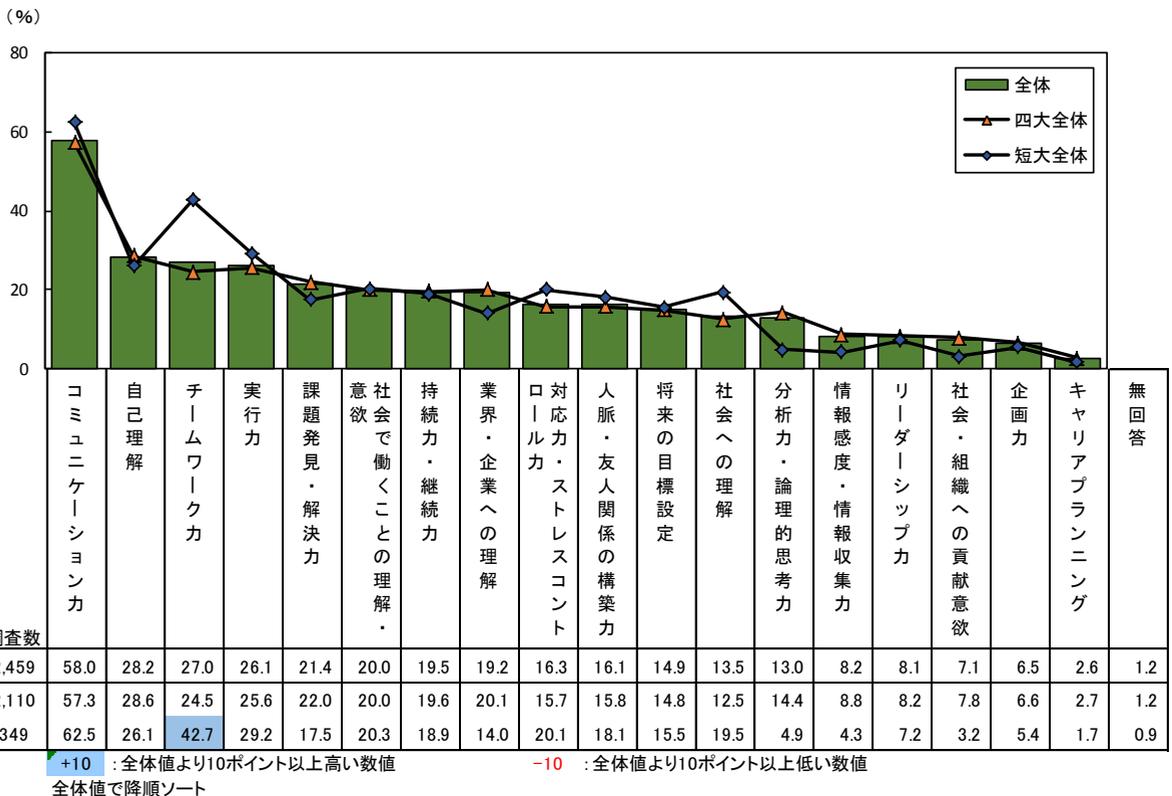
■職業を選ぶときに重要視すること(短大全体/複数回答)



希望の職業に就くために必要だと思うこと

- ▶ 四大、短大ともに、「コミュニケーション力」がもっとも高く、突出している。
- ▶ 短大では、次いで「チームワーク力」が高く、4割を超える。

■希望の職業に就くために必要だと思うこと(全体/上位3つ)

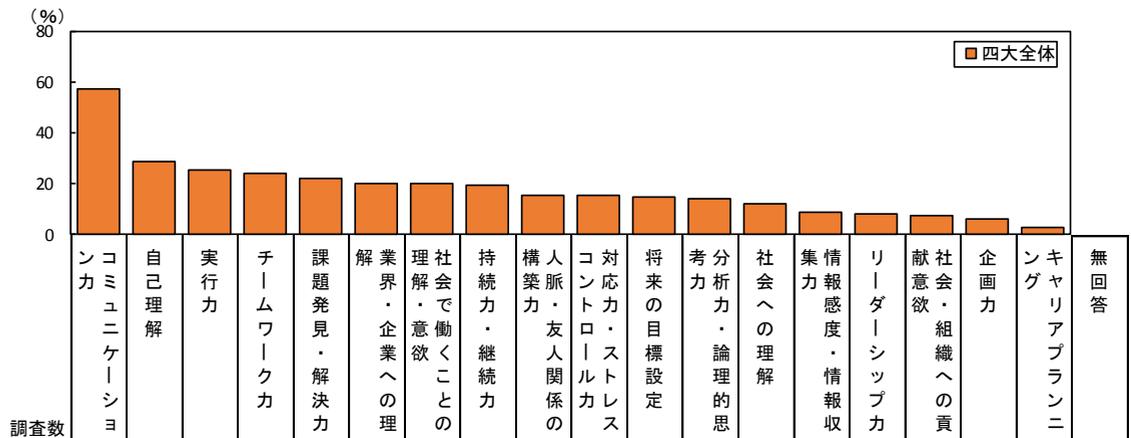


希望の職種に就くために必要だと思うこと

【四大】

- 学年で比較すると、『低学年』の学生は『高学年』の学生に比べ「業界・企業への理解」が15ポイント以上低い。
- 性別では、『女子』学生は『男子』学生に比べ、「コミュニケーション力」の割合が高い。
- 将来のキャリアプランでみると、『独立・起業』したい学生は『一組織』『複数組織』の学生に比べ、「コミュニケーション力」の割合が低い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学入学前』の学生は他の時期の学生に比べ「業界・企業への理解」の割合が低い。

■希望の職業に就くために必要だと思うこと(四大全体/上位3つ)



調査数		コミュニケーション力	自己理解	実行力	チームワーク力	課題発見・解決力	業界・企業への理解	社会で働くことへの意欲	持続力・継続力	構築力・友人関係の構築力	対応力・ストレス耐性	将来の目標設定	分析力・論理的思考力	社会への理解	情報感度・情報収集力	リーダーシップ力	献意欲	社会・組織への貢献力	企画力	キャリアプランニング	無回答	
四大全体	2,110	57.3	28.6	25.6	24.5	22.0	20.1	20.0	19.6	15.8	15.7	14.8	14.4	12.5	8.8	8.2	7.8	6.6	6.6	2.7	1.2	
学年																						
	低学年(1,2年)	795	64.0	23.0	28.6	27.7	23.3	9.4	19.9	19.5	18.5	18.5	14.6	16.0	13.8	8.9	10.2	6.8	8.2	2.6	1.3	
	高学年(3,4年,修士)	1,314	53.2	31.9	23.8	22.5	21.2	26.5	20.0	19.6	14.2	13.9	15.0	13.3	11.6	8.7	7.1	8.4	5.6	2.8	1.2	
性別																						
	男子	747	49.4	30.8	25.0	22.4	21.3	21.8	17.7	21.3	16.7	12.9	15.4	16.1	15.7	9.0	9.1	9.1	5.8	2.8	2.0	
	女子	1,347	61.6	27.2	25.9	25.5	22.6	19.3	21.2	18.6	15.4	17.3	14.4	13.4	10.7	8.8	7.8	7.1	7.0	2.7	0.8	
出身地																						
	県内	820	58.4	27.8	25.4	25.1	21.2	19.1	20.5	18.4	15.0	16.1	15.4	13.3	12.4	8.4	6.8	7.6	7.9	2.6	1.0	
	県外	1,240	56.8	28.8	25.6	23.8	22.8	20.9	19.7	20.2	16.4	16.0	14.3	15.1	12.3	9.2	9.3	8.1	5.6	2.7	1.5	
就きたい役職																						
	役職あり	671	52.0	28.6	27.6	23.8	18.0	24.1	21.3	20.1	15.8	13.6	18.9	14.5	14.3	8.6	9.8	8.6	7.5	4.5	0.3	
	わからない	1,393	60.4	29.2	25.0	25.1	24.0	18.7	19.7	19.5	16.1	16.8	13.1	14.6	11.8	9.0	7.5	7.5	6.4	2.0	0.4	
将来のキャリアプラン																						
	一組織	1,548	58.9	28.4	24.7	26.3	23.1	21.4	20.0	19.7	15.8	16.2	14.2	14.7	12.7	9.3	7.9	7.3	6.3	2.5	0.2	
	複数組織	343	58.0	28.0	28.9	22.4	20.1	17.2	20.4	19.2	13.7	14.9	17.2	15.2	9.3	8.2	8.7	11.4	6.7	3.2	0.3	
	独立・起業	133	44.4	29.3	31.6	18.0	17.3	18.0	18.8	18.8	23.3	11.3	16.5	12.8	19.5	6.0	9.0	5.3	12.0	4.5	0.8	
キャリアを考え始めた時期																						
	大学入学前	448	62.1	24.8	24.6	30.6	23.0	10.0	20.1	21.4	19.2	21.0	16.3	15.2	11.8	8.5	10.9	7.8	5.6	2.9	0.2	
	大学在学中※	1,067	54.7	32.4	25.1	23.4	21.6	27.3	20.7	18.0	13.6	14.6	15.8	14.2	11.3	8.8	7.3	8.4	7.2	3.1	0.4	
	まだ	568	60.9	25.5	28.5	22.4	22.7	15.0	19.2	22.0	18.0	14.3	12.0	14.4	15.1	9.5	8.3	6.7	6.7	2.1	0.4	

+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期～修士

希望の職種に就くために必要だと思うこと

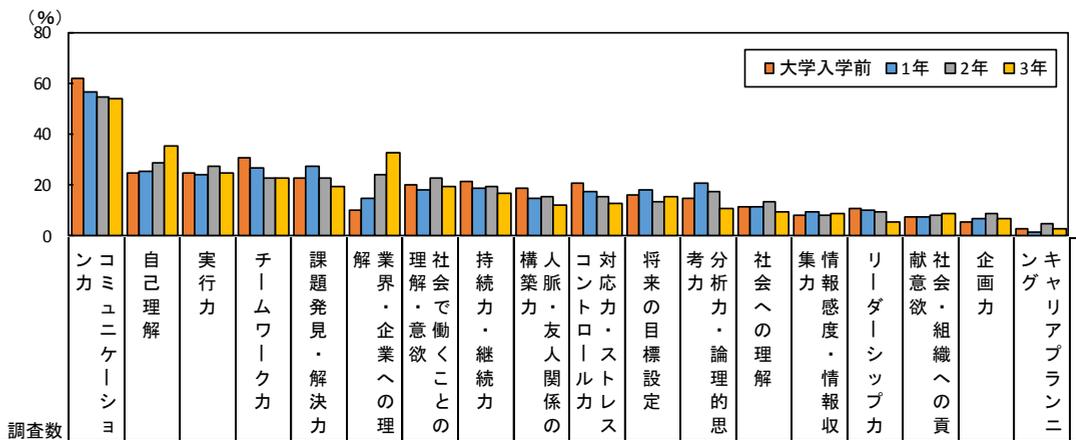
【四大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、「自己理解」「業界・企業への理解」はキャリアを考え始めた時期が遅くなるにつれ割合が高くなる。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■希望の職業に就くために必要だと思うこと(四大全体/上位3つ)



調査数	コミュニケーション	自己理解	実行力	チームワーク	課題発見・解決力	業界・企業への理解	社会で働くことへの意欲	持続力・継続力	人脈・友人関係の構築力	対応力・ストレス	将来の目標設定	分析力・論理的思考力	社会への理解	情報感度・情報収集力	リーダーシップ	社会・組織への貢献意欲	企画力	キャリアプランニング	無回答		
四大全体	2,110	57.3	28.6	25.6	24.5	22.0	20.1	20.0	19.6	15.8	15.7	14.8	14.4	12.5	8.8	8.2	7.8	6.6	2.7	1.2	
キャリアを考え始めた時期	大学入学前	448	62.1	24.8	24.6	30.6	23.0	10.0	20.1	19.2	21.0	16.3	15.2	11.8	8.5	10.9	7.8	5.6	2.9	0.2	
	1年	204	56.9	25.5	24.5	27.0	27.9	15.2	18.1	19.1	14.7	17.6	18.6	21.1	11.8	9.3	10.3	7.8	6.9	1.5	0.5
	2年	247	54.7	29.1	27.5	23.1	22.7	24.3	22.7	19.8	15.4	15.4	13.8	17.4	13.8	8.5	9.7	8.1	8.9	4.9	0.4
	3年	584	54.5	35.4	24.8	22.6	19.9	33.0	19.3	17.1	12.5	12.8	15.8	11.0	9.9	8.7	5.5	8.7	7.0	2.7	0.3
	4年,修士	32	46.9	46.9	15.6	18.8	6.3	21.9	46.9	12.5	12.5	21.9	15.6	3.1	15.6	9.4	3.1	9.4	-	6.3	-
まだ	568	60.9	25.5	28.5	22.4	22.7	15.0	19.2	22.0	18.0	14.3	12.0	14.4	15.1	9.5	8.3	6.7	6.7	2.1	0.4	

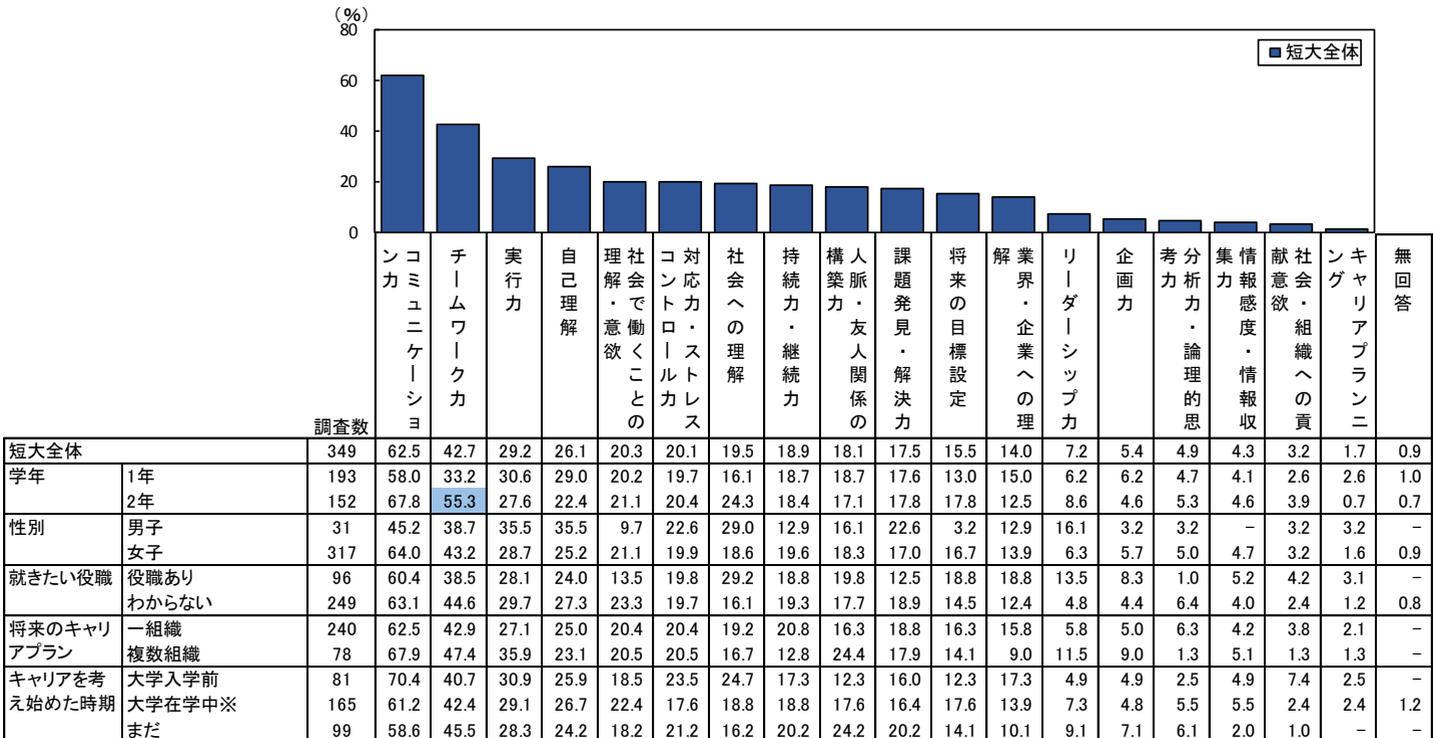
+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

希望の職種に就くために必要だと思うこと

【短大】

- 学年で比較すると、『2年』の学生は『1年』の学生に比べ、「チームワーク力」の割合が20ポイント以上高い。
- 性別でみると、『女子』学生は『男子』学生に比べ、「コミュニケーション力」の割合が20ポイント近く高い。（対象数が少ないため参考値とする）
- 将来の就きたい役職でみると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「社会への理解」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期では、『大学入学前』は他の時期に比べ「コミュニケーション力」の割合が高い。

■希望の職業に就くために必要だと思うこと(短大全体/上位3つ)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

希望の職種に就くために必要だと思うこと

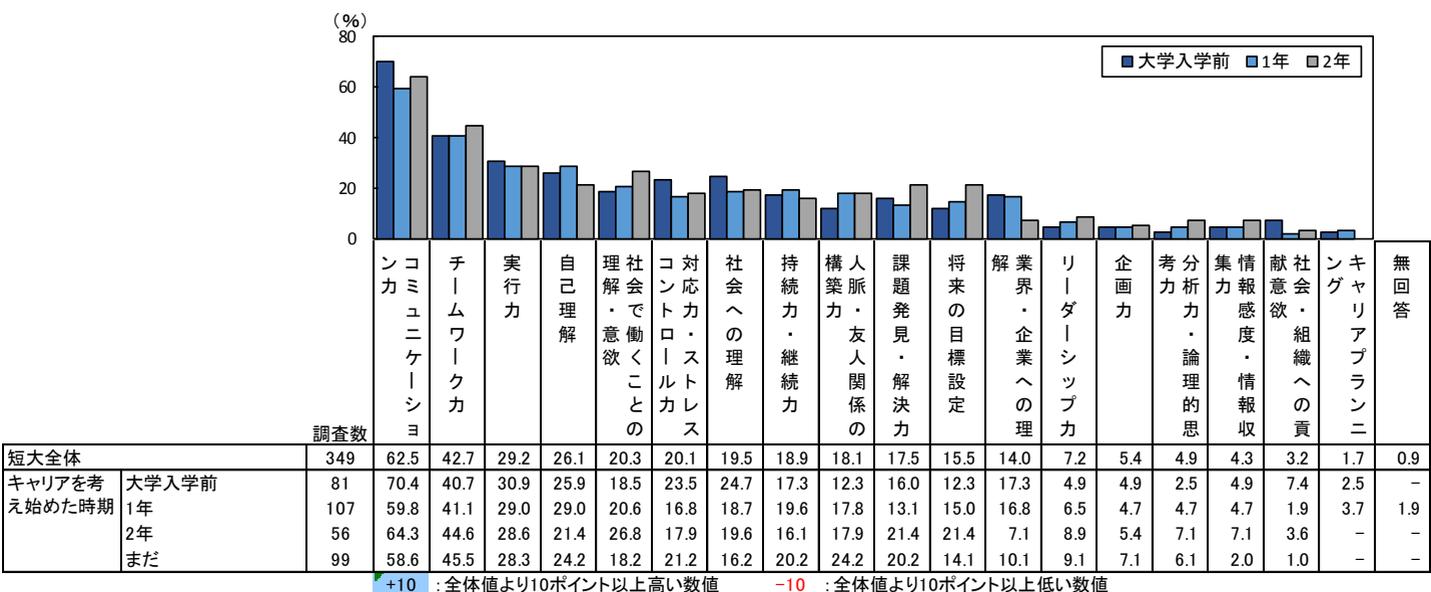
【短大】

＜キャリアを考え始めた時期詳細＞

- 大きな差はみられない。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

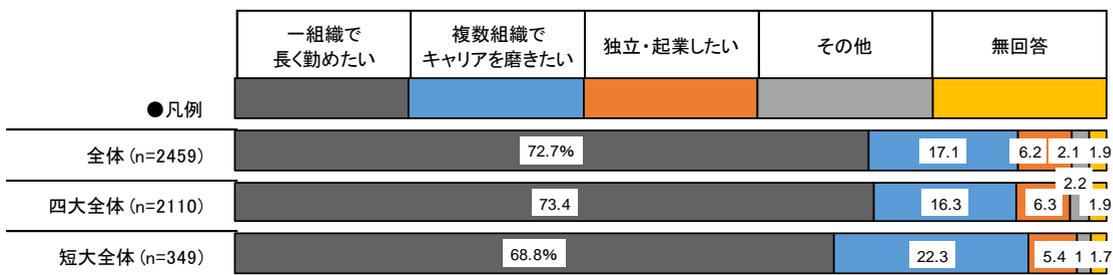
■希望の職業に就くために必要だと思うこと(短大全体/上位3つ)



将来の仕事のキャリアプラン

- ▶ 四大、短大ともに、「一組織で長く勤めたい」がもっとも高く7割前後。
- ▶ 短大は四大に比べ、「複数組織でキャリアを磨きたい」割合がやや高い。
- ▶ 「独立・起業したい」は四大で6.3%、短大で5.4%。

■ 将来のキャリアプラン(全体/単一回答)

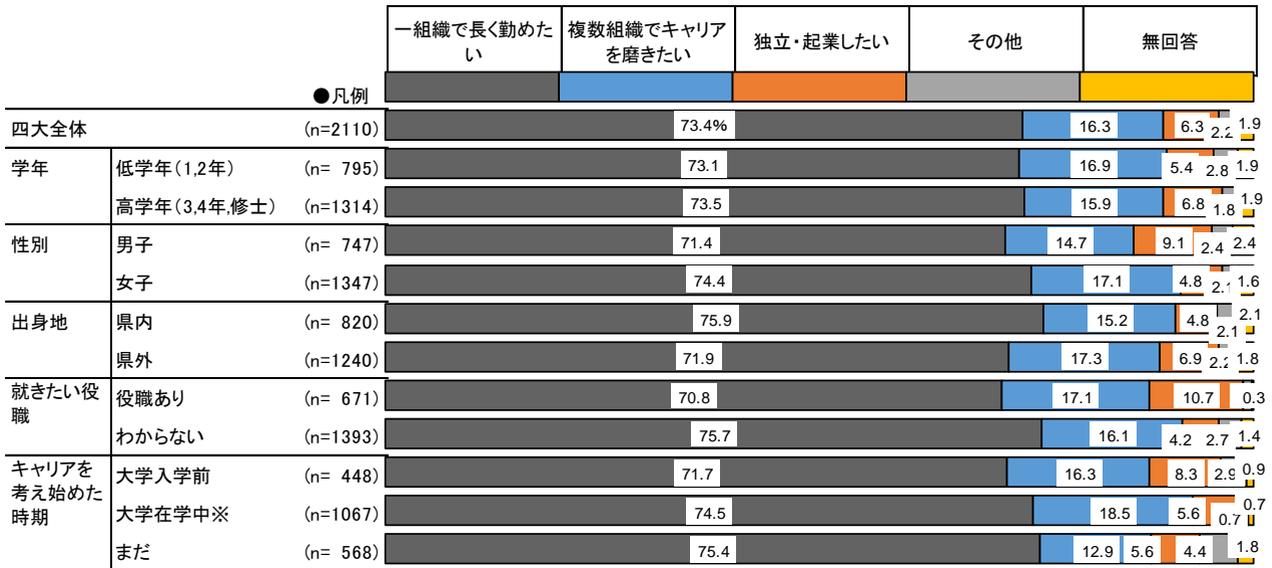


将来の仕事のキャリアプラン

【四大】

- 学年別、性別、出身地別、キャリアを考え始めた時期別ともに大きな差はみられない。
- 就きたい役職でみると、『役職あり』の学生は「独立・起業したい」割合が1割。

■将来のキャリアプラン(四大全体/単一回答)



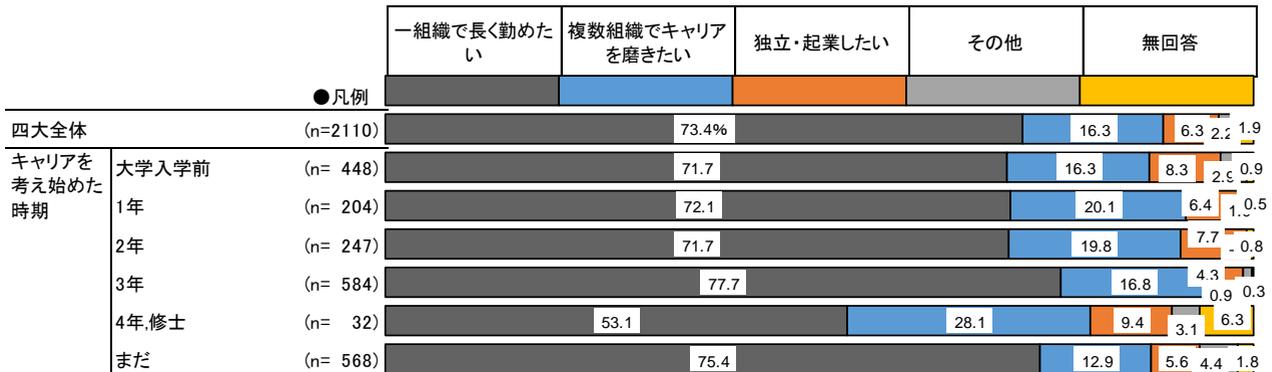
※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期~修士

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『3年』の学生は、『1年』『2年』の学生に比べ、「一組織で長く勤めたい」割合がやや高い。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■将来のキャリアプラン(四大全体/単一回答)

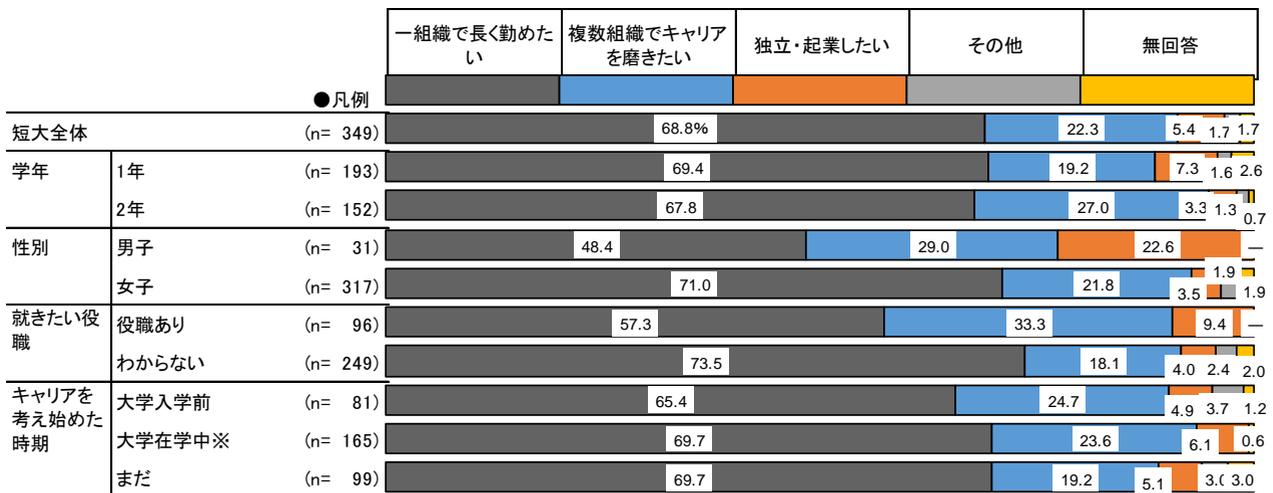


将来の仕事のキャリアプラン

【短大】

- 学年で比較すると、『2年』の学生は『1年』の学生に比べ、「複数組織でキャリアを磨きたい」割合がやや高い。
- 性別でみると、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「一組織で長く勤めたい」割合が20ポイント以上低く、「独立・起業したい」割合が20ポイント近く高い。（対象数が少ないため参考値とする）
- 就きたい役職別でみると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「複数組織でキャリアを磨きたい」の割合が高く、3割を超える。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学入学前』『大学在学中』の学生は『まだ』の学生に比べ、「複数組織でキャリアを磨きたい」割合がやや高い。

■ 将来のキャリアプラン(短大全体/単一回答)



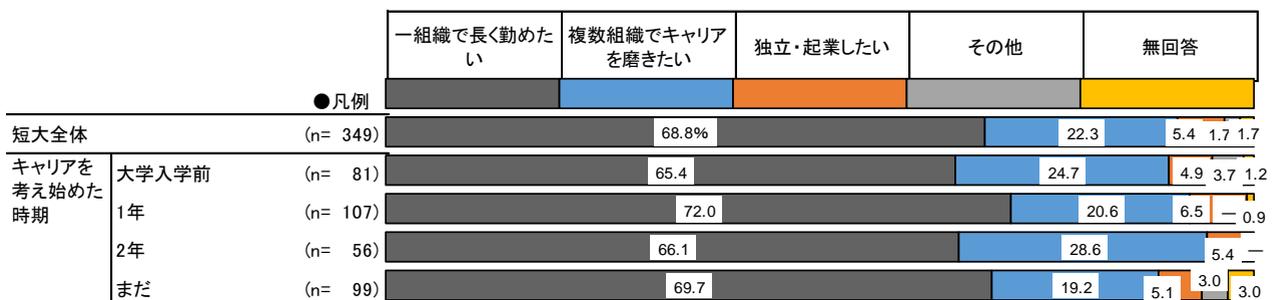
※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』:1年前期～修士

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『2年』の学生は「複数組織でキャリアを磨きたい」割合が3割近くを占める。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

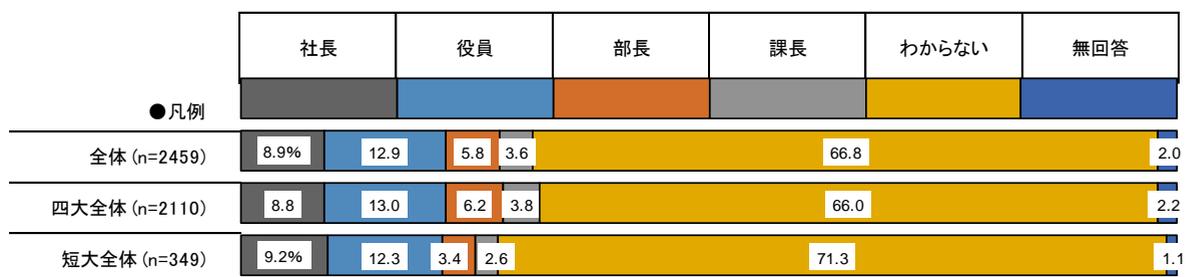
■ 将来のキャリアプラン(短大全体/単一回答)



将来就きたい役職

▶ 四大、短大ともに、「わからない」がもっとも高い。

■ 就きたい役職(全体/単一回答)

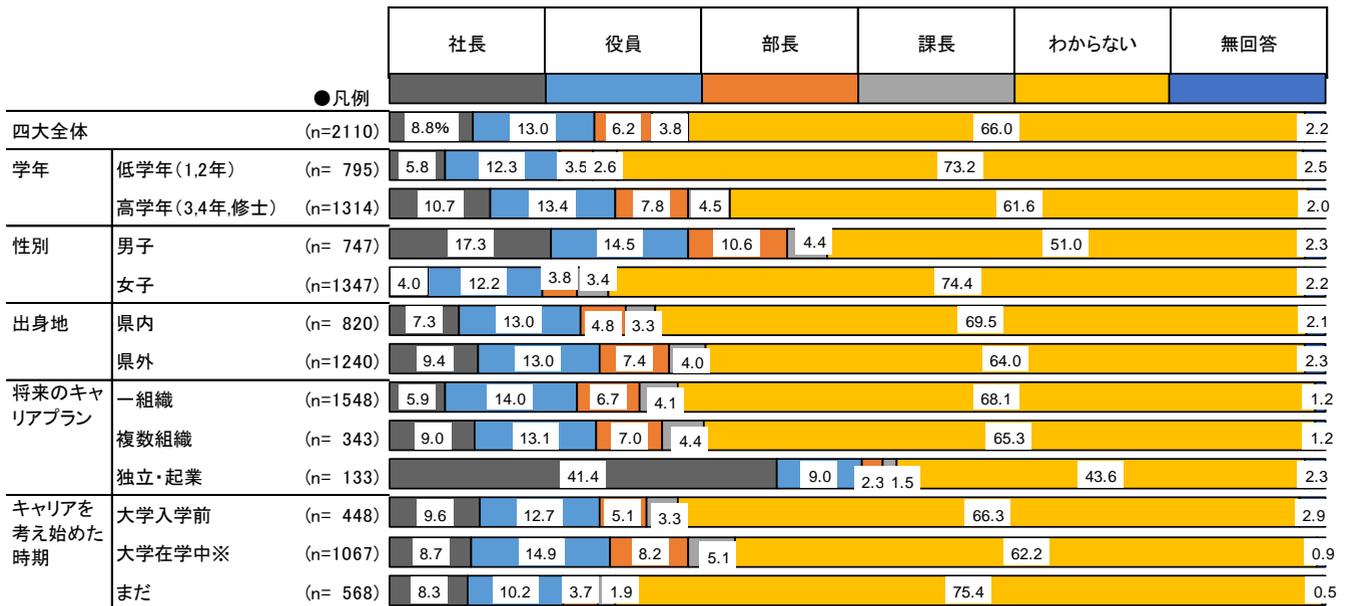


将来就きたい役職

【四大】

- 学年で比較すると、『高学年』の学生は『低学年』の学生に比べ、「わからない」割合が10ポイント以上低い。
- 性別でみると、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「わからない」割合が20ポイント以上低く、就きたい役職としては、「社長」がもっとも高く17.3%。
- 将来のキャリアプランでみると、『独立・起業』したい学生は「社長」が4割。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『まだ』の学生は他の時期に比べ、「わからない」割合が高い。

■就きたい役職(四大全体/単一回答)



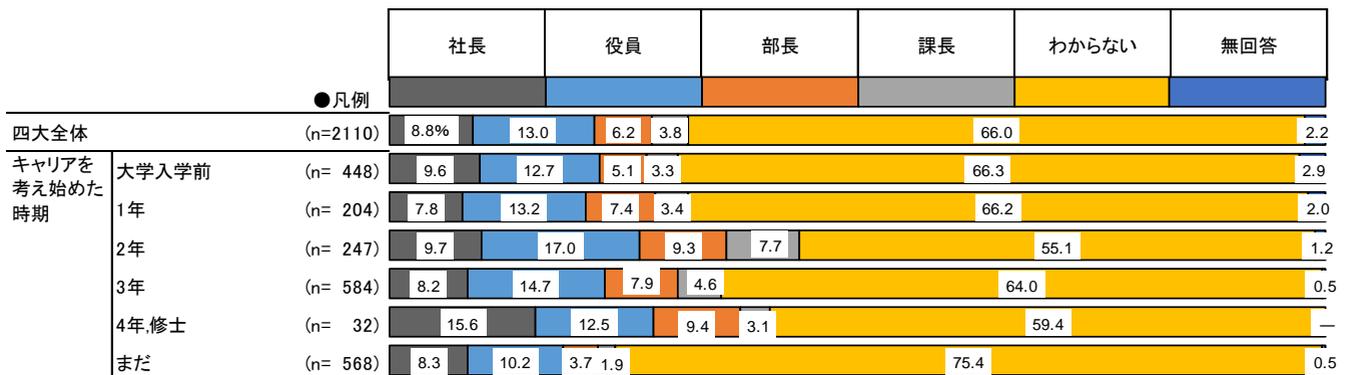
※『キャリアプランを考え始めた時期』の『大学在学中』:1年前期~修士

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『2年』の学生は『1年』『3年』の学生に比べ、「わからない」割合が低い。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■就きたい役職(四大全体/単一回答)

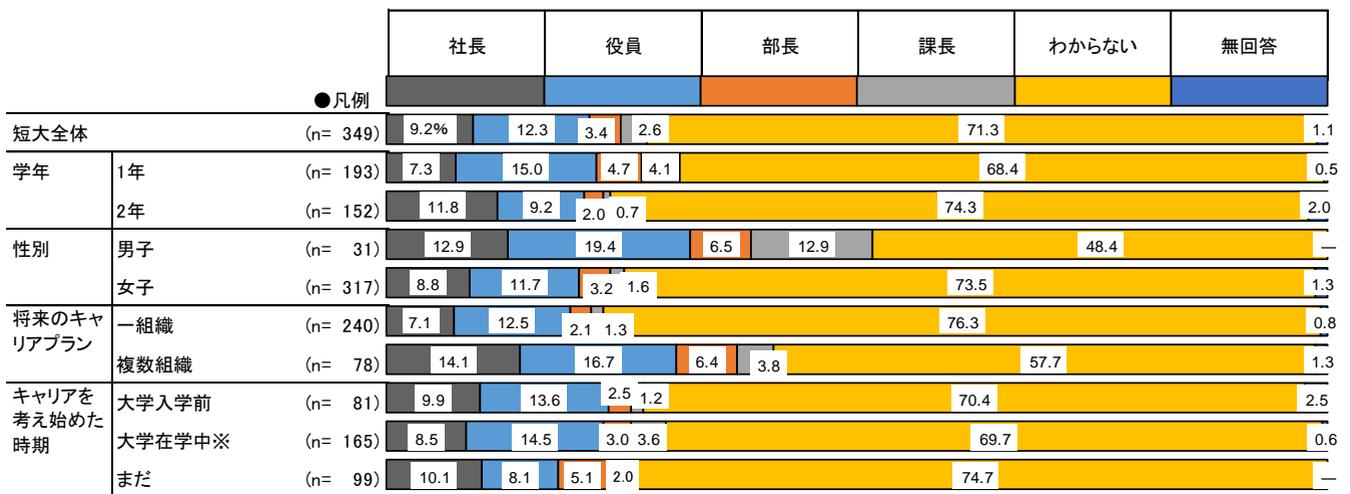


将来就きたい役職

【短大】

- 学年で比較すると、『1年』の学生は『2年』の学生に比べ、「わからない」の割合がやや低い。
- 性別でみると、『男子』学生は『女子』学生に比べ、「わからない」の割合が25ポイント以上低い。就きたい役職ではすべての役職で『女子』学生より高い。（対象数が少ないため参考値とする）
- 将来のキャリアプランでは、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「わからない」割合が低く、すべての役職で割合が高い。

■就きたい役職（短大全体／単一回答）



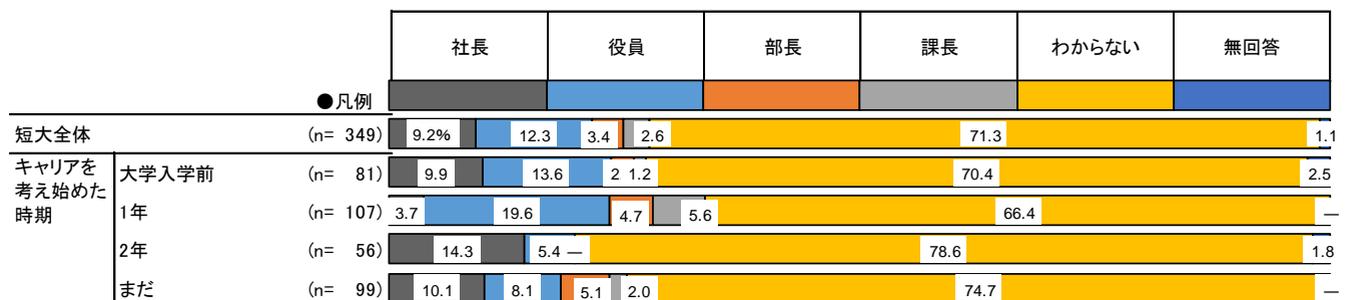
※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『2年』の学生は他の時期に比べ、「わからない」割合が高いが、「社長」の割合が他の時期に比べ高い。
- 『1年』の学生は「役員」の割合が2割。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■就きたい役職（短大全体／単一回答）



▼ 全体の調査結果

評価

キャリアプランを考える上で 役立った正課科目

▶各校で回答が多かった役立った正課科目は以下の通り。

	地域	大学	役立った正課科目
四大	高知	高知大学	ベンチャービジネス論、実習、ゼミ、教職科目、専門科目
		高知県立大学	演習／実習、ジェンダーとキャリア、福祉分野の科目、コミュニケーション
		高知工科大学	キャリアプラン、インターンシップ
	愛媛	松山大学	キャリアマネジメント論
		松山東雲女子大学	キャリア論、インターンシップ、実習
	鳥取	鳥取大学	キャリア入門、専門科目
		鳥取環境大学	キャリアデザイン
	山口	山口大学	キャリアと就職
		山口県立大学	実習、キャリアデザイン、インターンシップ
		徳山大学	就職講座、ゼミ
		梅光学院大学	キャリアデザイン、キャリアプランニング、フィールドワーク、英語、インディペンデントスタディー
	短大	高知	高知学園短期大学
愛媛		松山東雲短期大学	実習（教育実習・保育実習）
鳥取		鳥取短期大学	キャリアプランニング

※自由回答より

キャリアプランを考える上で役立った 正課外の科目・課外活動

※自由回答を分類・集計

【四大】

- ▶ 課外活動の回答が多く、「ボランティア／災害復興」がもっとも多い。
- ▶ 「サークル活動」が続き、この2つが突出して多い。
- ▶ 次いで、「バイト／アルバイト」「部活動」「セミナー」「インターンシップ」が挙げられている。
- ▶ 「特になし」との学生も多い。

【短大】

- ▶ 課外活動の回答が多く、「ボランティア／災害復興」がもっとも多い。
- ▶ 次いで、「サークル活動」「実習／体験／実技」が挙げられている。
- ▶ 「特になし」との学生も多い。

キャリアプランを考える上で役立つ 正課外の科目・課外活動

●四大

回答内容	回答数
イベント／祭	20
セミナー	60
サークル活動	139
ボランティア／災害復興	153
バイト／アルバイト	98
部活動	82
ゼミ	11
インターンシップ	60
実習／体験／実技	19
会社説明会	28
学生団体ジコピー	13
就職／教職ガイダンス	11
生活実務演習	0
留学生交流会	5
講義／講座	13
留学	10
サポート活動	4
海外研修	4
チューター活動	5
コミュニケーション	0
講演会	6
研修会	5
課外活動	5
食育活動	7
進路デー	3
SPI対策	2
研究	5
本／読書	2
地域活動	6
資格取得の授業	3
障害者との触れ合い	4
見学	4
就職活動	4
英会話	2
フィールドワーク	5
キャリア支援	4
キャリア系	5
幼稚園体験	3
教師／講師	3
先輩の話	5
委員会活動／生徒会活動	7
学内プロジェクト	3
言語の学習	3
面談／面接	2
ちやぶ台林間学校	2
合宿	2
習い事	3
就職セミナー	16
心理学	0
体育	0
公務員講座	5
教職科目	4
図書館サポーター	4
保育実習	3
教育実習	2
病院実習	0
清掃活動	3
その他	40
わからない	4
特になし	111

キャリアプランを考える上で役立つ 正課外の科目・課外活動

●短大

回答内容	回答数
イベント／祭	3
セミナー	5
サークル活動	10
ボランティア／災害復興	23
バイト／アルバイト	5
部活動	3
ゼミ	3
インターンシップ	0
実習／体験／実技	10
会社説明会	3
学生団体ジコピー	0
就職／教職ガイダンス	1
生活実務演習	4
留学生交流会	0
講義／講座	3
留学	0
サポート活動	0
海外研修	0
チューター活動	0
コミュニケーション	1
講演会	1
研修会	0
課外活動	0
食育活動	0
進路デー	0
SPI対策	0
研究	0
本／読書	0
地域活動	0
資格取得の授業	0
障害者との触れ合い	1
見学	0
就職活動	0
英会話	0
フィールドワーク	0
キャリア支援	0
キャリア系	1
幼稚園体験	0
教師／講師	0
先輩の話	0
委員会活動／生徒会活動	0
学内プロジェクト	0
言語の学習	0
面談／面接	0
ちゃぶ台林間学校	0
合宿	0
習い事	1
就職セミナー	1
心理学	2
体育	2
公務員講座	0
教職科目	0
図書館サポーター	0
保育実習	1
教育実習	1
病院実習	2
清掃活動	0
その他	6
わからない	1
特になし	28

キャリアプランを考える中での 気づき・役立ったこと

※自由回答を分類・集計

【四大】

- ▶ 気づき・役立ったことの回答のなかでは、「自己分析／自己理解」の回答がもっとも多く、突出している。
- ▶ 分類でも、「自己理解」の回答がもっとも多い。
- ▶ 次いで、「人との交流・接点」「行動の仕方・意識」「企業・仕事理解」「大学の授業・課外活動」「必要な力」。
- ▶ 「特になし」との学生も多い。

【短大】

- ▶ 気づき・役立ったことの回答のなかでは、「自己分析／自己理解」の回答がもっとも多い。
- ▶ 分類でも、「自己理解」の回答が多い。
- ▶ 次いで、「必要な力」「大学の授業・課外活動」「行動の仕方・意識」「人との交流」「企業・仕事理解」。
- ▶ 「特になし」との学生も多い。

キャリアプランを考える中の 気づき・役立ったこと

●四大

分類	回答内容	回答数
大学の授業・課外活動	実習／体験／インターンシップ	20
	合同企業プロジェクト	1
	小学校での取り組み／食育活動	2
	キャリアサポートの講義を聞いて	4
	大学の授業／セミナー	5
	学んでいる科目が将来役に立つ	0
	会社説明会／合同説明会への参加	8
	資格／検定	7
	大学生活／サークル／部活動	7
	アルバイト経験	10
	地域に活動／ボランティア	2
自己理解	自己分析／自己理解	83
	自己アピール	3
	やりたいことを見つける／やりがいを見つける	33
	適性の把握／自分の能力	15
	自分の興味／関心	3
	将来について考えること	16
企業・仕事理解	働くことの意味の重要性	6
	いろんな職業を知ること	5
	なれる職業とは一致しない	7
	仕事場は1つとは限らない	6
	社会の仕組み	4
	ブラック企業の見極め方	1
	給料／お金	2
	新聞／メディア	5
	専門誌／本を読むこと	5
	情報収集すること／企業を知ること／フィールドワーク／企業研究	34
	ハローワーク／リクナビ	3
日本の現状	3	
人の交流・接点	就活を終えた身近な人の話を聞く(先輩、両親、先生)	30
	社会人の話／社会人との交流／現場で働いている人の話	18
	友人の話	4
	人の意見	8
	人脈が大切／人間関係	15
	人と話すこと	7
	環境	4
	キャリアセンターの利用	7
	恋バナ	1
行動の仕方・意識	計画を立てること／目標を設定すること	26
	行動を起こすこと／実行に移すこと	14
	早めの準備が必要	16
	選択肢を多くしておく	2
	視野を広げる／社会の出来事に興味をもつこと	11
	時間を有効に使う	2
	バランスが大事	2
	今できることをする	2
	PDCAサイクル	3
	自信を持つこと	2
	持続させること	3
	挑戦すること	1
	人のためになる	2
欲張ることはよくない	1	
必要な力	チームワークの大切さ	2
	コミュニケーション力の大切さ／言語力	20
	組織力	4
	自分で考える力／決断力	7
	社会に出る心構え	2
	ビジネスマナー	2
	知識が必要	10
その他	25	
特になし	101	

●分類合計数

「大学の授業・課外活動」
回答数合計：66件

「自己理解」
回答数合計：153件

「企業・仕事理解」
回答数合計：81件

「人の交流・接点」
回答数合計：94件

「行動の仕方・意識」
回答数合計：87件

「必要な力」
回答数合計：47件

キャリアプランを考える中での 気づき・役立ったこと

●短大

分類	回答内容	回答数
大学の授業・課外活動	実習／体験／インターンシップ	2
	合同企業プロジェクト	0
	小学校での取り組み／食育活動	0
	キャリアサポートの講義を聞いて	0
	大学の授業／セミナー	0
	学んでいる科目が将来役に立つ	1
	会社説明会／合同説明会への参加	1
	資格／検定	3
	大学生生活／サークル／部活動	2
	アルバイト経験	0
地域に活動／ボランティア	0	
自己理解	自己分析／自己理解	10
	自己アピール	1
	やりたいことを見つける／やりがいを見つける	4
	適性の把握／自分の能力	2
	自分の興味／関心	0
	将来について考えること	4
企業・仕事理解	働くことの意味の重要性	0
	いろんな職業を知ること	0
	なれる職業とは一致しない	0
	仕事場は1つとは限らない	1
	社会の仕組み	0
	ブラック企業の見極め方	0
	給料／お金	1
	新聞／メディア	0
	専門誌／本を読むこと	0
	情報収集すること／企業を知ること／フィールドワーク／企業研究	3
	ハローワーク／リクナビ	0
日本の現状	0	
人の交流・接点	就活を終えた身近な人の話を聞く(先輩、両親、先生)	3
	社会人の話／社会人との交流／現場で働いている人の話	1
	友人の話	0
	人の意見	2
	人脈が大切／人間関係	1
	人と話すこと	0
	環境	0
	キャリアセンターの利用	0
恋バナ	0	
行動の仕方・意識	計画を立てること／目標を設定すること	2
	行動を起こすこと／実行に移すこと	3
	早めの準備が必要	1
	選択肢を多くしておく	0
	視野を広げる／社会の出来事に興味をもつこと	3
	時間を有効に使う	0
	バランスが大事	0
	今できることをする	0
	PDCAサイクル	0
	自信を持つこと	0
	持続させること	0
	挑戦すること	0
	人のためになる	0
欲張ることはよくない	0	
必要な力	チームワークの大切さ	1
	コミュニケーション力の大切さ／言語力	8
	組織力	0
	自分で考える力／決断力	2
	社会に出る心構え	0
	ビジネスマナー	1
	知識が必要	2
その他	2	
特になし	27	

●分類合計数

「大学の授業・課外活動」
回答数合計：9件

「自己理解」
回答数合計：21件

「企業・仕事理解」
回答数合計：5件

「人の交流・接点」
回答数合計：7件

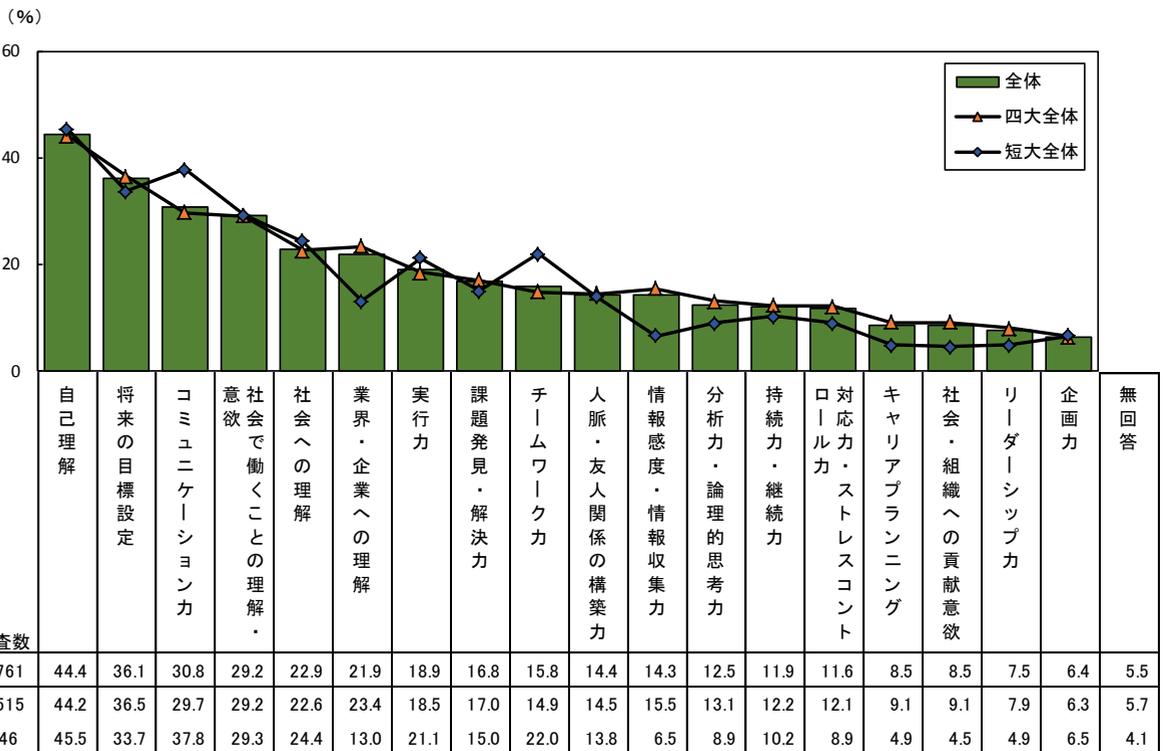
「行動の仕方・意識」
回答数合計：9件

「必要な力」
回答数合計：14件

身についたこと

- ▶ 四大、短大ともに、「自己理解」がもっとも高い。
- ▶ 四大では「将来の目標設定」が、短大では「コミュニケーション力」が続く。
- ▶ 「コミュニケーション力」「業界・企業への理解」「情報感度・情報収集力」「チームワーク力」で四大と短大でやや差がみられた。

■キャリアプランを考える中で身についたこと(キャリアプランを考えたと回答の学生/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値
全体値で降順ソート

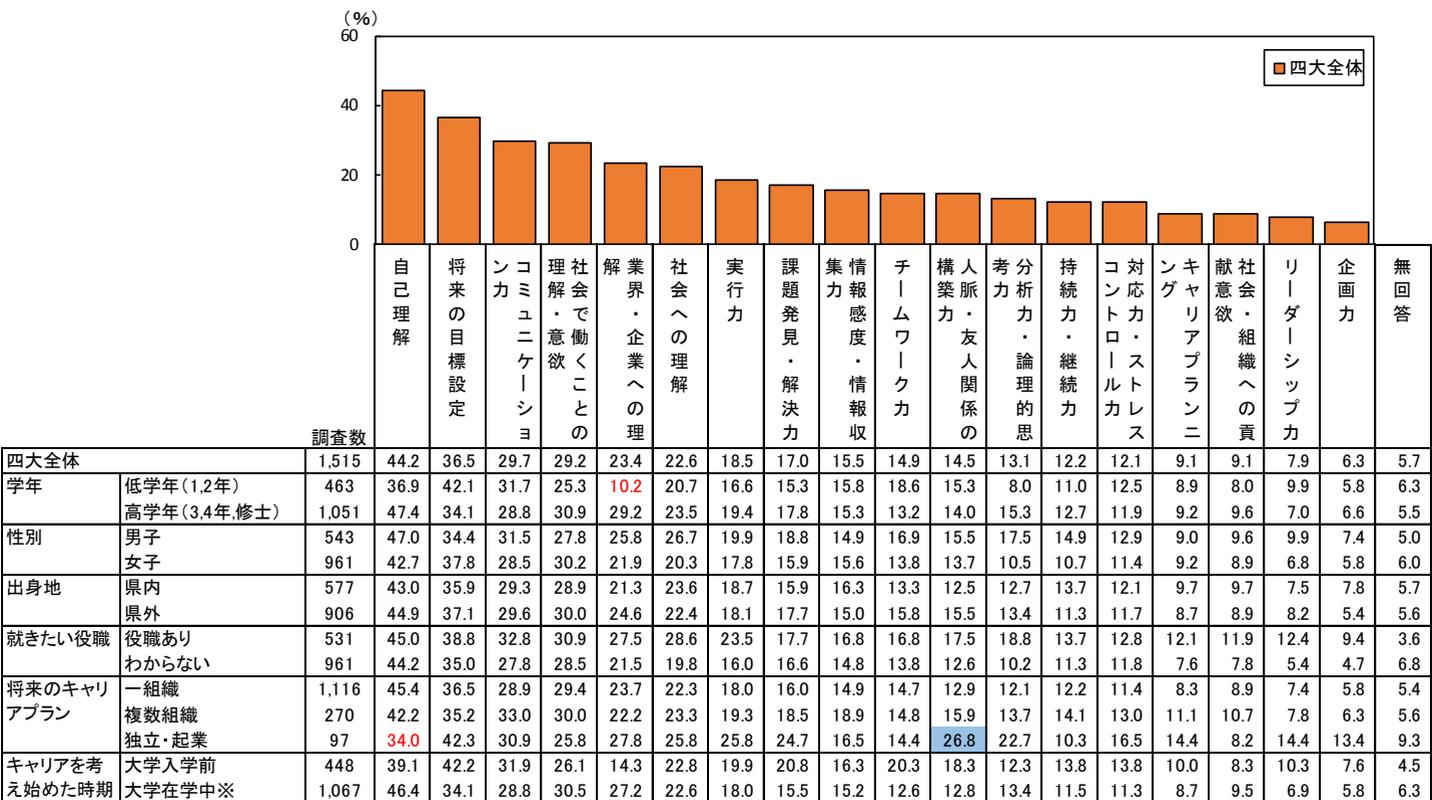
-10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

身についたこと

【四大】

- 学年で比較すると、『高学年』の学生は『低学年』の学生に比べ、「業界・企業への理解」の割合が20ポイント近く高い。
- 将来のキャリアプランでみると、『独立・起業』したい学生は「自己理解」の割合が『一組織』『複数組織』の学生に比べ低く、「人脈・友人関係の構築力」「分析力・論理的思考力」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学在学中』の学生は『大学入学前』の学生に比べ、「業界・企業への理解」の割合が高い。

■キャリアプランを考える中で身についたこと(キャリアプランを考えたと回答の四大学生/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

身についたこと

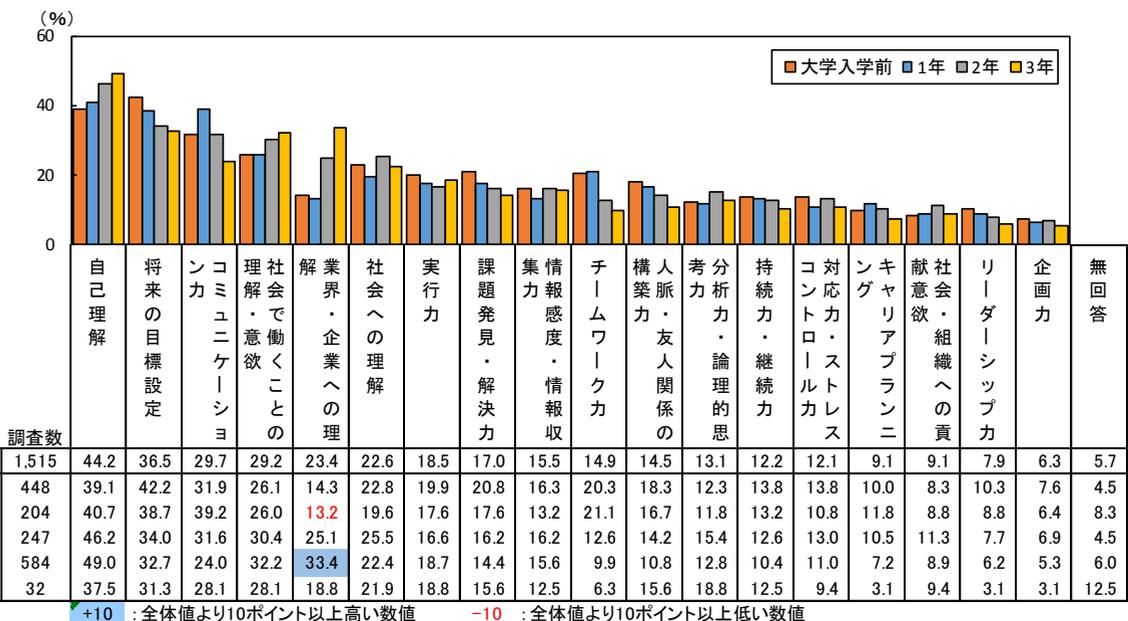
【四大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、考え始めた時期が遅くなるにつれ、「自己理解」「社会で働くことへの理解・意欲」「業界・企業への理解」の割合が高くなり、「将来の目標設定」「チームワーク力」の割合が低くなっている。
- 「コミュニケーション力」は『1年』『2年』『3年』につれ割合が低くなっている。

【キャリアを考え始めた時期詳細】

■キャリアプランを考える中で身についたこと(キャリアプランを考えたと回答の四大学生/複数回答)

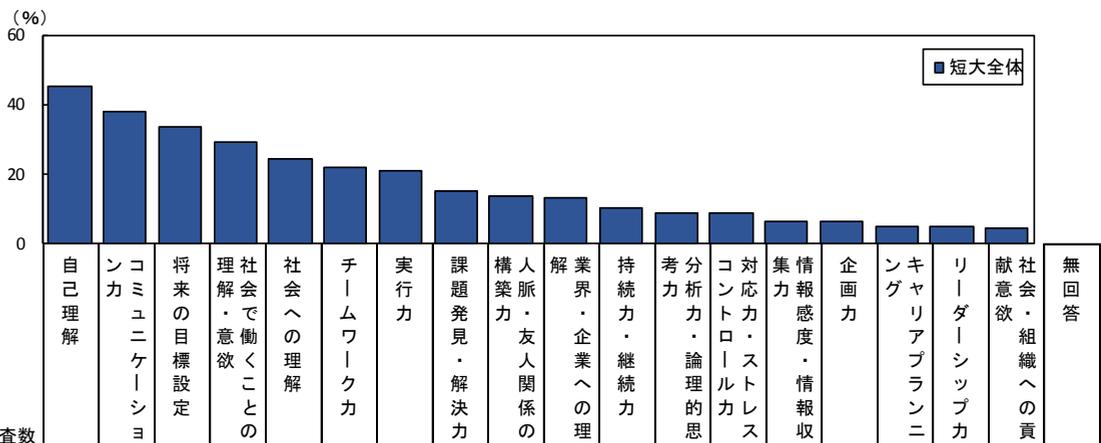


身についたこと

【短大】

- 学年で比較すると、『2年』の学生は『1年』の学生に比べ、「コミュニケーション力」が身についたと回答の割合が20ポイント近く高い。
- 将来のキャリアプランでは、『複数組織』の学生は『一組織』の学生に比べ、「社会で働くことへの理解・意識」の割合が15ポイント以上低い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学在学中』の学生は『大学入学前』の学生に比べ、「社会で働くことへの理解・意欲」「社会への理解」の割合がやや高い。

■キャリアプランを考える中で身についたこと(キャリアプランを考えたときと回答の短大学生/複数回答)



調査数	自己理解	コミュニケーション力	将来の目標設定	社会で働くことへの理解・意欲	社会への理解	チームワーク力	実行力	課題発見・解決力	構築力・友人関係の	人脈・企業への理解	持続力・継続力	考力	分析力・論理的思考力	対応力・ストレス	情報感度・情報収集	企画力	キャリアプランニング	リーダーシップ力	献意欲	社会・組織への貢献	無回答
短大全体	246	45.5	37.8	33.7	29.3	24.4	22.0	21.1	15.0	13.8	13.0	10.2	8.9	8.9	6.5	6.5	4.9	4.9	4.5	4.1	4.1
学年																					
1年	119	42.0	28.6	31.9	31.9	22.7	21.0	20.2	13.4	14.3	8.4	11.8	9.2	6.7	9.2	7.6	8.4	6.7	5.0	5.0	5.0
2年	123	48.8	47.2	34.1	27.6	26.8	23.6	22.8	16.3	13.8	17.9	8.1	8.9	11.4	4.1	5.7	1.6	3.3	4.1	2.4	2.4
性別																					
男子	19	42.1	31.6	21.1	10.5	36.8	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	15.8	21.1	5.3	5.3	10.5	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3
女子	226	46.0	38.5	35.0	31.0	23.5	21.7	20.8	14.6	13.7	13.3	9.7	8.0	9.3	6.6	6.2	4.9	4.0	4.0	4.0	4.0
就きたい役職																					
役職あり	71	49.3	38.0	32.4	26.8	29.6	23.9	21.1	14.1	18.3	18.3	2.8	11.3	7.0	5.6	9.9	1.4	7.0	4.2	4.2	4.2
わからない	172	44.2	36.6	34.3	30.8	22.1	20.9	20.9	15.7	11.6	11.0	13.4	8.1	8.7	7.0	4.7	6.4	3.5	4.7	4.1	4.1
将来のキャリア																					
一組織	168	47.0	38.7	33.3	35.1	24.4	20.2	22.0	13.1	11.9	15.5	11.9	8.9	9.5	6.5	7.1	6.0	4.8	5.4	3.6	3.6
複数組織	59	39.0	42.4	39.0	18.6	25.4	25.4	16.9	22.0	20.3	10.2	5.1	10.2	5.1	5.1	6.8	1.7	3.4	3.4	1.7	1.7
キャリアを考え始めた時期																					
大学入学前	81	49.4	40.7	37.0	23.5	29.6	25.9	21.0	9.9	14.8	8.6	9.9	4.9	8.6	6.2	4.9	4.9	6.2	7.4	3.7	3.7
大学在学中※	165	43.6	36.4	32.1	32.1	21.8	20.0	21.2	17.6	13.3	15.2	10.3	10.9	9.1	6.7	7.3	4.8	4.2	3.0	4.2	4.2

+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値
 ※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

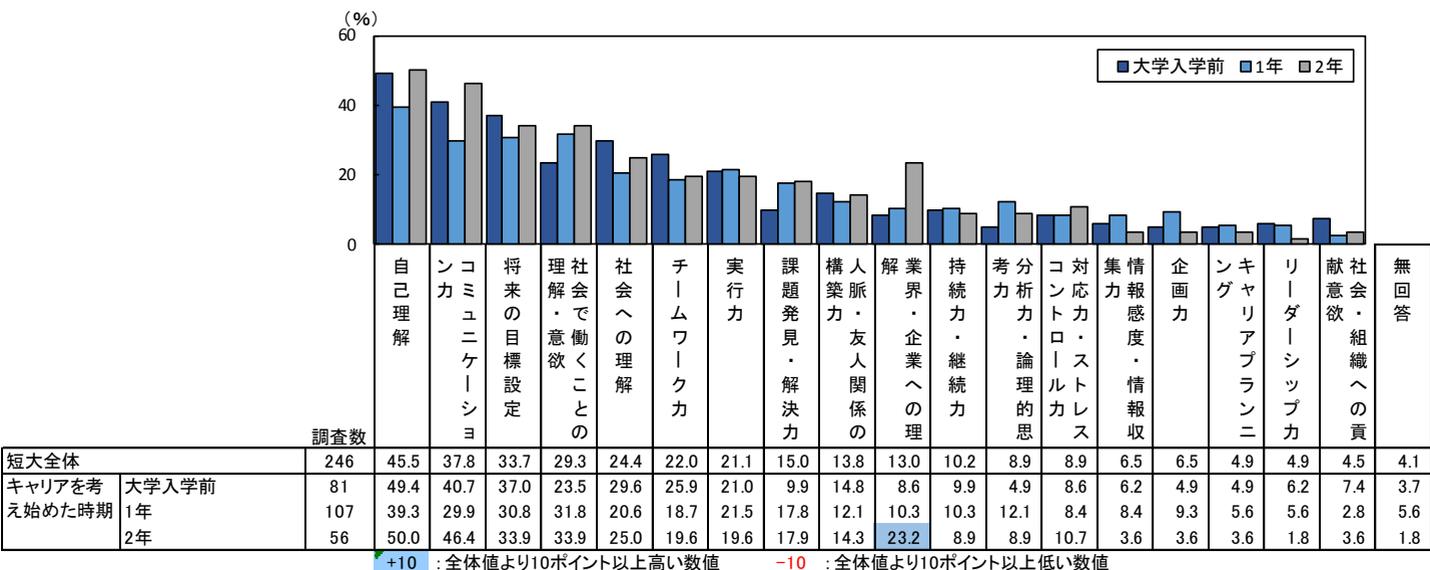
身についたこと

【短大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『1年』『2年』とキャリアを考え始めた時期が遅いほど、「自己理解」「コミュニケーション力」「業界・企業への理解」の割合が高くなっている。
- 「社会で働くことへの理解・意欲」は『大学入学前』『1年』『2年』と割合が高くなっている。

■キャリアプランを考える中で身についたこと(キャリアプランを考えたと回答の短大学生/複数回答)



▼ 全体の調査結果

今後のキャリア形成プログラムについての意見

後輩に受けて欲しい科目・課外活動

▶各校で回答が多かった後輩に受けて欲しい科目・課外活動は以下の通り。

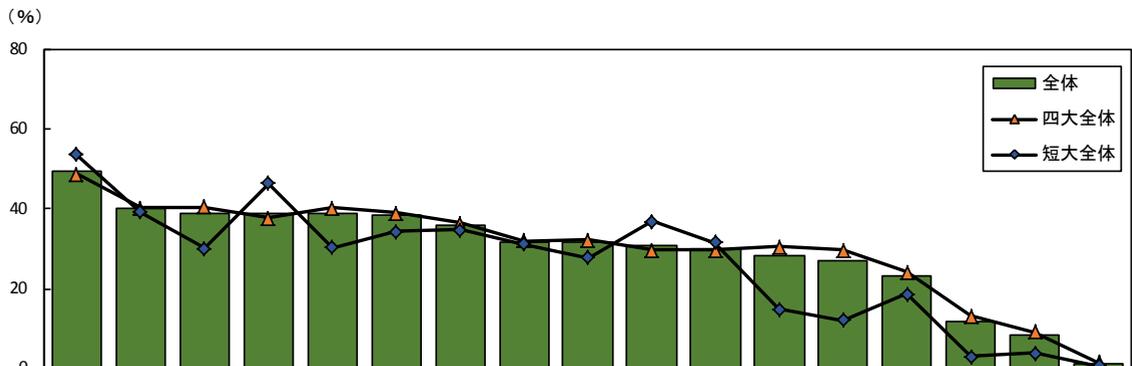
	地域	大学	後輩に受けて欲しい科目・課外活動
四大	高知	高知大学	セミナー（就職セミナー・課題探究セミナー・教員セミナーなど）、ベンチャービジネス論、専門科目、インターンシップ、実習、ゼミ
		高知県立大学	ボランティア活動
		高知工科大学	キャリアプラン、インターンシップ
	愛媛	松山大学	キャリアマネジメント論
		松山東雲女子大学	キャリア論、ボランティア活動
	鳥取	鳥取大学	キャリア入門
		鳥取環境大学	キャリアデザイン
	山口	山口大学	キャリアと就職
		山口県立大学	キャリアデザイン、インターンシップ、ボランティア活動
		徳山大学	就職講座、ゼミ
		梅光学院大学	キャリアデザイン、キャリアプランニング、フィールドワーク、インディペンデントスタディー、インターンシップ、ボランティア活動
	短大	高知	高知学園短期大学
愛媛		松山東雲短期大学	ボランティア活動、実習、プレ・ビジネス・インターンシップ、保育や秘書に関する専門科目
鳥取		鳥取短期大学	キャリアプランニング、基礎ゼミ、就職対策講座

※自由回答より

大学時代に重要な行動・活動

- ▶ 四大、短大ともに、「アルバイトを経験する」がもっとも高い。
- ▶ 四大では、「社会人と接する」「多くの友人を作る」「幅広くいろいろな分野を学ぶ」が続く。
- ▶ 短大では、「専門分野を深く学ぶ」「多くの友人を作る」「授業を真面目に受けて勉強する」が続く。
- ▶ 「社会人と接する」「多くの本を読む」「クラブ・サークル活動に打ち込む」「海外留学をする」は四大と短大で10ポイント以上の差がみられた。

■大学時代に重要な活動(全体/複数回答)



調査数	アルバイトを経験する	多くの友人を作る	社会人と接する	専門分野を深く学ぶ	幅広くいろいろな分野を学ぶ	自分の好きなことに打ち込む	ボランティア活動など社会経験を積む	自分のことを振り返る	深める社会や企業について理解をする	授業を真面目に受けて勉強する	教員や職員と多くのコミュニケーションをとる	多くの本を読む	クラブ・サークル活動に打ち込む	インターシップに参加する	海外留学をする	ゼミナールの活動に打ち込む	その他	無回答	
全体	2,459	49.4	40.1	39.1	39.0	38.8	38.3	36.1	31.8	31.6	30.7	30.0	28.3	27.1	23.4	11.6	8.3	1.3	5.0
四大全体	2,110	48.7	40.2	40.6	37.7	40.2	39.0	36.4	31.9	32.3	29.7	29.8	30.5	29.6	24.2	13.1	9.1	1.4	5.6
短大全体	349	53.6	39.3	30.1	46.4	30.4	34.4	34.7	31.2	27.8	37.0	31.5	14.9	12.0	18.6	2.9	3.7	0.6	1.4

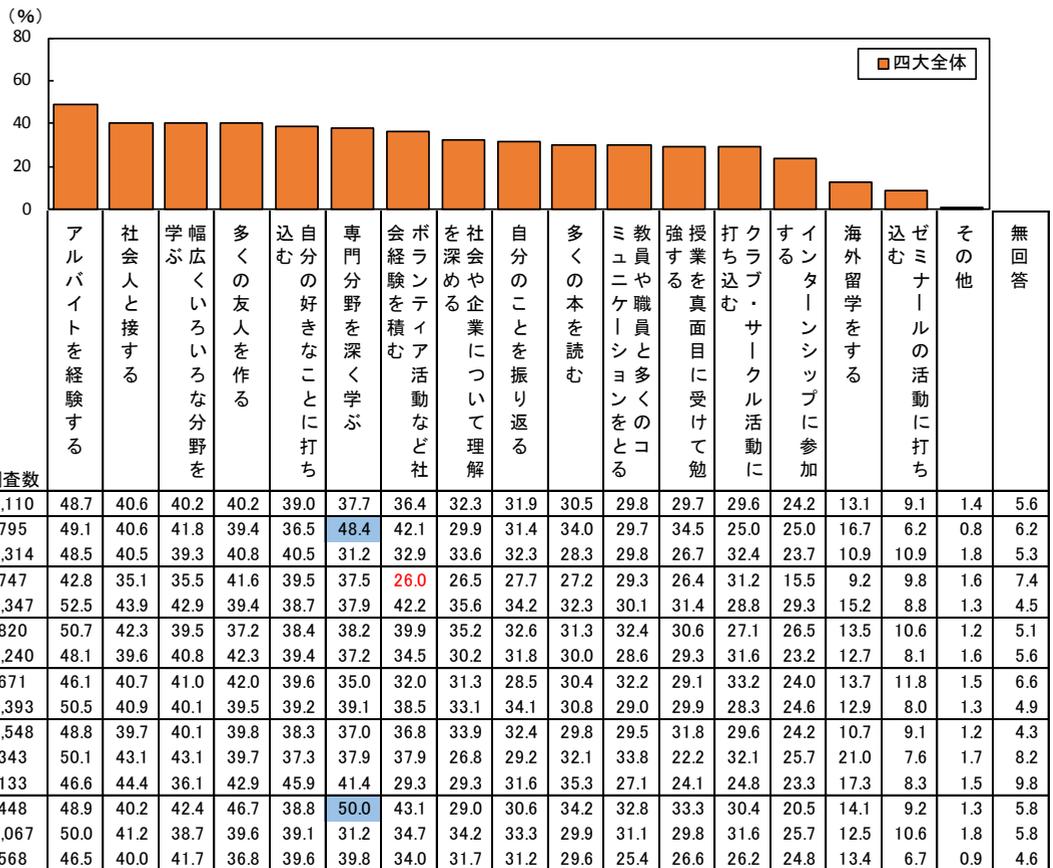
+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値
 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値
 全体値で降順ソート

大学時代に重要な行動・活動

【四大】

- 学年で比較すると、『低学年』の学生は『高学年』の学生に比べ「専門分野を深く学ぶ」の割合が高い。
- 性別でみると、『女子』学生は『男子』学生に比べ、「ボランティア活動など社会経験を積む」「インターンシップに参加する」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期でみると、『大学入学前』の学生は他の時期に比べ、「専門分野を深く学ぶ」の割合が高い。

■大学時代に重要な活動(四大全体/複数回答)



調査数		アルバイトを経験する	社会人と接する	学ぶ幅が広い	多くの友人を作る	自分の好きなことに打ち込む	専門分野を深く学ぶ	社会や企業について理解を深める	ボランティア活動など社会経験を積む	自分のことを振り返る	多くの本を読む	教員や職員と多くのコミュニケーションをとる	授業を真面目に受けて勉強する	打ち込むサークル活動に参加する	インターンシップに参加する	海外留学をする	ゼミナールの活動に打ち込む	その他	無回答	
四大全体	2,110	48.7	40.6	40.2	40.2	39.0	37.7	36.4	32.3	31.9	30.5	29.8	29.7	29.6	24.2	13.1	9.1	1.4	5.6	
学年																				
	低学年(1,2年)	795	49.1	40.6	41.8	39.4	36.5	48.4	42.1	29.9	31.4	34.0	29.7	25.0	25.0	16.7	6.2	0.8	6.2	
	高学年(3,4年,修士)	1,314	48.5	40.5	39.3	40.8	40.5	31.2	32.9	33.6	32.3	28.3	26.7	32.4	23.7	10.9	10.9	1.8	5.3	
性別																				
	男子	747	42.8	35.1	35.5	41.6	39.5	37.5	26.0	26.5	27.7	27.2	29.3	26.4	31.2	15.5	9.2	9.8	1.6	7.4
	女子	1,347	52.5	43.9	42.9	39.4	38.7	37.9	42.2	35.6	34.2	32.3	30.1	31.4	28.8	29.3	15.2	8.8	1.3	4.5
出身地																				
	県内	820	50.7	42.3	39.5	37.2	38.4	38.2	39.9	35.2	32.6	31.3	32.4	30.6	27.1	26.5	13.5	10.6	1.2	5.1
	県外	1,240	48.1	39.6	40.8	42.3	39.4	37.2	34.5	30.2	31.8	30.0	28.6	29.3	31.6	23.2	12.7	8.1	1.6	5.6
就きたい役職																				
	役職あり	671	46.1	40.7	41.0	42.0	39.6	35.0	32.0	31.3	28.5	30.4	32.2	29.1	33.2	24.0	13.7	11.8	1.5	6.6
	わからない	1,393	50.5	40.9	40.1	39.5	39.2	39.1	38.5	33.1	34.1	30.8	29.0	29.9	28.3	24.6	12.9	8.0	1.3	4.9
将来のキャリアプラン																				
	一組織	1,548	48.8	39.7	40.1	39.8	38.3	37.0	36.8	33.9	29.2	29.8	29.5	31.8	29.6	24.2	10.7	9.1	1.2	4.3
	複数組織	343	50.1	43.1	43.1	39.7	37.3	37.9	37.9	26.8	29.2	32.1	33.8	22.2	32.1	25.7	21.0	7.6	1.7	8.2
	独立・起業	133	46.6	44.4	36.1	42.9	45.9	41.4	29.3	29.3	31.6	35.3	27.1	24.1	24.8	23.3	17.3	8.3	1.5	9.8
キャリアを考え始めた時期																				
	大学入学前	448	48.9	40.2	42.4	46.7	38.8	50.0	43.1	29.0	30.6	34.2	32.8	33.3	30.4	20.5	14.1	9.2	1.3	5.8
	大学在学中※	1,067	50.0	41.2	38.7	39.6	39.1	31.2	34.7	34.2	33.3	29.9	31.1	29.8	31.6	25.7	12.5	10.6	1.8	5.8
	まだ	568	46.5	40.0	41.7	36.8	39.6	39.8	34.0	31.7	31.2	29.6	25.4	26.6	26.2	24.8	13.4	6.7	0.9	4.6

+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

大学時代に重要な行動・活動

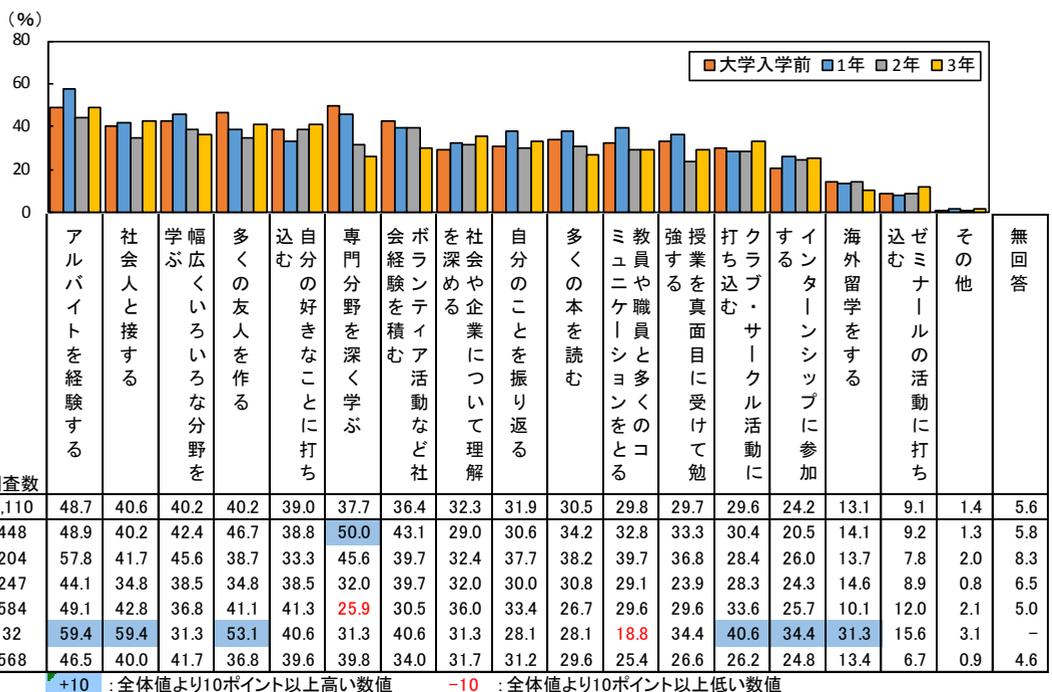
【四大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、『1年』の学生は「アルバイトを経験する」の割合が他の時期に比べ高い。
- 「幅広くいろいろな分野を学ぶ」「専門分野を深く学ぶ」「ボランティア活動など社会経験を積む」「多くの本を読む」は『1年』から『3年』と考え始めた時期が遅いほど割合が低くなる。

【キャリアを考え始めた時期】

■大学時代に重要な活動(四大全体／複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値

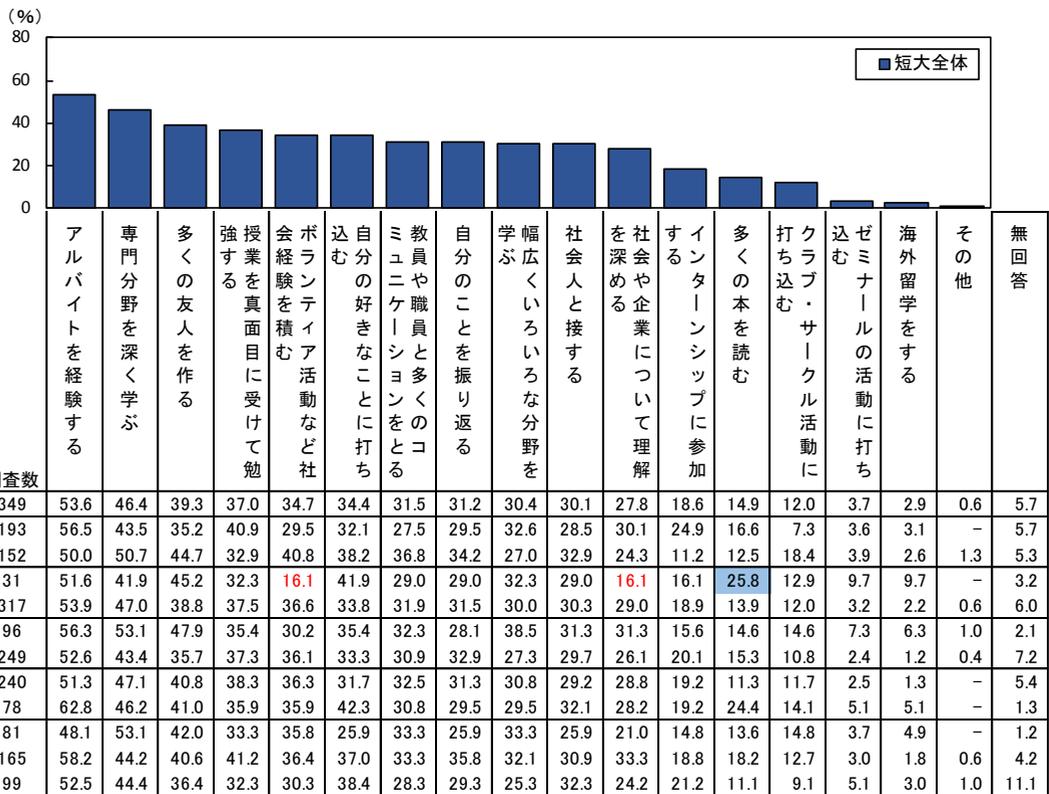
-10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

大学時代に重要な行動・活動

【短大】

- 学年で比較すると、『1年』の学生は『2年』の学生に比べ、「ボランティア活動など社会経験を積む」の割合が低く、「インターンシップに参加する」の割合が高い。
- 性別でみると、『女子』学生は『男子』学生に比べ、「ボランティア活動など社会経験を積む」「社会や企業について理解を深める」の割合が高く、「多くの本を読む」の割合が低い。（対象数が少ないため参考値とする）
- 将来の就きたい役職でみると、『役職あり』の学生は『わからない』学生に比べ、「専門分野を深く学ぶ」「多くの友人を作る」「幅広くいろいろな分野を学ぶ」の割合が高い。
- キャリアを考え始めた時期では、『大学入学前』の学生は「専門分野を深く学ぶ」の割合がもっとも高い。『大学在学中』の学生は『大学入学前』の学生に比べ、「アルバイトを経験する」「自分の好きなことに打ち込む」「自分のことを振り返る」「社会や企業について理解を深める」の割合が高い。

■大学時代に重要な活動(短大全体/複数回答)



+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値 -10 : 全体値より10ポイント以上低い数値

※「キャリアプランを考え始めた時期」の『大学在学中』: 1年前期～修士

大学時代に重要な行動・活動

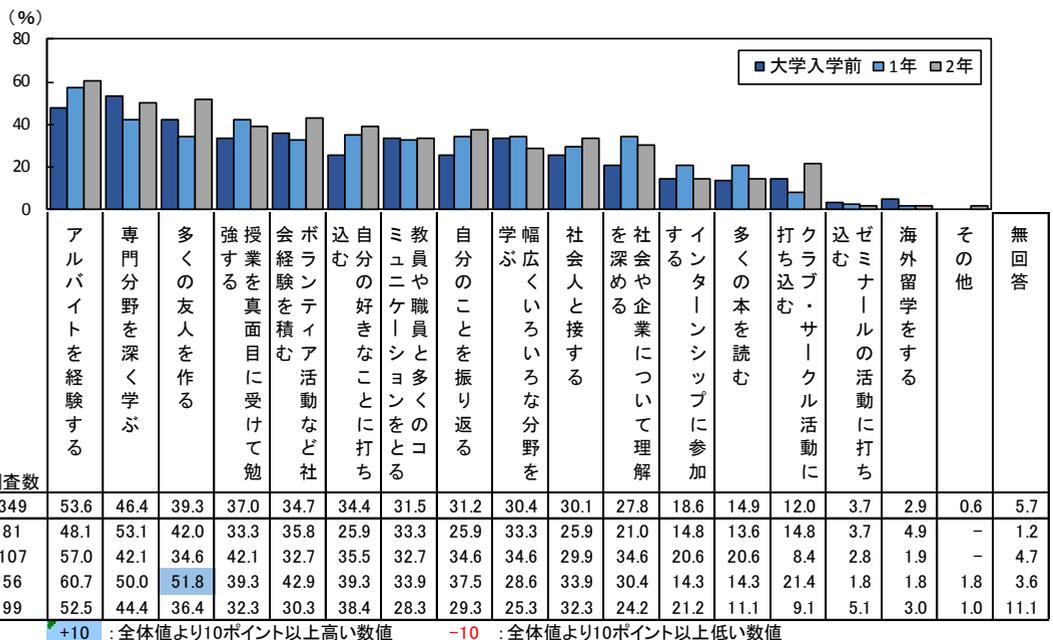
【短大】

<キャリアを考え始めた時期詳細>

- 『大学在学中』の時期を詳細にみると、考え始めた時期が遅いほど「アルバイトを経験する」「自分の好きなことに打ち込む」「自分のことを振り返る」「社会人と接する」の割合が高い。
- 『2年』の学生は『1年』の学生に比べ、「多くの友人を作る」「ボランティア活動など社会経験を積む」の割合が高い。
- 『1年』『2年』の学生は『大学入学前』の学生に比べ、「社会人や企業についての理解を深める」の割合が高い。

【キャリアを考え始めた時期】

■大学時代に重要な活動(短大全体/複数回答)



要望・意見

※自由回答を分類・集計

【四大】

- ▶ 「十分満足／特になし」と回答の学生がもっとも多い。
- ▶ 要望は様々であり、その中で「就職活動説明会／講義」「OB、OG交流会」「職業体験／企業に接する機会／企業訪問／インターンシップ」への要望は比較的高い。
- ▶ 分類で見ると、「就職支援」に関することがもっとも多く、「人との交流」「講義・セミナー」「インターンシップ」が続く。

【短大】

- ▶ 「十分満足／特になし」と回答の学生がもっとも多い。
- ▶ 要望は少なく、「就職活動説明会／講義」がやや多い。

要望・意見

●四大

分類	回答内容	回答数
人との交流	OB、OGの交流会	22
	身近な話／現実な話	0
	社会人と接する機会がほしい／現場で働く人の話が聞きたい	17
	学外の人と話す機会がほしい	2
	専門学校に通う人の話を聞きたい	1
	うまくいっている人の話を聞きたい／内定者との交流会	2
	地域の方と接する機会がほしい	2
	留学の推進／留学生とのふれあい	2
	専攻分野の人の話が聞きたい	2
就職支援	就職活動説明会／講義	39
	企業説明会／合同説明会を開催してほしい	17
	SPI講座を長く開催してほしい	1
	エントリーシート対策講座	2
	ESの添削	2
	小論文の書き方／筆記試験対策	2
	面接対策／面接練習	3
	キャリアカウンセリングの設置	5
	支援金のバックアップ	5
	バスツアーの数を増やしてほしい	1
	職種について知りたい／職種別にパンフレットがほしい	13
	業界研究	1
	働き方	1
	自分に合った企業の見つけ方	1
	非一般企業の仕事について	1
	経済の動きを知りたい	1
	取得しておいた方がよい資格	2
	必要と思われるもの	1
	就職状況	2
	海外の就職状況	2
	福岡県の情報がほしい	1
	広報に力を入れてほしい	1
	新卒採用、学部以外の道があるか指導があるとよい	2
	求人情報がほしい	5
	専門分野の就職先情報がほしい	7
	福祉系就職ガイダンスを増やしてほしい	1
	専門分野に特化した情報	2
	地域に特化した情報	1
	マイナーな企業の情報がほしい	1
プレゼンの機会を増やしてほしい	2	
キャリアプランの意味をわかりやすく	7	
コミュニケーション力向上の方法	3	
講義・セミナー	自己分析セミナーの開催	8
	業界へ興味が増える講義	3
	早い時期から取り組めるセミナー	16
	参加しやすいセミナー	2
	起業のための講義	1
	卒業後に就く可能性がある職業についての話があるとよい	1
	ビジネスマナーの授業	3
	企業と何か1つプロジェクトを実行する	1
	社会と直結した内容が組み込まれたらいい	1
	選択肢を多くしてほしい	1
	必修の講義とかぶらないでほしい	3
	YouTubeで講義を聞き、学校では出席を取って質問の時間	1
	ベンチャービジネス論Ⅲの定員数を増やしてほしい	1
	教養科目	1
インターンシップ	職場体験／企業に接する機会／企業訪問／インターンシップ	21
	インターンシップを単位化してほしい	1
	インターンシップを特例欠席にしてほしい	1
	インターンシップ先を増やしてほしい	5
ボランティア	ボランティアの紹介／情報	1
	ボランティア活動の募集／社外活動に参加	3
	その他	20
	十分満足/特になし	184

●分類合計数

「人との交流」
回答数合計：50件

「就職支援」
回答数合計：135件

「講義・セミナー」
回答数合計：43件

「インターンシップ」
回答数合計：28件

要望・意見

●短大

分類	回答内容	回答数
人との交流	OB、OGの交流会	1
	身近な話／現実な話	2
	社会人と接する機会がほしい／現場で働く人の話が聞きたい	2
	学外の人と話す機会がほしい	0
	専門学校に通う人の話を聞きたい	0
	うまくいっている人の話を聞きたい／内定者との交流会	0
	地域の方と接する機会がほしい	0
	留学の推進／留学生とのふれあい	1
	専攻分野の人の話が聞きたい	0
就職支援	就職活動説明会／講義	7
	企業説明会／合同説明会を開催してほしい	0
	SPI講座を長く開催してほしい	0
	エントリーシート対策講座	0
	ESの添削	0
	小論文の書き方／筆記試験対策	0
	面接対策／面接練習	1
	キャリアカウンセリングの設置	0
	支援金のバックアップ	0
	バスツアーの数を増やしてほしい	0
	職種について知りたい／職種別にパンフレットがほしい	1
	業界研究	0
	働き方	0
	自分に合った企業の見つけ方	0
	非一般企業の仕事について	0
	経済の動きを知りたい	1
	取得しておいた方がよい資格	0
	必要と思われるもの	0
	就職状況	0
	海外の就職状況	0
	福岡県の情報がほしい	0
	広報に力を入れてほしい	0
	新卒採用、学部以外の道があるか指導があるとよい	0
	求人情報がほしい	1
	専門分野の就職先情報がほしい	0
	福祉系就職ガイダンスを増やしてほしい	0
	専門分野に特化した情報	0
地域に特化した情報	0	
マイナーな企業の情報がほしい	0	
プレゼンの機会を増やしてほしい	0	
キャリアプランの意味をわかりやすく	1	
コミュニケーション力向上の方法	0	
講義・セミナー	自己分析セミナーの開催	0
	業界へ興味が増える講義	0
	早い時期から取り組めるセミナー	0
	参加しやすいセミナー	0
	起業のための講義	0
	卒業後に就く可能性がある職業についての話があるとよい	0
	ビジネスマナーの授業	0
	企業と何か1つプロジェクトを実行する	0
	社会と直結した内容が組み込まれたらいい	0
	選択肢を多くしてほしい	0
	必修の講義とかぶらないでほしい	1
	YouTubeで講義を聞き、学校では出席を取って質問の時間	0
	ベンチャービジネス論Ⅲの定員数を増やしてほしい	0
教養科目	0	
インターンシップ	職場体験／企業に接する機会／企業訪問／インターンシップ	1
	インターンシップを単位化してほしい	0
	インターンシップを特例欠席にしてほしい	0
	インターンシップ先を増やしてほしい	0
ボランティア	ボランティアの紹介／情報	2
	ボランティア活動の募集／社外活動に参加	0
その他	1	
	十分満足/特になし	61

●分類合計数

「人との交流」

回答数合計：5件

「就職支援」

回答数合計：13件

「講義・セミナー」

回答数合計：1件

「インターンシップ」

回答数合計：1件